

A 障がい者調査

I 調査結果

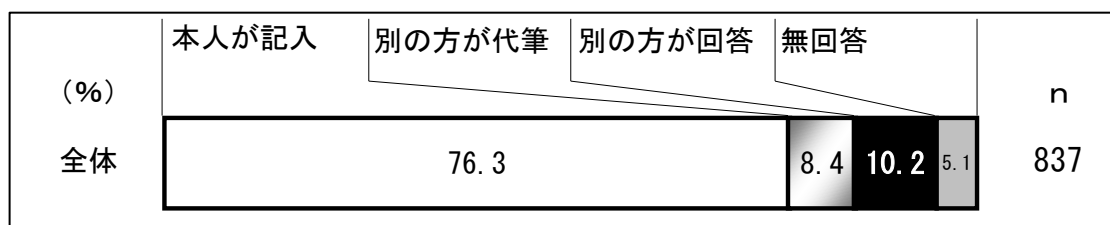
1 回答者について

(1) 回答者と対象者の同一性

問1 この用紙（調査票）に回答するのは誰ですか。

本調査の回答者は、「本人が記入」が76.3%、「別の方が回答」が10.2%、「別の方が代筆」が8.4%となっている。

図表 A1-1-1 回答者（全体）



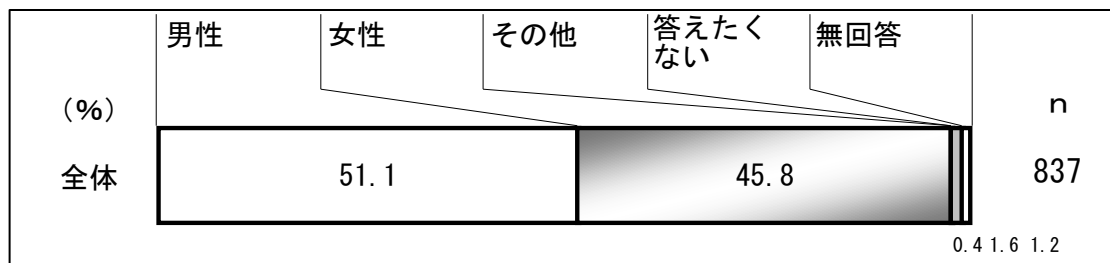
2 対象者について

(1) 対象者の性別

問2 性別をご回答ください。

回答者の性別は、「男性」が51.1%、「女性」が45.8%、「答えたくない」が1.6%、「その他」が0.4%となっている。

図表 A2-1-1 対象者の性別（全体）



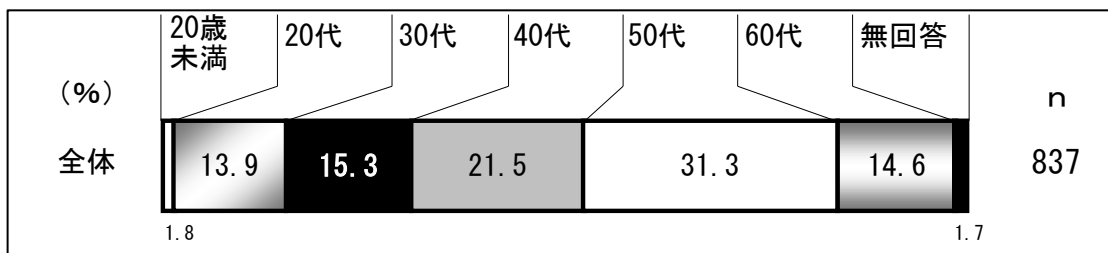
A 障がい者調査

(2) 対象者の年齢

問3 年齢をご回答ください。

対象者の年齢は、「50代」が31.3%、「40代」が21.5%、「30代」が15.3%、「60代」が14.6%、「20代」が13.9%、「20歳未満」が1.8%となっている。

図表 A2-2-1 対象者の年齢（全体）

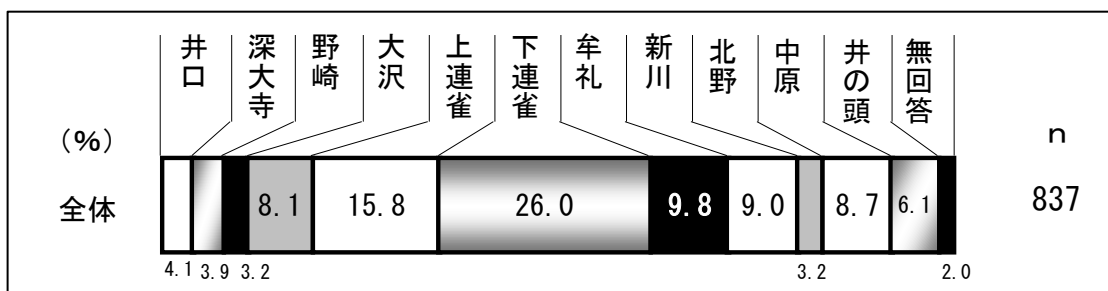


(3) 居住地区

問4 住んでいる地域はどこですか。

居住地区は、「下連雀」が26.0%、「上連雀」が15.8%、「牟礼」が9.8%、「新川」が9.0%、「中原」が8.7%、「大沢」が8.1%、「井の頭」が6.1%、「井口」が4.1%、「深大寺」が3.9%、「野崎」・「北野」が同率で3.2%となっている。

図表 A2-3-1 居住地区（全体）

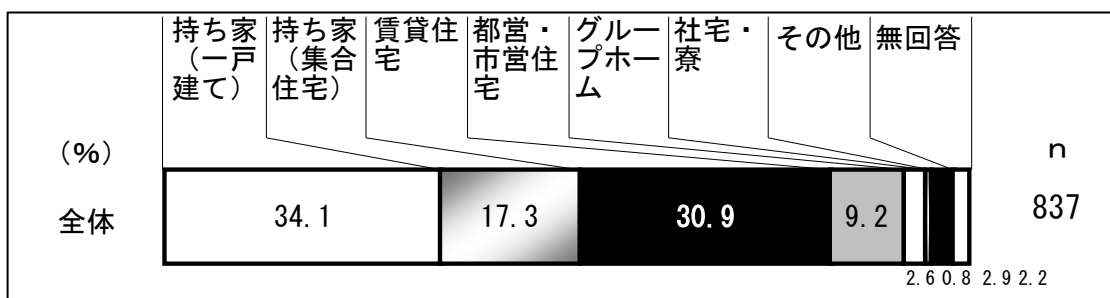


(4) 住居の形態

問5 現在の住居はどれですか。

住居の形態は、「持ち家（一戸建て）」が34.1%、「賃貸住宅」が30.9%、「持ち家（集合住宅）」が17.3%、「都営・市営住宅」が9.2%、「グループホーム」が2.6%、「社宅・寮」が0.8%となっている。

図表 A2-4-1 住居の形態（全体）



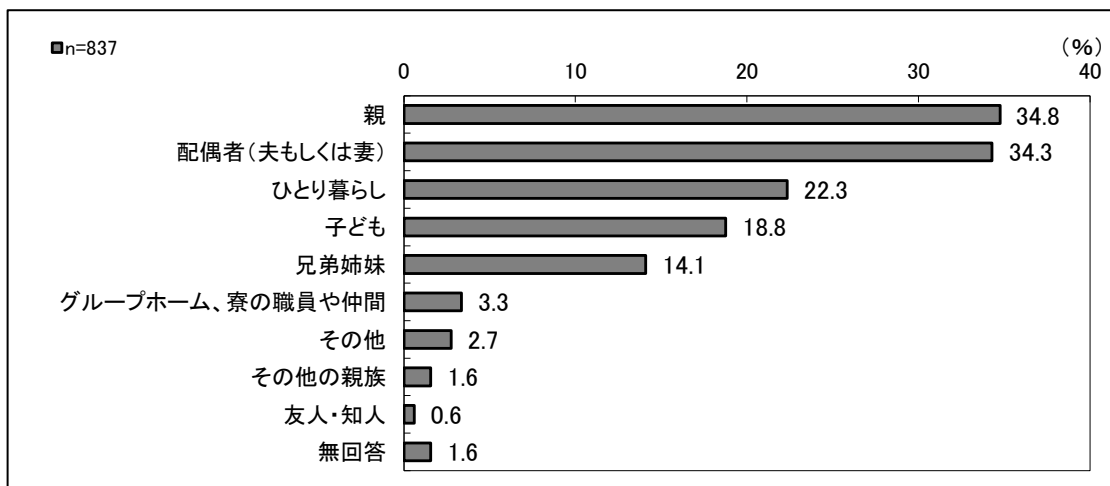
カテゴリー名	持ち家（一戸建て）	持ち家（集合住宅）	賃貸住宅	都営・市営住宅	グループホーム	社宅・寮	その他	無回答	全体
%	34.1	17.3	30.9	9.2	2.6	0.8	2.9	2.2	100.0

(5) 一緒に暮らしている人

問6 一緒に暮らしているのは誰ですか。【複数回答】

一緒に暮らしている人は、「親」が34.8%と最も回答が多く、「配偶者（夫もしくは妻）」が34.3%、「ひとり暮らし」が22.3%と続く。

図表 A2-5-1 一緒に暮らしている人（全体／複数回答）



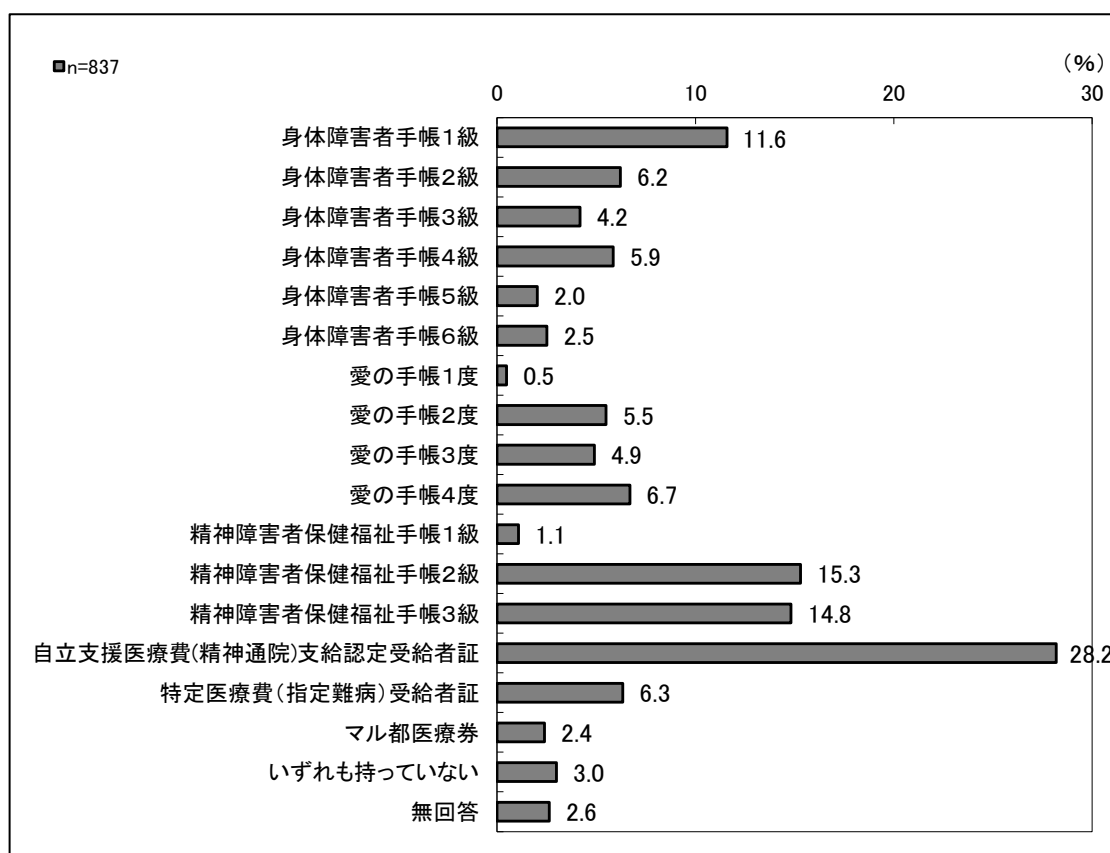
3 障がいの状況について

(1) 所持している障害者手帳等

問7 お持ちの手帳等は、どれですか。【複数回答】

所持している障害者手帳等は、「自立支援医療費(精神通院)支給認定受給者証」が28.2%と最も回答が多く、「精神障害者保健福祉手帳2級」が15.3%、「精神障害者保健福祉手帳3級」が14.8%と続く。また、「いずれも持っていない」は3.0%となっている。

図表 A3-1-1 所持している障害者手帳等（全体／複数回答）

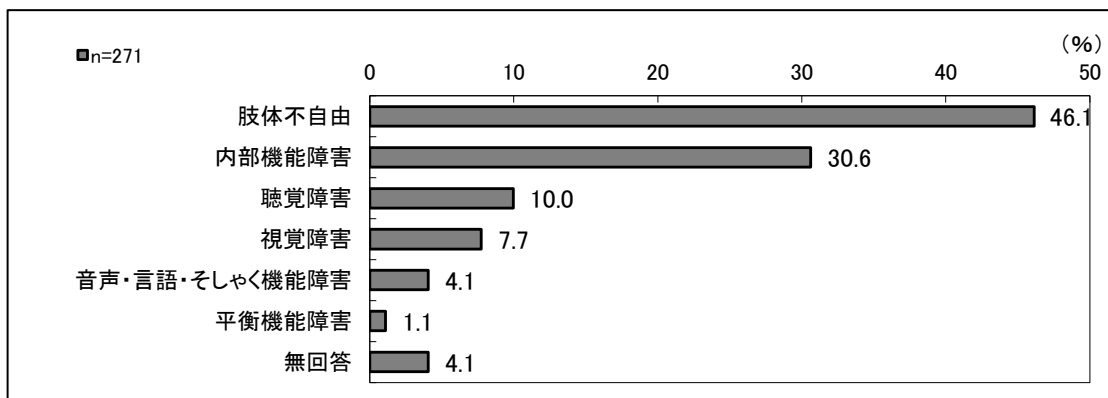


(2) 障がいの部位

※問7で「身体障害者手帳を所持している」と回答した方にお聞きします。
問7-1 手帳に記載されている障がいは何ですか。【複数回答】

障がいの部位は、「肢体不自由」が46.1%と最も回答が多く、「内部機能障害」が30.6%、「聴覚障害」が10.0%と続く。

図表 A3-2-1 障がいの部位（全体／複数回答）

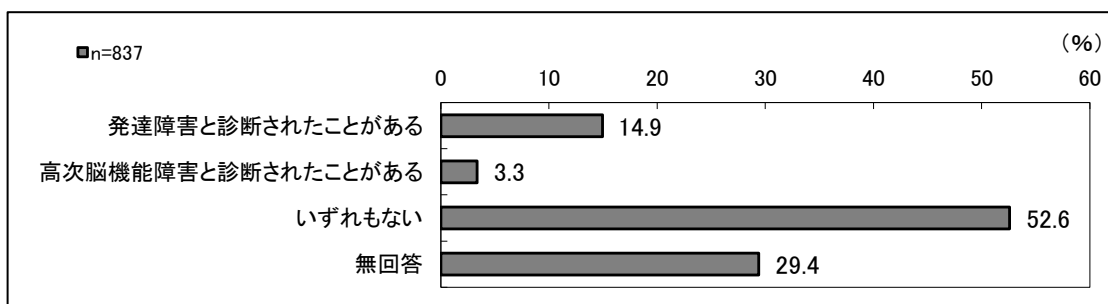


(3) 発達障害・高次脳機能障害の有無

問8 発達障害、高次脳機能障害と診断されたことはありますか。【複数回答】

発達障害・高次脳機能障害の有無は、「いずれもない」が52.6%となっている。「発達障害と診断されたことがある」は14.9%、「高次脳機能障害と診断されたことがある」は3.3%となっている。

図表 A3-3-1 発達障害・高次脳機能障害の有無（全体／複数回答）



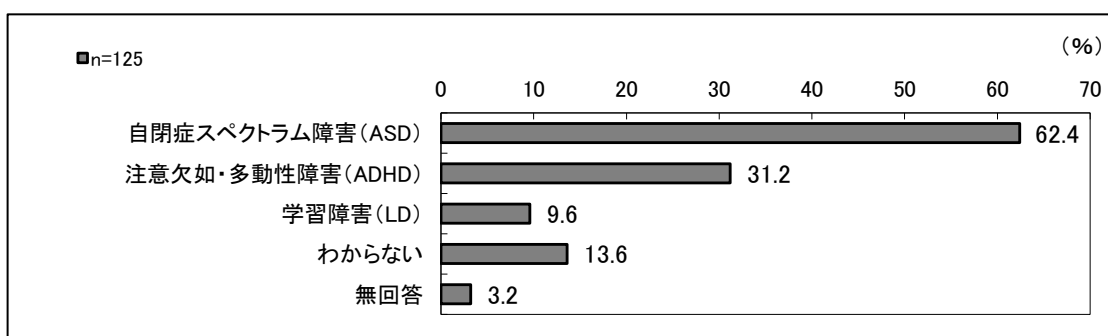
A 障がい者調査

(4) 発達障害の診断名

※問8で「発達障害と診断されたことがある」と回答した方にお聞きします。
問8-1 診断されたのはどれですか。【複数回答】

発達障害の診断名は、「自閉症スペクトラム障害 (ASD)」が 62.4%と最も回答が多く、「注意欠如・多動性障害 (ADHD)」が 31.2%、「学習障害 (LD)」が 9.6%と続く。また、「わからない」は 13.6%となっている。

図表 A3-4-1 発達障害の診断名 (全体/複数回答)



(5) (高次脳機能障害のみ) 診断名

※問8で「高次脳機能障害と診断されたことがある」と回答した方にお聞きします。
問8-2 診断された「障がいの種類 (記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害など)」をご記入ください。

主な診断名は次のとおりとなっている。

- 自閉症
- 精神遅滞
- 広汎性発達障害
- 言語障害
- 注意障害
- 躁うつ病
- 記憶障害
- 相貌失認
- うつ
- 統合失調症
- PTSD
- 適応障害
- 自律神経失調症
- 不安症
- パーソナリティ障害
- 遂行機能障害
- 失語症
- 社会的行動障害

4 医療について

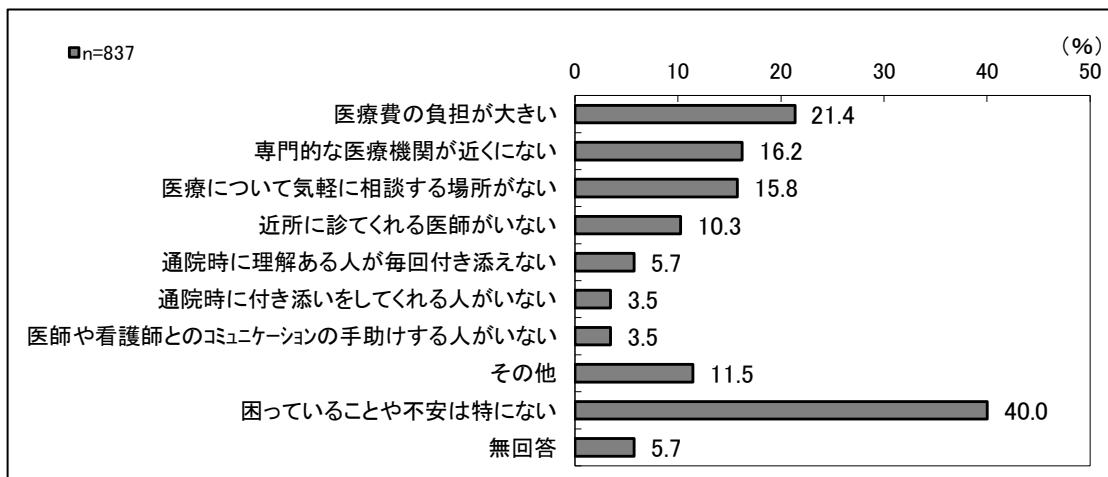
(1) 医療で困ること

問9 医療について困っていることは何ですか。【複数回答】

- 医療で困ることとして、「医療費の負担が大きい」が21.4%と最も回答が多く、「専門的な医療機関が近くにない」が16.2%と続く。また、「困っていることや不安は特にない」が40.0%を占める。

「困っていることや不安は特にない」以外の回答について年齢で見ると、10・20代、30代では「専門的な医療機関が近くにない」が第1位となっている。手帳の種類で見ると、身体障がいと知的障がいでは「専門的な医療機関が近くにない」が第1位となっている。

図表 A4-1-1 医療で困ること（全体／複数回答）



A 障がい者調査

図表 A4-1-2 医療で困ること（全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答）

（単位：％）

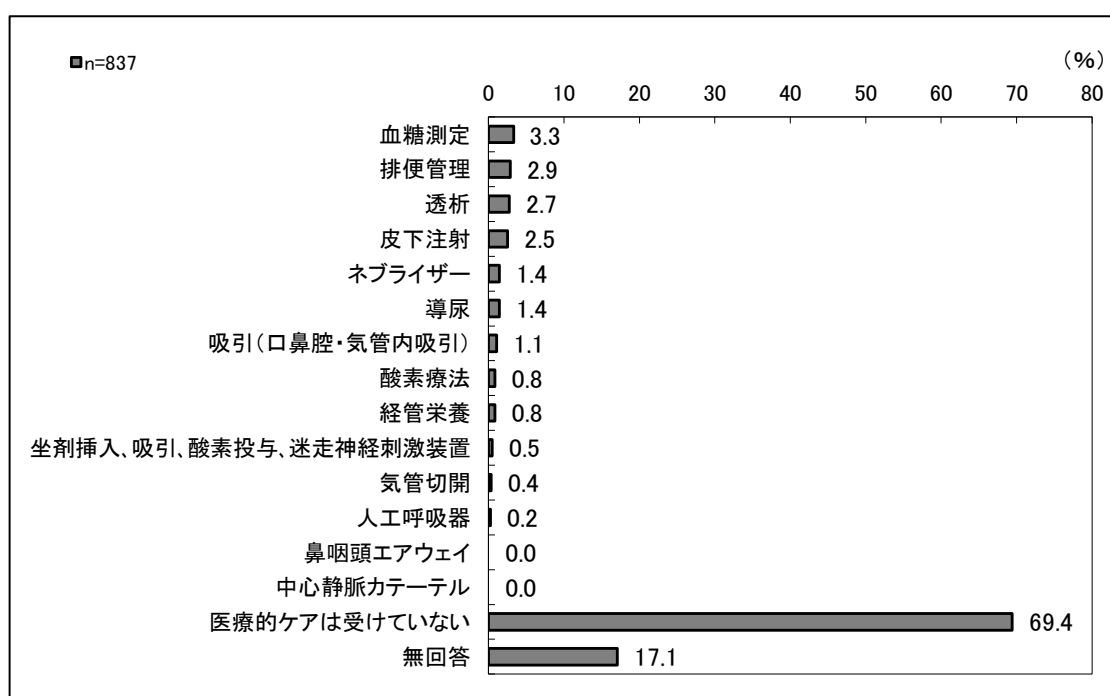
		第1位	第2位	第3位
全体		医療費の負担が大きい 21.4	専門的な医療機関が近くに ない 16.2	医療について気軽に相談す る場所がない 15.8
性別	男性	医療費の負担が大きい 18.0	医療について気軽に相談す る場所がない 15.7	専門的な医療機関が近くに ない 14.7
	女性	医療費の負担が大きい 24.8	専門的な医療機関が近くに ない 18.0	医療について気軽に相談す る場所がない 15.4
年齢	10・20代	専門的な医療機関が近くに ない 24.4	医療費の負担が大きい 18.3	医療について気軽に相談す る場所がない 14.5
	30代	専門的な医療機関が近くに ない／医療費の負担が大きい 19.5		医療について気軽に相談す る場所がない 15.6
	40代	医療費の負担が大きい 25.0	医療について気軽に相談す る場所がない 16.7	専門的な医療機関が近くに ない 15.0
	50代	医療費の負担が大きい 22.5	医療について気軽に相談す る場所がない 16.8	専門的な医療機関が近くに ない 11.8
	60代	医療費の負担が大きい 19.7	専門的な医療機関が近くに ない 16.4	医療について気軽に相談す る場所がない 13.9
手帳の種類	身体障がい	専門的な医療機関が近くに ない 17.3	医療費の負担が大きい 17.0	医療について気軽に相談す る場所がない 11.4
	知的障がい	専門的な医療機関が近くに ない 28.6	医療について気軽に相談す る場所がない 16.3	近所に診てくれる医師がい ない 15.0
	精神障がい	医療費の負担が大きい 24.9	医療について気軽に相談す る場所がない 18.8	専門的な医療機関が近くに ない 14.0
	難病	医療費の負担が大きい 34.8	専門的な医療機関が近くに ない 15.2	医療について気軽に相談す る場所がない 12.1
	持っていない	医療について気軽に相談す る場所がない 16.0	医療費の負担が大きい 12.0	近所に診てくれる医師がい ない 4.0

(2) 受けている医療的ケア

問10 現在、次の医療的ケアを受けていますか。【複数回答】

- 受けている医療的ケアとして「血糖測定」が3.3%と最も回答が多く、「排便管理」が2.9%と続く。また、「医療的ケアを受けていない」は69.4%を占める。

図表 A4-2-1 受けている医療的ケア（全体／複数回答）



A 障がい者調査

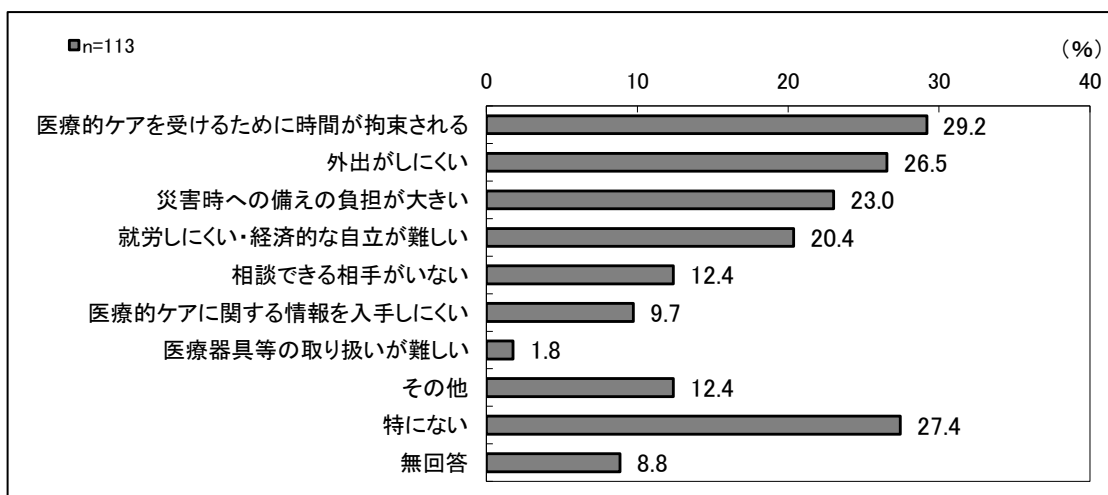
(3) 医療的ケアで困ること

※問 10 で「医療的ケアを受けている」と回答した方にお聞きします。
問 10-1 医療的ケアを受けていることで、困っていることは何ですか。【複数回答】

- 医療的ケアで困ることとして「医療的ケアを受けるために時間が拘束される」が 29.2%と最も回答が多く、「外出がしにくい」が 26.5%と続く。また、「特にない」が 27.4%を占める。

「特にない」以外の回答について、性別で見ると、女性では「災害時への備えの負担が大きい」が第1位となっている。手帳の種類で見ると、知的障がいと精神障がいでは「相談できる相手がない」が第1位となっている。

図表 A4-3-1 医療的ケアで困ること（全体／複数回答）



図表 A4-3-2 医療的ケアで困ること（全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		医療的ケアを受けるために時間が拘束される 29.2	外出がしにくい 26.5	災害時への備えの負担が大きい 23.0
性別	男性	医療的ケアを受けるために時間が拘束される 32.8	外出がしにくい 29.9	就労しにくい・経済的な自立が難しい 22.4
	女性	災害時への備えの負担が大きい 35.0	医療的ケアを受けるために時間が拘束される 25.0	外出がしにくい 22.5
年齢	10・20代	医療的ケアを受けるために時間が拘束される 50.0		
	30代	医療的ケアを受けるために時間が拘束される／外出がしにくい／災害時への備えの負担が大きい 38.5		
	40代	医療的ケアを受けるために時間が拘束される／外出がしにくい 26.9	就労しにくい・経済的な自立が難しい 23.1	
	50代	医療的ケアを受けるために時間が拘束される 26.7	外出がしにくい 22.2	相談できる相手がいない 17.8
	60代	医療的ケアを受けるために時間が拘束される 34.8	外出がしにくい 30.4	災害時への備えの負担が大きい 30.4
手帳の種類	身体障がい	医療的ケアを受けるために時間が拘束される 36.1	外出がしにくい 32.8	災害時への備えの負担が大きい 27.9
	知的障がい	相談できる相手がいない 50.0	医療的ケアに関する情報を入手しにくい／外出がしにくい／災害時への備えの負担が大きい 37.5	
	精神障がい	医療的ケアを受けるために時間が拘束される／相談できる相手がいない 20.0	外出がしにくい／災害時への備えの負担が大きい 17.1	
	難病	医療的ケアを受けるために時間が拘束される 48.1	外出がしにくい 29.6	災害時への備えの負担が大きい 25.9
	持っていない	就労しにくい・経済的な自立が難しい 66.7	医療的ケアを受けるために時間が拘束される／外出がしにくい 33.3	

5 障がい福祉サービスの利用について

(1) 障がい福祉サービスの利用状況と利用意向

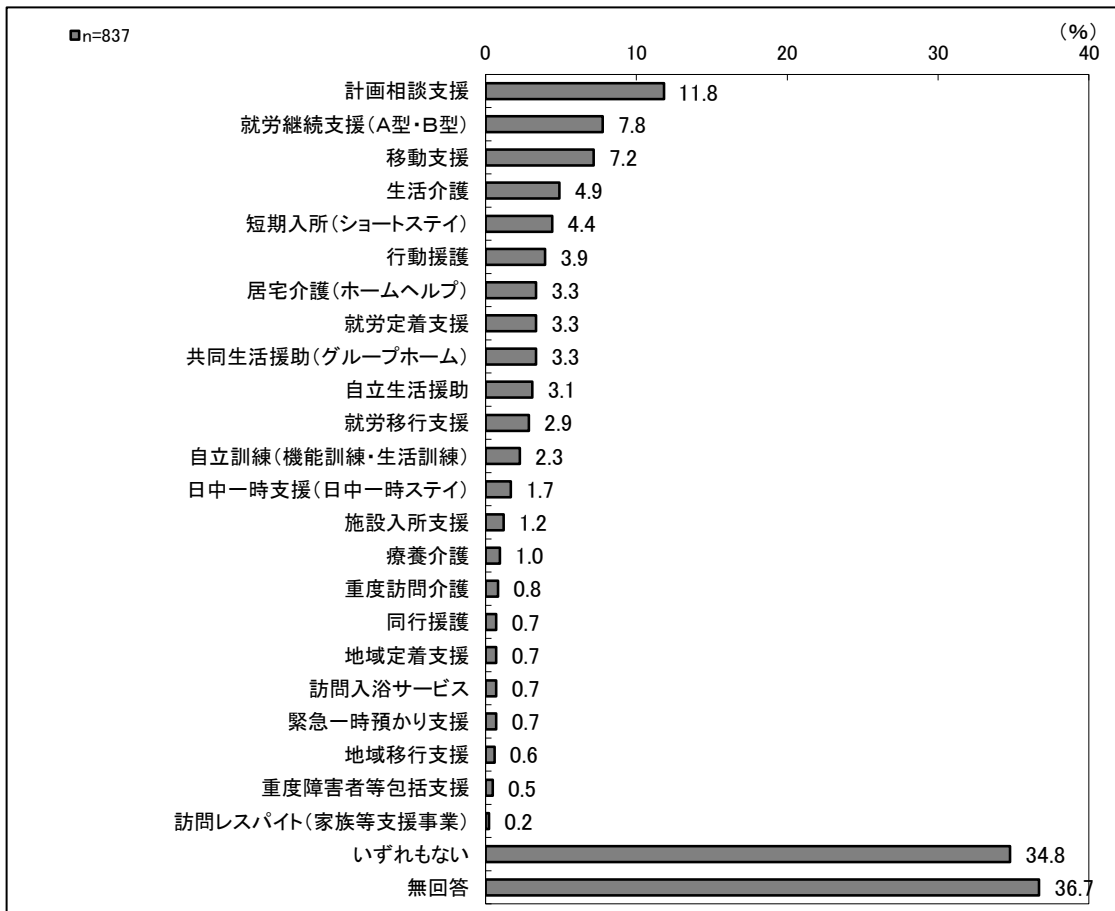
問 11 ①現在利用している障がい福祉サービスと、②身近にあったら利用したい、現在利用しているがもっと利用したいサービスとして、あてはまる番号に○をしてください。
【複数回答】

① 現在利用している障がい福祉サービス

- 現在利用している障がい福祉サービスは、「計画相談支援」が11.8%と最も回答が多く、「就労継続支援（A型・B型）」が7.8%と続く。また、「いずれもない」は34.8%となっている。

「いずれもない」以外の回答について年齢で見ると、10・20代では「移動支援」、60代では「自立生活援助」が第1位となっている。手帳の種類で見ると、知的障がいでは「移動支援」、難病では「短期入所（ショートステイ）」が第1位となっている。

図表 A5-1-1 現在利用している障がい福祉サービス（全体／複数回答）



I 調査結果 5 障がい福祉サービスの利用について

図表 A5-1-2 現在利用している障がい福祉サービス
(全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		計画相談支援 11.8	就労継続支援(A型・B型) 7.8	移動支援 7.2
性別	男性	計画相談支援 13.8	移動支援 9.8	就労継続支援(A型・B型) 9.1
	女性	計画相談支援 9.9	就労継続支援(A型・B型) 6.8	移動支援 4.4
年齢	10・20代	移動支援 16.8	就労継続支援(A型・B型)／計画相談支援 16.0	
	30代	計画相談支援 19.5	移動支援 12.5	生活介護 11.7
	40代	計画相談支援 15.6	就労継続支援(A型・B型)／移動支援 7.8	
	50代	計画相談支援 7.6	就労継続支援(A型・B型) 5.3	居宅介護(ホームヘルプ) 3.8
	60代	自立生活援助 5.7	短期入所(ショートステイ)／自立訓練(機能訓練・生活訓練) 4.9	
手帳の種類	身体障がい	計画相談支援 10.0	生活介護 7.0	移動支援 6.3
	知的障がい	移動支援 37.4	計画相談支援 34.7	生活介護 23.1
	精神障がい	計画相談支援 9.9	就労継続支援(A型・B型) 9.4	自立生活援助 5.3
	難病	短期入所(ショートステイ)／移動支援 4.5		療養介護／生活介護／緊急一時預かり支援 3.0
	持っていない	計画相談支援 8.0	就労移行支援／就労定着支援 4.0	

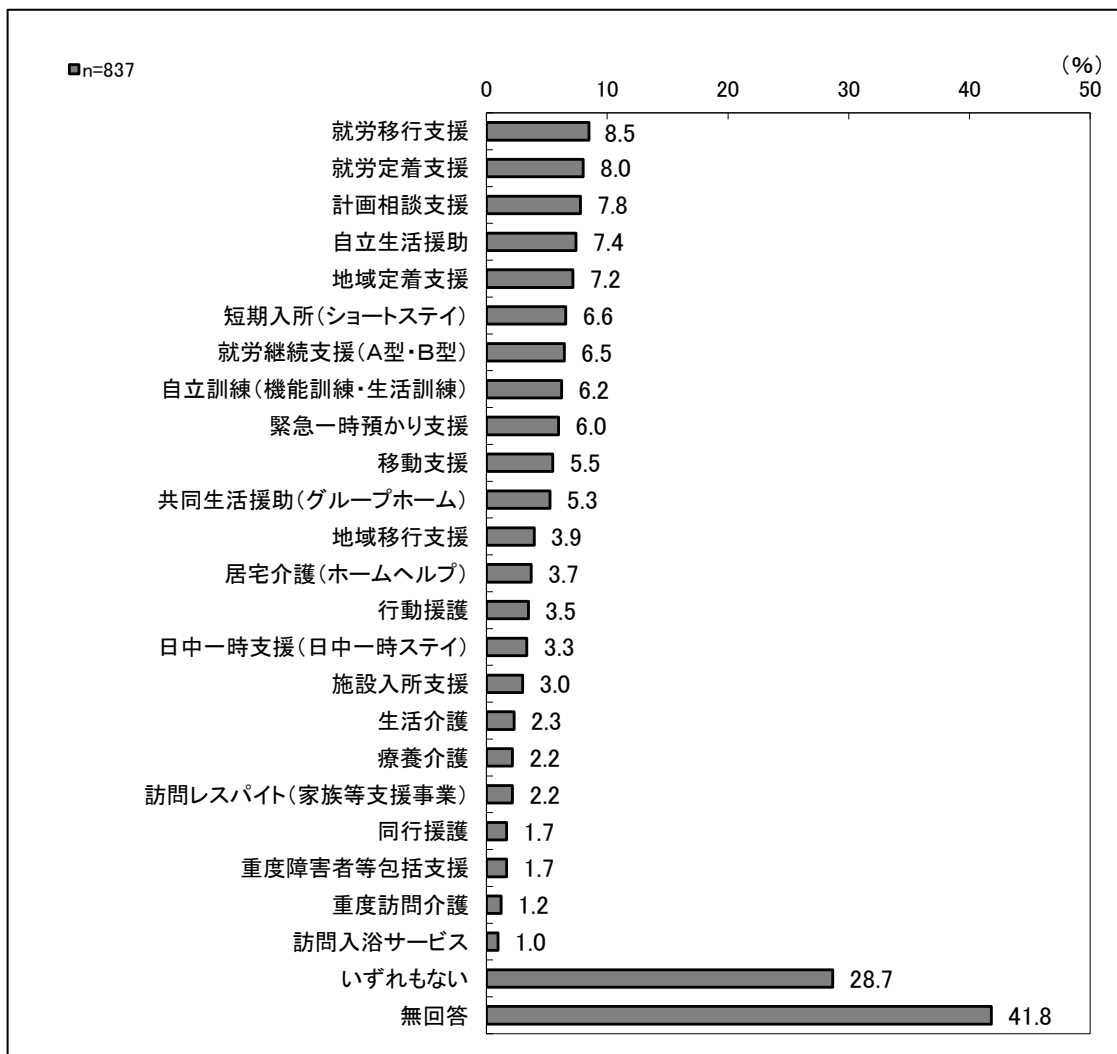
A 障がい者調査

② 利用したい、もっと利用したいサービス

- 利用したい、もっと利用したいサービスについては、「就労移行支援」が 8.5%と最も回答が多く、「就労定着支援」が 8.0%と続く。また、「いずれもない」は 28.7%となっている。

「いずれもない」以外の回答について年齢で見ると、10・20代では「緊急一時預かり支援」、30代では「自立生活援助」、60代では「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が第1位となっている。手帳の種類で見ると、知的障がいでは「短期入所（ショートステイ）」が第1位となっている。

図表 A5-1-3 利用したい、もっと利用したいサービス（全体／複数回答）



I 調査結果 5 障がい福祉サービスの利用について

図表 A5-1-4 利用したい、もっと利用したいサービス

(全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		就労移行支援 8.5	就労定着支援 8.0	計画相談支援 7.8
性別	男性	就労移行支援 9.3	短期入所（ショートステイ） 8.4	就労定着支援／計画相談支援 7.9
	女性	自立生活援助 8.6	就労定着支援／地域定着支援 8.1	
年齢	10・20代	緊急一時預かり支援 13.7	短期入所（ショートステイ）／共同生活援助／計画相談支援／移動支援 12.2	
	30代	自立生活援助 10.9	就労移行支援／就労定着支援 10.2	
	40代	就労移行支援 11.1	就労定着支援 10.6	計画相談支援 9.4
	50代	就労定着支援／地域定着支援 6.5		就労移行支援／計画相談支援 6.1
	60代	自立訓練（機能訓練・生活訓練） 9.0	計画相談支援 7.4	就労移行支援 6.6
手帳の種類	身体障がい	計画相談支援 8.9	就労移行支援 8.5	地域定着支援 6.6
	知的障がい	短期入所（ショートステイ） 23.1	緊急一時預かり支援 21.1	移動支援 20.4
	精神障がい	就労定着支援 11.7	就労移行支援 9.7	自立生活援助 8.9
	難病	就労移行支援／就労継続支援（A型・B型） 9.1		施設入所支援／緊急一時預かり支援 6.1
	持っていない	自立訓練（機能訓練・生活訓練）／就労移行支援／自立生活援助 8.0		

A 障がい者調査

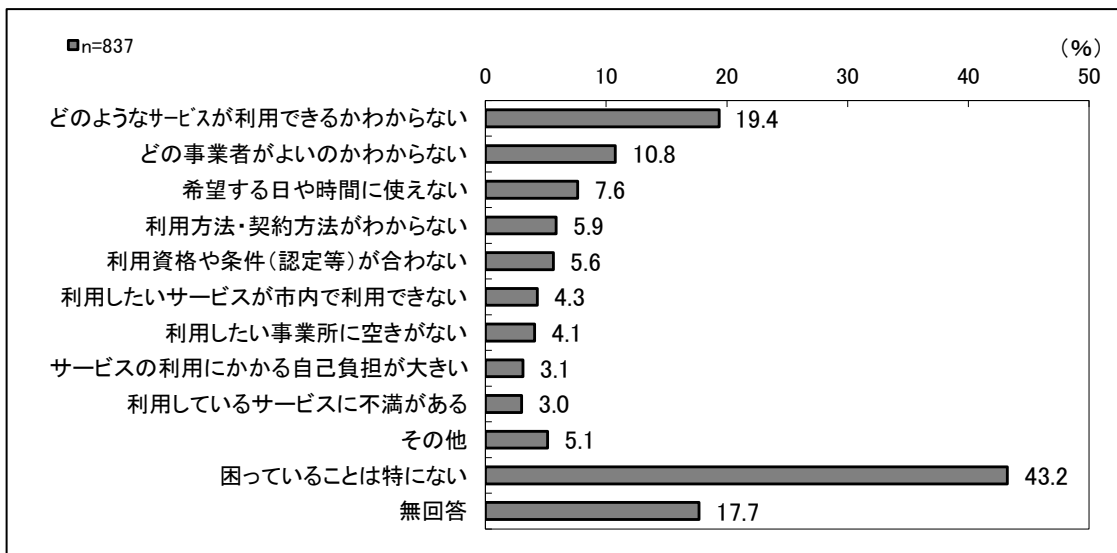
(2) 障がい福祉サービスの利用における困りごと

問 12 障がい福祉サービスを利用するにあたって、困っていることは何ですか。【複数回答】

- 障がい福祉サービスの利用における困りごととして「どのようなサービスが利用できるかわからない」が19.4%と最も回答が多く、「どの事業者がよいのかわからない」が10.8%と続く。また、「困っていることは特にない」は43.2%を占める。

「困っていることは特にない」以外の回答について年齢で見ると、10・20代では「どの事業者がよいのかわからない」が第1位となっている。また、手帳の種類で見ると、知的障がいでは「希望する日や時間に使えない」が第1位となっている。

図表 A5-2-1 障がい福祉サービスの利用における困りごと（全体／複数回答）



I 調査結果 5 障がい福祉サービスの利用について

図表 A5-2-2 障がい福祉サービスの利用における困りごと

(全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		どのようなサービスが利用できるかわからない 19.4	どの事業者がよいのかわからない 10.8	希望する日や時間に使えない 7.6
性別	男性	どのようなサービスが利用できるかわからない 18.7	どの事業者がよいのかわからない 11.2	希望する日や時間に使えない 7.9
	女性	どのようなサービスが利用できるかわからない 19.8	どの事業者がよいのかわからない 10.2	希望する日や時間に使えない 7.6
年齢	10・20代	どの事業者がよいのかわからない 17.6	どのようなサービスが利用できるかわからない 16.0	希望する日や時間に使えない 11.5
	30代	どのようなサービスが利用できるかわからない 17.2	どの事業者がよいのかわからない 13.3	希望する日や時間に使えない 10.2
	40代	どのようなサービスが利用できるかわからない 22.8	どの事業者がよいのかわからない 11.1	希望する日や時間に使えない／利用方法・契約方法がわからない 10.0
	50代	どのようなサービスが利用できるかわからない 20.6	どの事業者がよいのかわからない 7.6	利用資格や条件（認定等）が合わない／利用方法・契約方法がわからない 5.3
	60代	どのようなサービスが利用できるかわからない 17.2	どの事業者がよいのかわからない 6.6	希望する日や時間に使えない 4.9
手帳の種類	身体障がい	どのようなサービスが利用できるかわからない 17.7	希望する日や時間に使えない 7.7	利用資格や条件（認定等）が合わない 7.4
	知的障がい	希望する日や時間に使えない 20.4	どのようなサービスが利用できるかわからない 17.7	どの事業者がよいのかわからない 15.6
	精神障がい	どのようなサービスが利用できるかわからない 20.9	どの事業者がよいのかわからない 12.5	利用方法・契約方法がわからない 7.9
	難病	どのようなサービスが利用できるかわからない 21.2	希望する日や時間に使えない／利用資格や条件（認定等）が合わない／利用方法・契約方法がわからない 6.1	
	持っていない	どの事業者がよいのかわからない／どのようなサービスが利用できるかわからない 12.0		利用資格や条件（認定等）が合わない／利用したい事業所に空きがない／利用したいサービスが市内で利用できない／サービスの利用にかかる自己負担が大きい 4.0

6 就労について

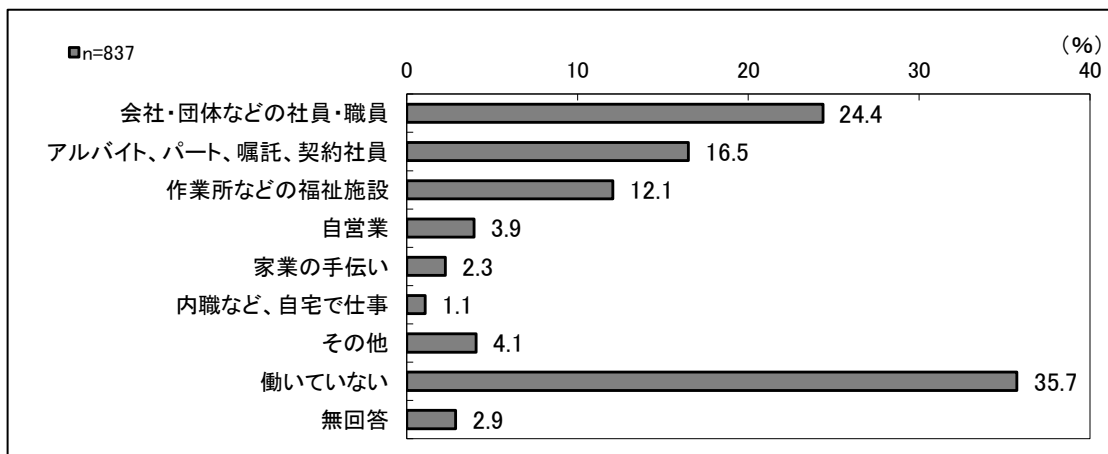
(1) 就労状況

問 13 現在、どのような仕事をしていますか。【複数回答】

- 就労状況として「会社・団体などの社員・職員」が 24.4%と最も回答が多く、「アルバイト、パート、嘱託、契約職員」が 16.5%と続く。また、「働いていない」が 35.7%を占める。

「働いていない」以外の回答について性別でみると、男性では「会社・団体などの社員・職員」が第1位となっているのに対し、女性では「アルバイト・パート、嘱託、契約社員」が第1位となっている。手帳の種類でみると、知的障がいでは「作業所などの福祉施設」が第1位となっている。

図表 A6-1-1 就労状況（全体／複数回答）



図表 A6-1-2 就労状況（全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		会社・団体などの社員・職員 24.4	アルバイト、パート、嘱託、契約社員 16.5	作業所などの福祉施設 12.1
性別	男性	会社・団体などの社員・職員 32.0	作業所などの福祉施設 15.4	アルバイト、パート、嘱託、契約社員 13.3
	女性	アルバイト、パート、嘱託、契約社員 20.4	会社・団体などの社員・職員 16.2	作業所などの福祉施設 8.9
年齢	10・20代	アルバイト、パート、嘱託、契約社員 21.4	会社・団体などの社員・職員／作業所などの福祉施設 19.8	
	30代	会社・団体などの社員・職員 25.8	アルバイト、パート、嘱託、契約社員 21.9	作業所などの福祉施設 15.6
	40代	会社・団体などの社員・職員 31.7	作業所などの福祉施設 16.7	アルバイト、パート、嘱託、契約社員 13.9
	50代	会社・団体などの社員・職員 23.7	アルバイト、パート、嘱託、契約社員 16.0	作業所などの福祉施設 7.3
	60代	会社・団体などの社員・職員 19.7	アルバイト、パート、嘱託、契約社員 11.5	自営業 4.9
手帳の種類	身体障がい	会社・団体などの社員・職員 33.2	アルバイト、パート、嘱託、契約社員 14.0	作業所などの福祉施設 5.2
	知的障がい	作業所などの福祉施設 41.5	アルバイト、パート、嘱託、契約社員 19.0	会社・団体などの社員・職員 11.6
	精神障がい	会社・団体などの社員・職員 19.8	アルバイト、パート、嘱託、契約社員 17.3	作業所などの福祉施設 11.7
	難病	会社・団体などの社員・職員 30.3	アルバイト、パート、嘱託、契約社員 19.7	自営業 10.6
	持っていない	会社・団体などの社員・職員 36.0	アルバイト、パート、嘱託、契約社員 20.0	作業所などの福祉施設／自営業／家業の手伝い 4.0

A 障がい者調査

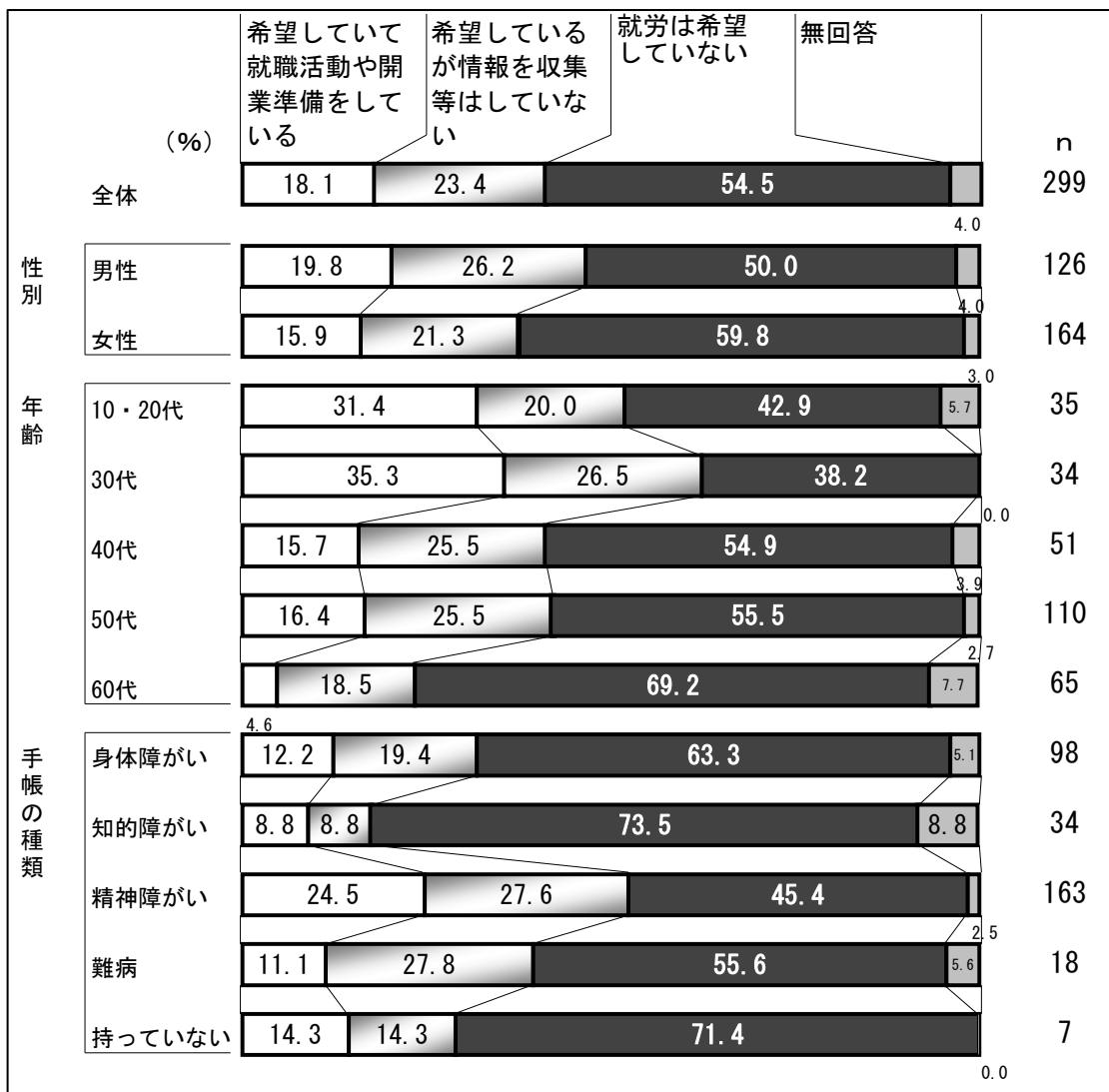
(2) 就労意向

※問 13 で「働いていない」と回答した方にお聞きします。
 問 13-1 仕事に就くことを希望していますか。

- 就労意向は、「希望しているが情報を収集等はしていない」が 23.4%、「希望していて就職活動や開業準備をしている」が 18.1%、「就労は希望していない」が 54.5%となっている。

性別で見ると、女性よりも男性の就労意向が高くなっている。また、年齢で見ると、若年層ほど就労意向が高い傾向がみられ、10・20代と30代では「希望していて就職活動や開業準備をしている」が3割以上を占めている。手帳の種類で見ると、精神障がいでは就労意向が高くなっている。

図表 A6-2-1 就労意向 (全体・性別・年齢・手帳の種類)



(3) 希望する就労日数・就労時間

問 14 どれくらいの頻度・時間で働きたいですか。①頻度、②1日の勤務時間それぞれあてはまるものを選んでください。



① 希望する就労日数

- 希望する就労日数については、「週5日以上」が36.7%と最も多い。

性別でみると、男性では「週5日以上」が46.7%を占めるのに対し、女性では26.4%となっている。年齢でみると、若年層では希望する就労日数が増える傾向がうかがえる。手帳の種類でみると、知的障がいでは「週5日以上」が55.1%を占めている。

図表 A6-3-1 希望する就労日数（全体・性別・年齢・手帳の種類）

		週5日以上	週4日	週3日	週1~2日	わからない	無回答	n	
全体 (%)		36.7		12.1	10.8	6.9	9.6	24.0	837
性別	男性	46.7		12.4	7.2	8.6	20.6	428	
	女性	26.4	11.7	14.1	9.4	10.7	27.7	383	
年齢	10・20代	48.1		14.5	11.5	9.9	13.7	131	
	30代	49.2		16.4	7.0	6.3	9.4	128	
	40代	40.0	12.2	12.2	7.2	8.3	20.0	180	
	50代	32.4	9.9	12.2	6.9	11.8	26.7	262	
	60代	16.4	8.2	9.8	12.3	7.4	45.9	122	
手帳の種類	身体障がい	36.2	9.2	11.1	5.2	8.5	29.9	271	
	知的障がい	55.1		9.5	8.2	25.2	147		
	精神障がい	32.6	14.2	14.2	8.9	11.5	18.6	393	
	難病	28.8	15.2	10.6	12.1	10.6	22.7	66	
	持っていない	36.0	20.0	8.0	16.0	16.0	25		

A 障がい者調査

② 希望する1日の勤務時間

- 希望する就労時間については、「7～8時間」が29.5%と最も多い。

性別で見ると、女性に比べて男性の希望する1日の勤務時間が長くなっている。年齢で見ると、若年層ほど希望する1日の勤務時間が長い傾向がうかがえる。

図表 A6-3-2 希望する1日の勤務時間（全体・性別・年齢・手帳の種類）

	7～8時間	5～6時間	3～4時間	1～2時間	わからない	無回答	n	
全体 (%)	29.5	20.1	10.2	10.4	26.4		837	
性別	男性	36.7	20.8	6.3	9.6	23.6	428	
	女性	21.9	18.8	14.4	11.5	29.5	383	
年齢	10・20代	38.2	24.4	8.4	10.7	16.0	131	
	30代	33.6	31.3	8.6	9.4	13.3	128	
	40代	36.1	18.3	11.7	8.3	22.8	180	
	50代	27.1	17.2	9.5	12.6	29.4	262	
	60代	13.1	10.7	13.9	10.7	47.5	122	
手帳の種類	身体障がい	28.8	18.5	7.4	9.2	34.3	271	
	知的障がい	27.2	29.9		9.5	29.3	147	
	精神障がい	27.5	21.4	14.0	5.0	12.0	19.6	393
	難病	31.8	21.2	9.1	7.6	30.3	66	
	持っていない	44.0	12.0	8.0		16.0	16.0	25

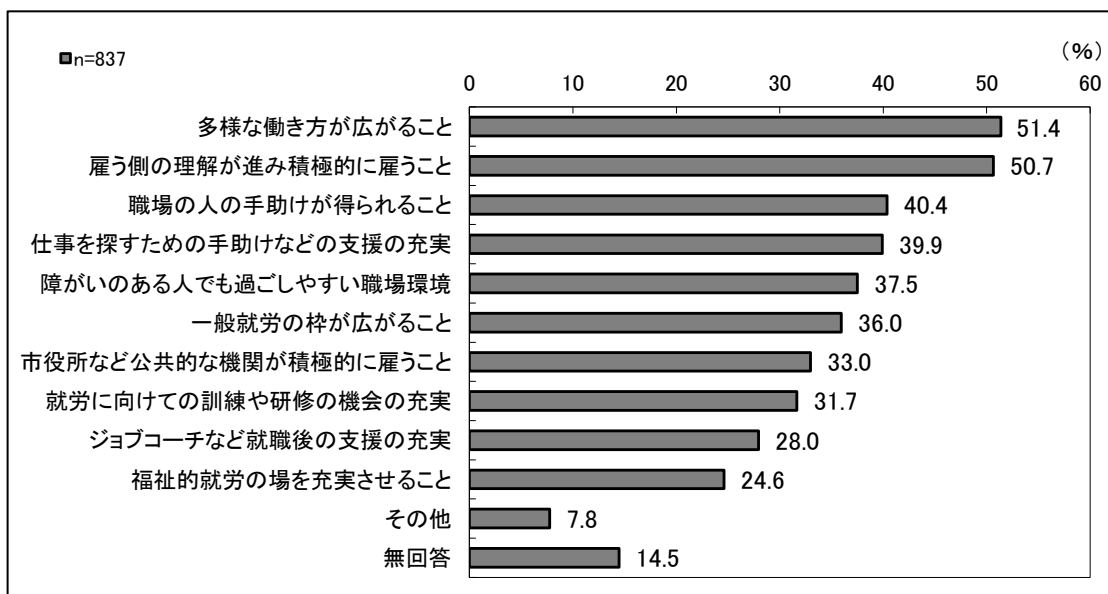
(4) 障がい者の就労に必要なこと

問 15 障がいのある人が働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。【複数回答】

- 障がい者の就労に必要なこととして「多様な働き方が広がること」が 51.4%と最も回答が多く、「雇う側の理解が進み積極的に雇うこと」が 50.7%と続く。

性別でみると、男性では「雇う側の理解が進み積極的に雇うこと」が第1位となっている。年齢でみると、30代以下では「雇う側の理解が進み積極的に雇うこと」が第1位となっている。手帳の種類でみると、知的障がいでは「福祉的就労の場を充実させること」が第1位となっている。

図表 A6-4-1 障がい者の就労に必要なこと（全体／複数回答）



A 障がい者調査

図表 A6-4-2 障がい者の就労に必要なこと（全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		多様な働き方が広がること 51.4	雇う側の理解が進み積極的に雇うこと 50.7	職場の人の手助けが得られること 40.4
性別	男性	雇う側の理解が進み積極的に雇うこと 50.5	多様な働き方が広がること 48.6	仕事を探すための手助けなどの支援の充実 41.6
	女性	多様な働き方が広がること 54.3	雇う側の理解が進み積極的に雇うこと 50.9	職場の人の手助けが得られること 43.9
年齢	10・20代	雇う側の理解が進み積極的に雇うこと 56.5	多様な働き方が広がること 52.7	仕事を探すための手助けなどの支援の充実 45.8
	30代	雇う側の理解が進み積極的に雇うこと 60.2	多様な働き方が広がること 57.8	職場の人の手助けが得られること 54.7
	40代	多様な働き方が広がること 55.0	雇う側の理解が進み積極的に雇うこと 53.9	一般就労の枠が広がること 38.9
	50代	多様な働き方が広がること 50.8	雇う側の理解が進み積極的に雇うこと 47.3	仕事を探すための手助けなどの支援の充実 39.7
	60代	多様な働き方が広がること 41.8	雇う側の理解が進み積極的に雇うこと 37.7	仕事を探すための手助けなどの支援の充実 29.5
手帳の種類	身体障がい	雇う側の理解が進み積極的に雇うこと 52.4	多様な働き方が広がること 52.0	障がいのある人でも過ごしやすい職場環境 47.6
	知的障がい	福祉的就労の場を充実させること／職場の人の手助けが得られること 46.9	雇う側の理解が進み積極的に雇うこと 46.3	雇う側の理解が進み積極的に雇うこと 46.3
	精神障がい	多様な働き方が広がること 56.2	雇う側の理解が進み積極的に雇うこと 53.9	職場の人の手助けが得られること 43.3
	難病	多様な働き方が広がること 57.6	仕事を探すための手助けなどの支援の充実 45.5	雇う側の理解が進み積極的に雇うこと 43.9
	持っていない	多様な働き方が広がること 40.0	雇う側の理解が進み積極的に雇うこと 36.0	就労に向けての訓練や研修の機会の充実／職場の人の手助けが得られること 32.0

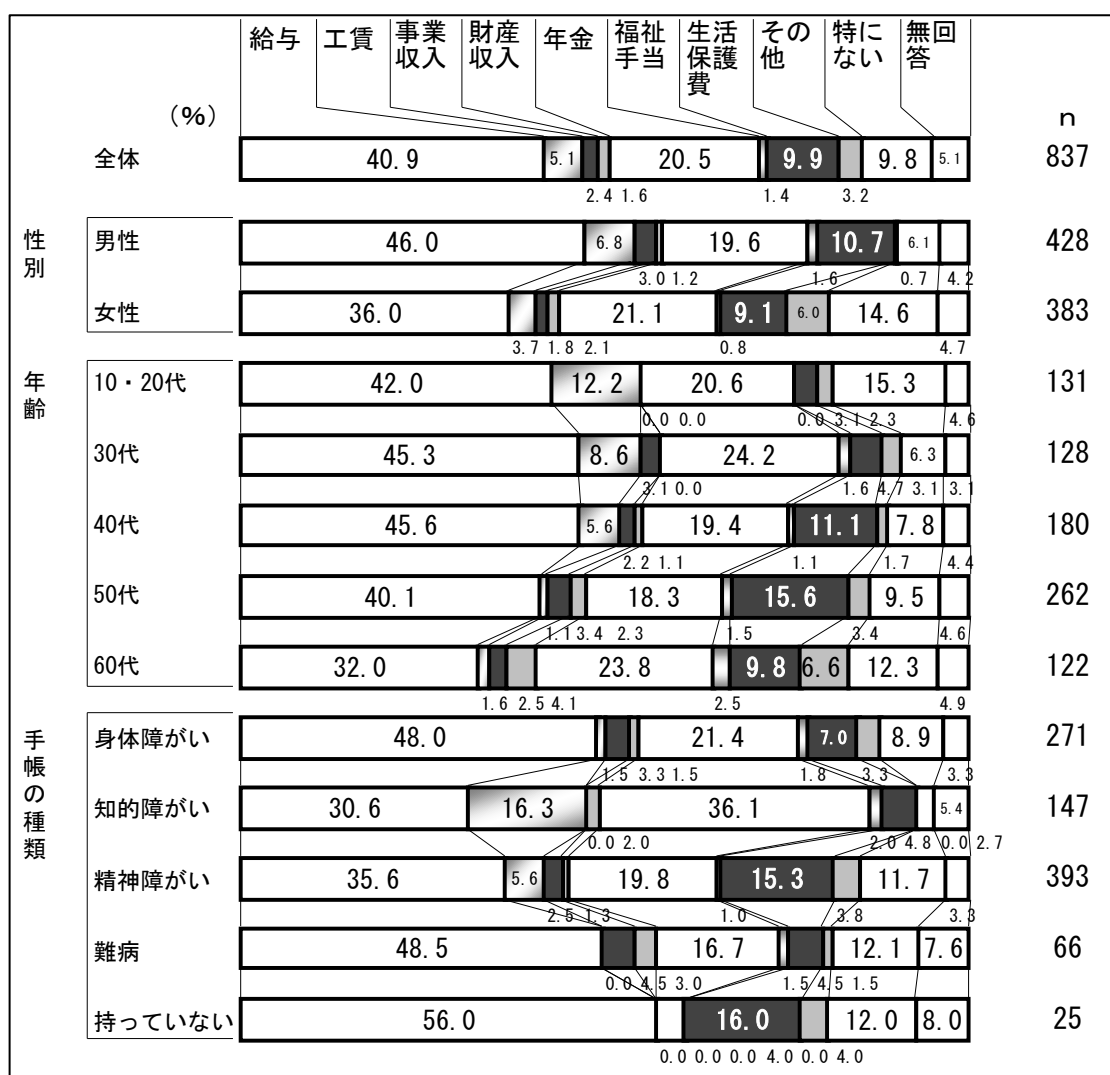
7 収入について

(1) 主な収入

問 16 主な収入は何ですか。

- 主な収入は、「給与」が40.9%、「年金」が20.5%となっている。

図表 A7-1-1 主な収入（全体・性別・年齢・手帳の種類）



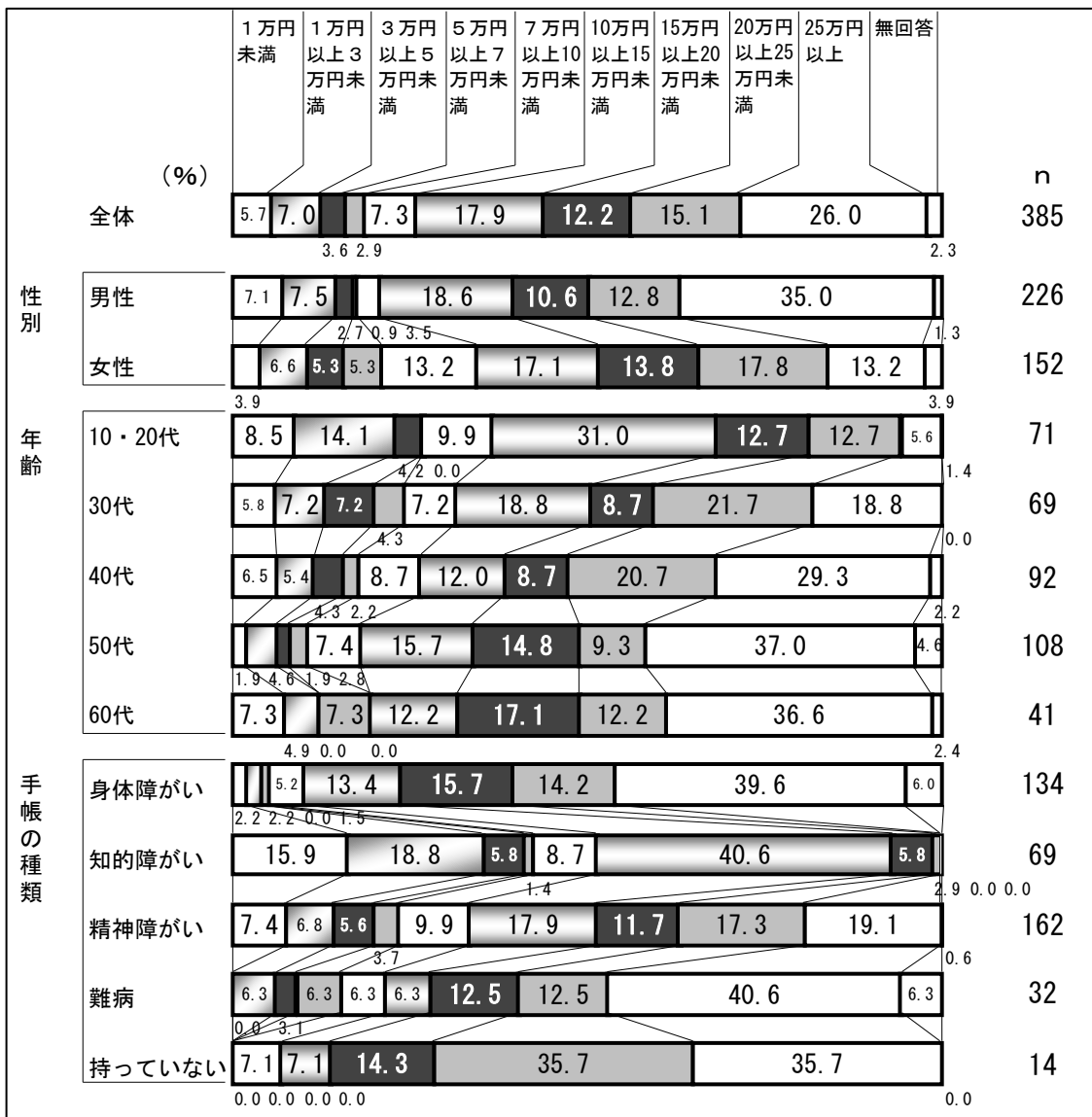
A 障がい者調査

(2) 1か月あたりの収入

※問 16 で「給与」または「工賃」と回答した方にお聞きします。
 問 16-1 給与または工賃は、1か月あたりどれくらいですか。

- 1か月あたりの収入は「25万円以上」が26.0%と最も多く、「10万円以上15万円未満」が17.9%と続く。

図表 A7-2-1 1か月あたりの収入（全体・性別・年齢・手帳の種類）



I 調査結果 7 収入について

給与・工賃それぞれで1か月あたりの収入をみると以下のとおりとなっている。

図表 A7-2-2 1か月あたりの収入（給与・工賃別）

（単位：上段：人、下段：％）

	合計	問16-1 1か月あたりの収入											
		1万円未満	1万円以上3万円未満	3万円以上5万円未満	5万円以上7万円未満	7万円以上10万円未満	10万円以上15万円未満	15万円以上20万円未満	20万円以上25万円未満	25万円以上	無回答	非該当	
全体	385 100.0	22 5.7	27 7.0	14 3.6	11 2.9	28 7.3	69 17.9	47 12.2	58 15.1	100 26.0	9 2.3	452	
主な収入	給与	342 100.0	3 0.9	12 3.5	6 1.8	11 3.2	28 8.2	69 20.2	47 13.7	58 17.0	100 29.2	8 2.3	0
	工賃	43 100.0	19 44.2	15 34.9	8 18.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.3	0

8 社会活動などについて

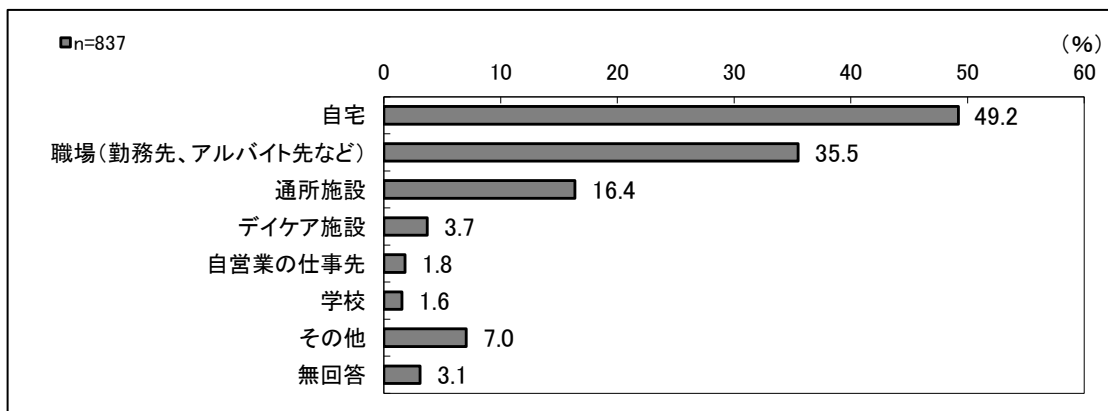
(1) 平日（日中）の過ごす場所

問 17 平日の日中はどこにすることが多いですか。【複数回答】

- 平日（日中）の過ごす場所として「自宅」が 49.2%と最も回答が多く、「職場（勤務先、アルバイト先など）」が 35.5%と続く。

性別で見ると、男性では「職場（勤務先、アルバイト先）」が第1位となっている。年齢で見ると、10・20代では「職場（勤務先、アルバイト先）」が第1位となっている。手帳の種類で見ると、知的障がいでは「通所施設」が第1位となっている。

図表 A8-1-1 平日（日中）の過ごす場所（全体／複数回答）



図表 A8-1-2 平日（日中）の過ごす場所（全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答）
（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		自宅 49.2	職場（勤務先、アルバイト先など） 35.5	通所施設 16.4
性別	男性	職場（勤務先、アルバイト先など） 40.9	自宅 39.3	通所施設 20.6
	女性	自宅 60.1	職場（勤務先、アルバイト先など） 29.8	通所施設 12.0
年齢	10・20代	職場（勤務先、アルバイト先など） 39.7	自宅 33.6	通所施設 27.5
	30代	自宅 41.4	職場（勤務先、アルバイト先など） 39.8	通所施設 25.8
	40代	自宅 52.2	職場（勤務先、アルバイト先など） 38.9	通所施設 16.1
	50代	自宅 52.3	職場（勤務先、アルバイト先など） 34.7	通所施設 9.9
	60代	自宅 65.6	職場（勤務先、アルバイト先など） 24.6	通所施設 9.0
手帳の種類	身体障がい	自宅 48.3	職場（勤務先、アルバイト先など） 41.3	通所施設 12.5
	知的障がい	通所施設 55.1	職場（勤務先、アルバイト先など） 31.3	自宅 14.3
	精神障がい	自宅 58.5	職場（勤務先、アルバイト先など） 30.5	通所施設 12.5
	難病	自宅 62.1	職場（勤務先、アルバイト先など） 31.8	通所施設／自営業の仕事先 6.1
	持っていない	職場（勤務先、アルバイト先など） 60.0	自宅 52.0	通所施設／デイケア施設／学校 4.0

A 障がい者調査

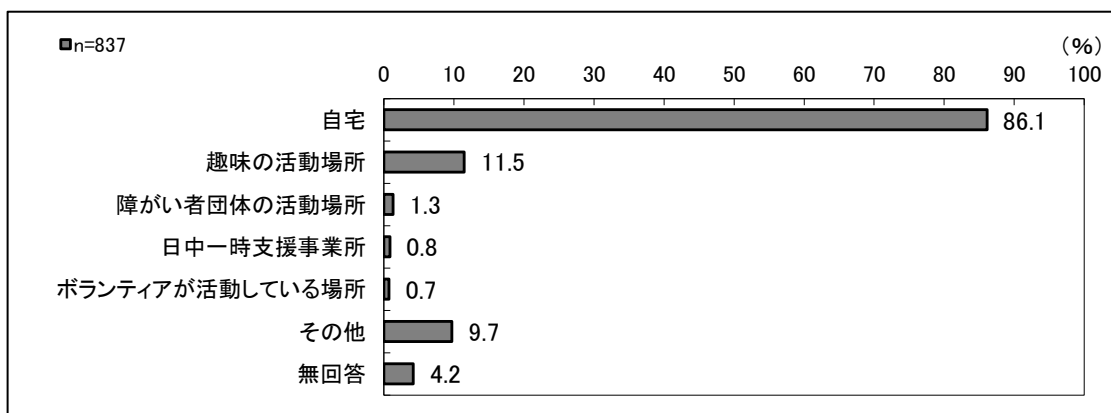
(2) 平日（日中）以外で過ごす場所

問 18 平日の日中以外はどこで過ごしていますか。【複数回答】

- 平日（日中）以外で過ごす場所として「自宅」が 86.1%と最も回答が多く、「趣味の活動場所」が 11.5%と続く。

いずれの属性でも「自宅」が第1位となっている。

図表 A8-2-1 平日（日中）以外で過ごす場所（全体／複数回答）



図表 A8-2-2 平日（日中）以外で過ごす場所（全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答）
（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		自宅 86.1	趣味の活動場所 11.5	障がい者団体の活動場所 1.3
性別	男性	自宅 86.9	趣味の活動場所 10.7	障がい者団体の活動場所 2.1
	女性	自宅 85.9	趣味の活動場所 12.8	日中一時支援事業所／ボランティアが活動している場所 0.8
年齢	10・20代	自宅 88.5	趣味の活動場所 16.0	日中一時支援事業所／ボランティアが活動している場所／障がい者団体の活動場所 0.8
	30代	自宅 85.9	趣味の活動場所 18.0	障がい者団体の活動場所 3.1
	40代	自宅 86.1	趣味の活動場所 12.8	ボランティアが活動している場所 1.7
	50代	自宅 87.0	趣味の活動場所 7.3	障がい者団体の活動場所 1.5
	60代	自宅 85.2	趣味の活動場所 7.4	障がい者団体の活動場所 0.8
手帳の種類	身体障がい	自宅 86.0	趣味の活動場所 10.3	日中一時支援事業所 1.1
	知的障がい	自宅 81.6	趣味の活動場所 8.8	障がい者団体の活動場所 5.4
	精神障がい	自宅 86.3	趣味の活動場所 13.7	ボランティアが活動している場所 1.0
	難病	自宅 86.4	趣味の活動場所 10.6	日中一時支援事業所／障がい者団体の活動場所 3.0
	持っていない	自宅 92.0	趣味の活動場所 16.0	

A 障がい者調査

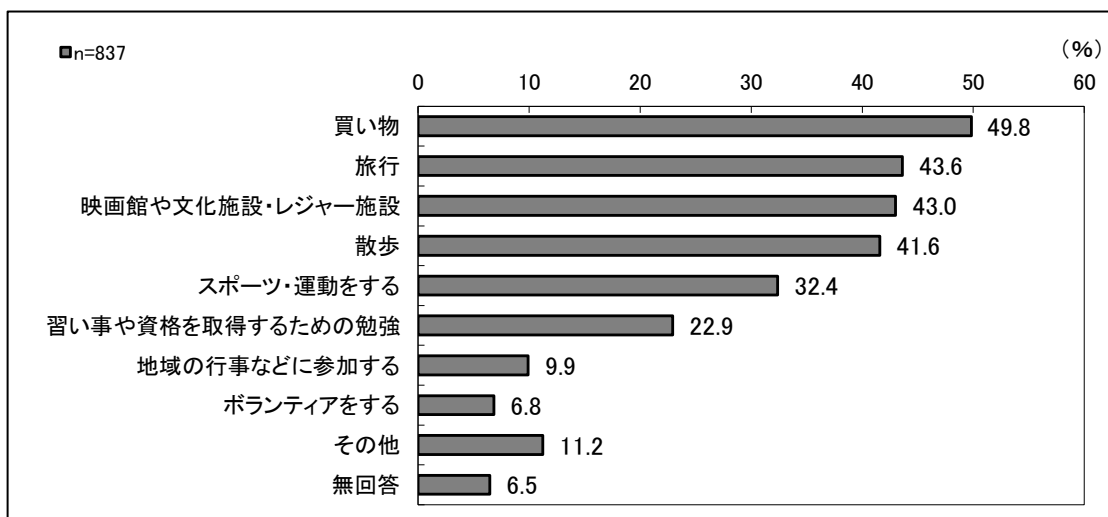
(3) 余暇活動でしたいこと

問 19 余暇活動としてしたいことは何ですか。【複数回答】

- 余暇活動でしたいこととして「買い物」が49.8%と最も回答が多く、「旅行」が43.6%と続く。

年齢で見ると、10・20代では「映画館や文化施設・レジャー施設」、60代では「散歩」が第1位となっている。手帳の種類で見ると、身体障がいと難病では「旅行」が第1位となっている。

図表 A8-3-1 余暇活動でしたいこと（全体／複数回答）



図表 A8-3-2 余暇活動でしたいこと（全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		買い物 49.8	旅行 43.6	映画館や文化施設・レジャー施設 43.0
性別	男性	買い物 46.3	旅行 43.0	映画館や文化施設・レジャー施設／散歩 41.1
	女性	買い物 54.6	映画館や文化施設・レジャー施設 45.4	旅行 43.6
年齢	10・20代	映画館や文化施設・レジャー施設 51.9	買い物 51.1	旅行 48.9
	30代	買い物 55.5	映画館や文化施設・レジャー施設 53.9	旅行 48.4
	40代	買い物 56.1	映画館や文化施設・レジャー施設 42.8	散歩 42.2
	50代	買い物 47.7	旅行／散歩 42.7	
	60代	散歩 44.3	旅行 41.8	買い物 39.3
手帳の種類	身体障がい	旅行 52.8	買い物 48.3	映画館や文化施設・レジャー施設 41.3
	知的障がい	買い物 49.7	映画館や文化施設・レジャー施設 45.6	旅行 44.9
	精神障がい	買い物 50.4	散歩 46.1	映画館や文化施設・レジャー施設 42.7
	難病	旅行 69.7	買い物 57.6	映画館や文化施設・レジャー施設 47.0
	持っていない	買い物 56.0	散歩 44.0	映画館や文化施設・レジャー施設／旅行 32.0

A 障がい者調査

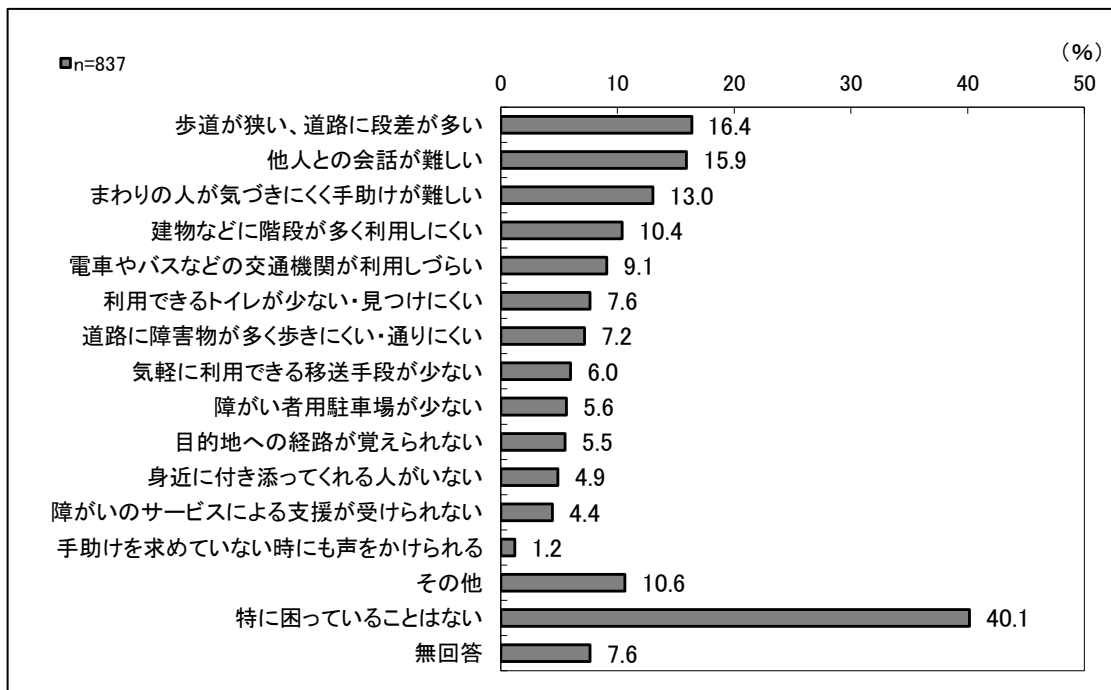
(4) 外出時に困ること

問 20 外出時などに困っていることは何ですか。【複数回答】

- 外出時に困ることとして「歩道が狭い、道路に段差が多い」が 16.4%と最も回答が多く、「他人との会話が難しい」が 15.9%と続く。また、「特に困っていることはない」が 40.1%を占める。

「特に困っていることはない」以外の回答について性別でみると、男性では「他人との会話が難しい」が第1位となっている。年齢でみると、40代以上では「他人との会話が難しい」が第1位となっている。手帳の種類でみると、知的障がい、精神障がいでは「他人との会話が難しい」が第1位となっている。

図表 A8-4-1 外出時に困ること（全体／複数回答）



図表 A8-4-2 外出時に困ること（全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		歩道が狭い、道路に段差が多い 16.4	他人との会話が難しい 15.9	まわりの人が気づきにくく手助けが難しい 13.0
性別	男性	他人との会話が難しい 19.4	歩道が狭い、道路に段差が多い 14.7	まわりの人が気づきにくく手助けが難しい 12.1
	女性	歩道が狭い、道路に段差が多い 18.5	まわりの人が気づきにくく手助けが難しい 13.6	建物などに階段が多く利用しにくい 12.5
年齢	10・20代	他人との会話が難しい 25.2	まわりの人が気づきにくく手助けが難しい 15.3	電車やバスなどの交通機関が利用しづらい 10.7
	30代	他人との会話が難しい 18.8	歩道が狭い、道路に段差が多い 11.7	まわりの人が気づきにくく手助けが難しい 10.9
	40代	他人との会話が難しい 18.3	歩道が狭い、道路に段差が多い 16.1	まわりの人が気づきにくく手助けが難しい 13.3
	50代	歩道が狭い、道路に段差が多い 19.1	まわりの人が気づきにくく手助けが難しい 13.7	建物などに階段が多く利用しにくい／その他 13.4
	60代	歩道が狭い、道路に段差が多い 24.6	建物などに階段が多く利用しにくい 15.6	利用できるトイレが少ない・見つけにくい 10.7
手帳の種類	身体障がい	歩道が狭い、道路に段差が多い 28.4	建物などに階段が多く利用しにくい 22.1	利用できるトイレが少ない・見つけにくい 16.2
	知的障がい	他人との会話が難しい 36.1	まわりの人が気づきにくく手助けが難しい 15.0	目的地への経路が覚えられない／電車やバスなどの交通機関が利用しづらい 12.9
	精神障がい	他人との会話が難しい 15.5	まわりの人が気づきにくく手助けが難しい 14.0	その他 13.2
	難病	歩道が狭い、道路に段差が多い 13.6	まわりの人が気づきにくく手助けが難しい／建物などに階段が多く利用しにくい 12.1	
	持っていない	他人との会話が難しい／歩道が狭い、道路に段差が多い／電車やバスなどの交通機関が利用しづらい		

A 障がい者調査

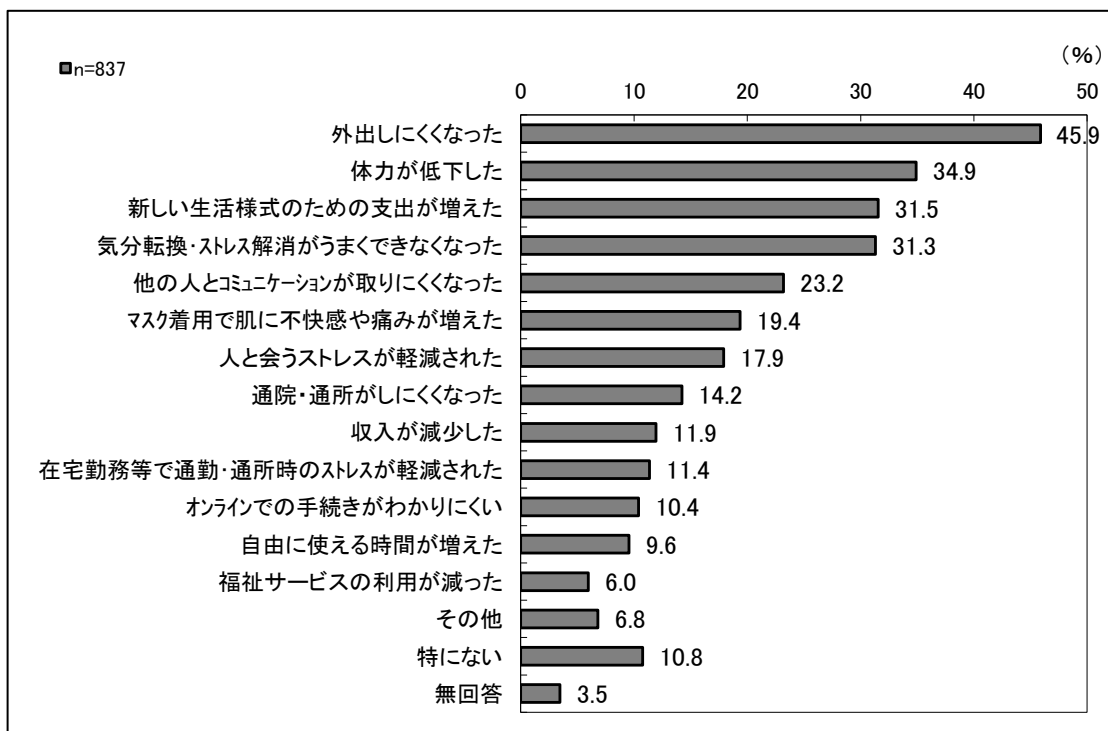
(5) 新型コロナウイルスで生じた生活の変化

問21 新型コロナウイルス感染症 (Covid-19) の拡大に伴い、どのような生活の変化がありましたか。【複数回答】

- 新型コロナウイルスで生じた生活の変化として「外出しにくくなった」が45.9%と最も回答が多く、「体力が低下した」が34.9%と続く。

「特にない」以外の回答についてほとんどの属性で「外出しにくくなった」が第1位となっている。

図表 A8-5-1 新型コロナウイルスで生じた生活の変化（全体／複数回答）



図表 A8-5-2 新型コロナウイルスで生じた生活の変化
 (全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		外出しにくくなった 45.9	体力が低下した 34.9	新しい生活様式のための 支出が増えた 31.5
性別	男性	外出しにくくなった 46.5	体力が低下した 34.3	気分転換・ストレス解消 がうまくできなくなった 27.3
	女性	外出しにくくなった 46.0	新しい生活様式のための 支出が増えた 37.1	気分転換・ストレス解消 がうまくできなくなった 35.8
年齢	10・20代	外出しにくくなった 48.9	体力が低下した 33.6	気分転換・ストレス解消 がうまくできなくなった ／新しい生活様式のため の支出が増えた 30.5
	30代	外出しにくくなった 54.7	気分転換・ストレス解消 がうまくできなくなった 35.9	体力が低下した 34.4
	40代	外出しにくくなった 42.2	体力が低下した 40.6	気分転換・ストレス解消 がうまくできなくなった 38.9
	50代	外出しにくくなった 42.0	体力が低下した 31.7	新しい生活様式のため の支出が増えた 28.6
	60代	外出しにくくなった 48.4	体力が低下した 36.1	新しい生活様式のため の支出が増えた 35.2
手帳の種類	身体障がい	外出しにくくなった 47.2	体力が低下した 32.8	気分転換・ストレス解消 がうまくできなくなった 29.2
	知的障がい	外出しにくくなった 63.3	気分転換・ストレス解消 がうまくできなくなった 41.5	体力が低下した 36.1
	精神障がい	外出しにくくなった 42.0	体力が低下した 39.7	新しい生活様式のため の支出が増えた 36.1
	難病	外出しにくくなった 54.5	体力が低下した 36.4	新しい生活様式のため の支出が増えた 34.8
	持っていない	他の人とコミュニケーション が取りにくくなった 32.0	外出しにくくなった／気分転換・ストレス解消が うまくできなくなった	28.0

9 相談について

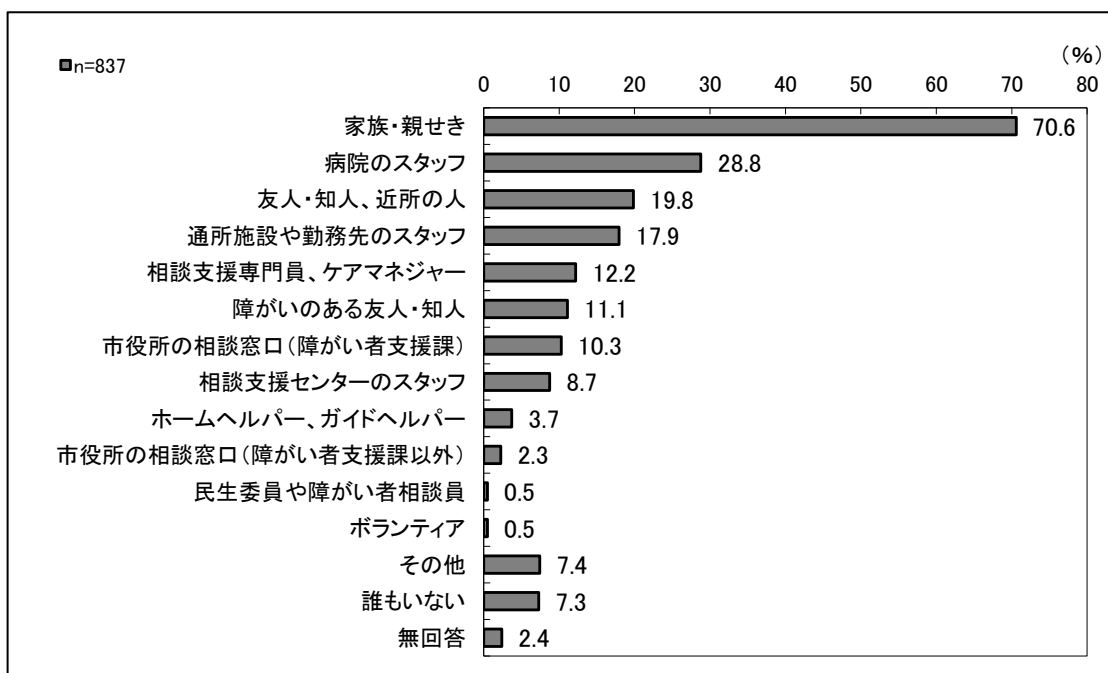
(1) 相談できる人

問 22 日常生活や障がいのことなどで困った時に、相談できる人は誰ですか。【複数回答】

- 相談できる人として「家族・親せき」が70.6%で最も回答が多く、「病院のスタッフ」が28.8%と続く。

「誰もいない」以外の回答についていずれの属性でも「家族・親せき」が第1位となっている。

図表 A9-1-1 相談できる人（全体／複数回答）



図表 A9-1-2 相談できる人（全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		家族・親せき 70.6	病院のスタッフ 28.8	友人・知人、近所の人 19.8
性別	男性	家族・親せき 68.7	病院のスタッフ 28.7	通所施設や勤務先のスタッフ 22.2
	女性	家族・親せき 73.9	病院のスタッフ 29.0	友人・知人、近所の人 21.7
年齢	10・20代	家族・親せき 77.9	通所施設や勤務先のスタッフ 30.5	病院のスタッフ 24.4
	30代	家族・親せき 84.4	通所施設や勤務先のスタッフ 30.5	病院のスタッフ 28.1
	40代	家族・親せき 70.6	病院のスタッフ 35.6	友人・知人、近所の人 19.4
	50代	家族・親せき 62.2	病院のスタッフ 27.1	友人・知人、近所の人 22.1
	60代	家族・親せき 67.2	病院のスタッフ 27.9	友人・知人、近所の人 17.2
手帳の種類	身体障がい	家族・親せき 73.1	病院のスタッフ 24.0	友人・知人、近所の人 20.7
	知的障がい	家族・親せき 79.6	通所施設や勤務先のスタッフ 51.7	相談支援センターのスタッフ 23.1
	精神障がい	家族・親せき 64.4	病院のスタッフ 39.2	友人・知人、近所の人 22.9
	難病	家族・親せき 83.3	病院のスタッフ 42.4	友人・知人、近所の人 22.7
	持っていない	家族・親せき 72.0	友人・知人、近所の人／病院のスタッフ 24.0	

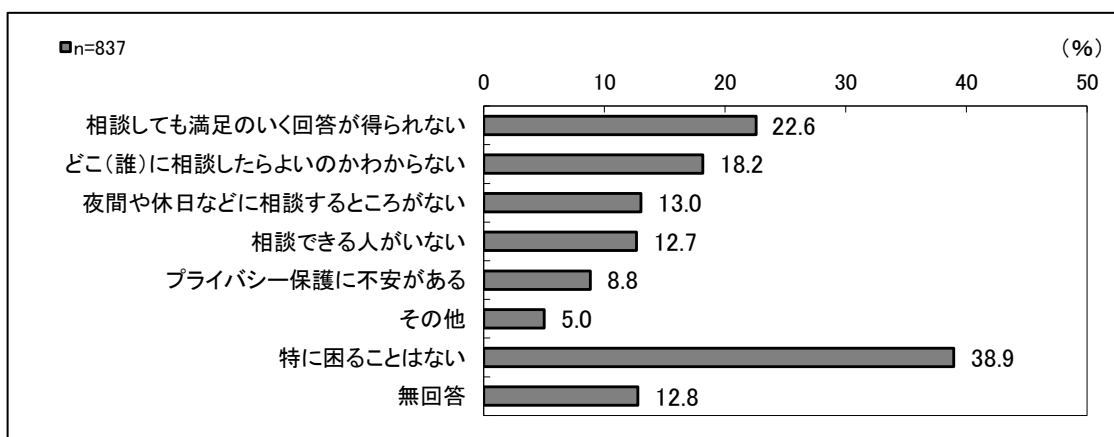
A 障がい者調査

(2) 相談で困ること

問 23 相談について困ることは何ですか。【複数回答】

- 相談で困ることとして「相談しても満足いく回答が得られない」が 22.6% で最も回答が多く、「どこ（誰）に相談したらよいかわからない」が 18.2% と続く。また、「特に困ることはない」は 38.9% を占める。

図表 A9-2-1 相談で困ること（全体／複数回答）



図表 A9-2-2 相談で困ること（全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		相談しても満足のいく回答が得られない 22.6	どこ（誰）に相談したらよいかわからない 18.2	夜間や休日などに相談するところがない 13.0
性別	男性	相談しても満足のいく回答が得られない 19.2	どこ（誰）に相談したらよいかわからない 15.4	夜間や休日などに相談するところがない 11.9
	女性	相談しても満足のいく回答が得られない 26.6	どこ（誰）に相談したらよいかわからない 21.7	相談できる人がいない 14.6
年齢	10・20代	相談しても満足のいく回答が得られない 19.8	夜間や休日などに相談するところがない 12.2	どこ（誰）に相談したらよいかわからない 11.5
	30代	相談しても満足のいく回答が得られない 29.7	どこ（誰）に相談したらよいかわからない 18.8	夜間や休日などに相談するところがない 14.1
	40代	相談しても満足のいく回答が得られない 25.6	どこ（誰）に相談したらよいかわからない 23.3	相談できる人がいない 15.0
	50代	どこ（誰）に相談したらよいかわからない／相談しても満足のいく回答が得られない 20.2		夜間や休日などに相談するところがない 14.9
	60代	相談しても満足のいく回答が得られない 18.9	相談できる人がいない 13.9	どこ（誰）に相談したらよいかわからない 13.1
手帳の種類	身体障がい	相談しても満足のいく回答が得られない 19.6	どこ（誰）に相談したらよいかわからない 16.2	相談できる人がいない 11.1
	知的障がい	相談しても満足のいく回答が得られない 20.4	夜間や休日などに相談するところがない 15.0	どこ（誰）に相談したらよいかわからない 14.3
	精神障がい	相談しても満足のいく回答が得られない 28.5	どこ（誰）に相談したらよいかわからない 22.9	夜間や休日などに相談するところがない 17.0
	難病	相談しても満足のいく回答が得られない 21.2	どこ（誰）に相談したらよいかわからない 19.7	夜間や休日などに相談するところがない 13.6
	持っていない	相談しても満足のいく回答が得られない 16.0	相談できる人がいない 12.0	プライバシー保護に不安がある 8.0

10 情報入手などについて

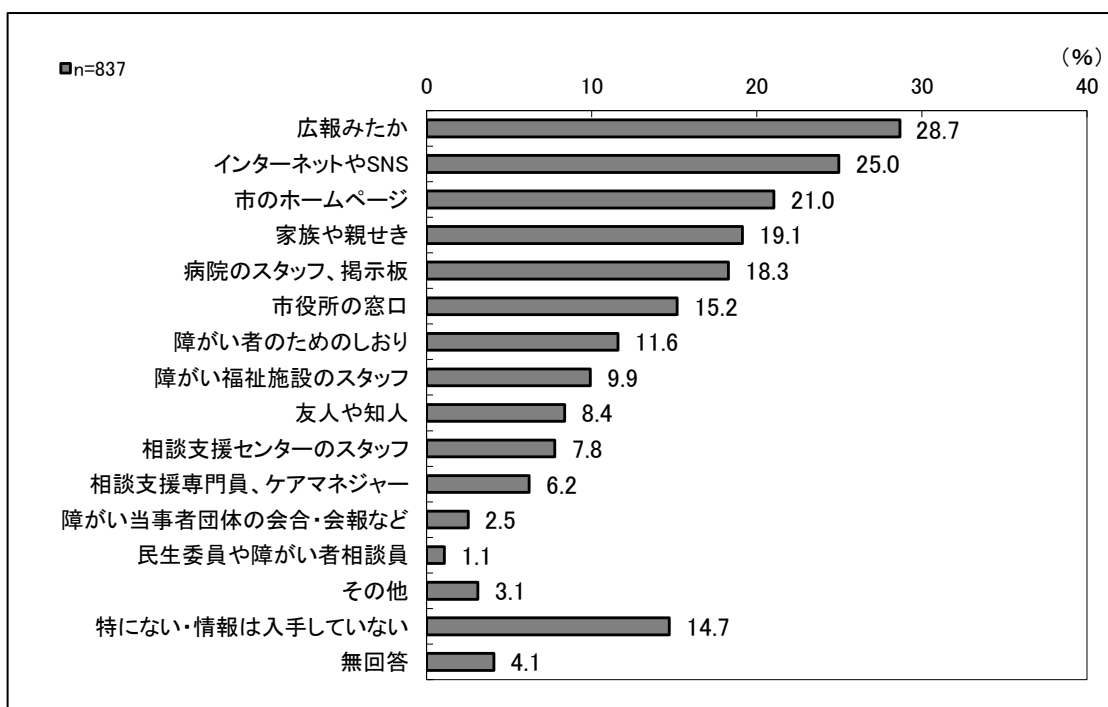
(1) 情報の入手方法

問 24 福祉制度やサービスなどの情報をどこから入手していますか。【複数回答】

- 情報の入手方法として「広報みたか」が28.7%と最も回答が多く、「インターネットやSNS」が25.0%と続く。

「特にない・情報は入手していない」以外の回答について年齢で見ると、10・20代では「家族や親せき」、30代、40代では「インターネットやSNS」が第1位となっている。手帳の種類で見ると、知的障がいでは「障がい福祉施設のスタッフ」が第1位となっている。

図表 A10-1-1 情報の入手方法（全体／複数回答）



図表 A10-1-2 情報の入手方法（全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		広報みたか 28.7	インターネットやSNS 25.0	市のホームページ 21.0
性別	男性	広報みたか 27.3	インターネットやSNS 25.7	市のホームページ 22.2
	女性	広報みたか 31.1	インターネットやSNS 23.2	市のホームページ 20.1
年齢	10・20代	家族や親せき 32.1	インターネットやSNS 26.0	市のホームページ 19.8
	30代	インターネットやSNS 28.1	広報みたか 25.0	家族や親せき 20.3
	40代	インターネットやSNS 27.8	広報みたか 27.2	市のホームページ 24.4
	50代	広報みたか 32.8	市のホームページ 22.9	インターネットやSNS 21.4
	60代	広報みたか 39.3	インターネットやSNS 22.1	家族や親せき 18.0
手帳の種類	身体障がい	広報みたか 33.9	インターネットやSNS 25.8	市のホームページ 24.4
	知的障がい	障がい福祉施設のスタッフ 32.7	家族や親せき 30.6	広報みたか 27.9
	精神障がい	インターネットやSNS 28.2	病院のスタッフ、掲示板 27.5	広報みたか 26.7
	難病	広報みたか 33.3	市のホームページ 30.3	病院のスタッフ、掲示板 28.8
	持っていない	広報みたか 20.0	市役所の窓口／市のホームページ／インターネットやSNS 16.0	

A 障がい者調査

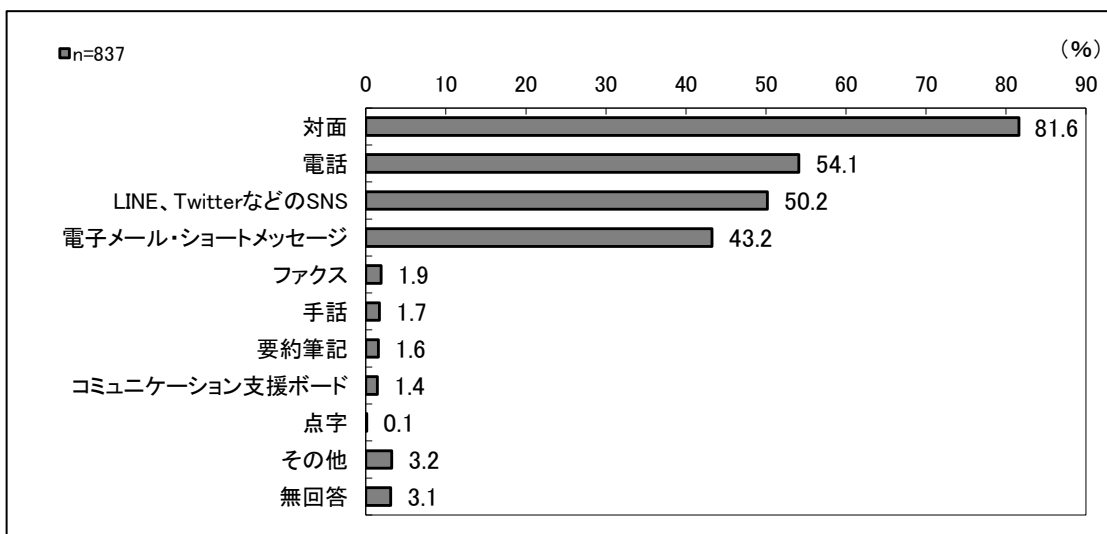
(2) コミュニケーションを取る時に使用しているメディア

問 25 普段の生活でコミュニケーションを取る時に使用している手段は何ですか。
【複数回答】

- コミュニケーションを取る時に使用しているメディアとして「対面」が 81.6%と最も回答が多く、「電話」が 54.1%と続く。

いずれの属性でも「対面」が第1位となっている。

図表 A10-2-1 コミュニケーションを取る時に使用しているメディア（全体／複数回答）



図表 A10-2-2 コミュニケーションを取る時に使用しているメディア
 (全体・年齢・性別・手帳の種類/複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		対面 81.6	電話 54.1	LINE、Twitter などの SNS 50.2
性別	男性	対面 81.8	電話 50.7	LINE、Twitter などの SNS 44.4
	女性	対面 82.8	電話 58.5	LINE、Twitter などの SNS 56.4
年齢	10・20代	対面 91.6	LINE、Twitter などの SNS 57.3	電話 43.5
	30代	対面 84.4	LINE、Twitter などの SNS 58.6	電話 52.3
	40代	対面 80.6	電話 64.4	電子メール・ショートメッ セージ 53.9
	50代	対面 80.9	電話 60.3	電子メール・ショートメッ セージ 46.9
	60代	対面 73.0	電話 41.0	LINE、Twitter などの SNS 39.3
手帳の種類	身体障がい	対面 81.2	LINE、Twitter などの SNS 50.9	電話 49.1
	知的障がい	対面 87.8	電話 35.4	LINE、Twitter などの SNS 21.1
	精神障がい	対面 81.4	電話 61.6	LINE、Twitter などの SNS 57.5
	難病	対面 83.3	LINE、Twitter などの SNS 62.1	電話 60.6
	持っていない	対面 84.0	電話 72.0	LINE、Twitter などの SNS 64.0

A 障がい者調査

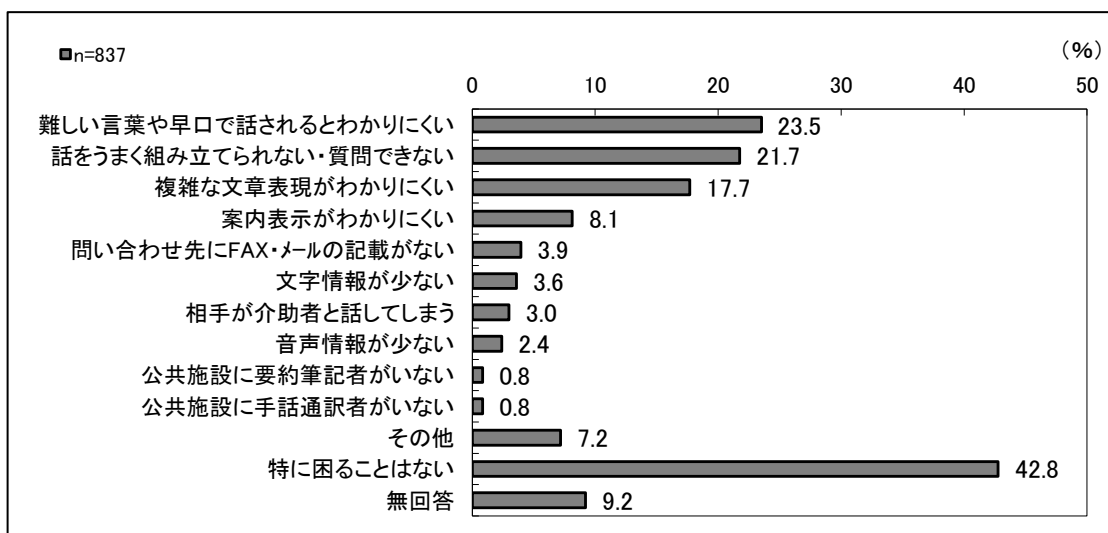
(3) 情報入手・コミュニケーションで困ること

問 26 情報入手やコミュニケーションで困ることは何ですか。【複数回答】

- 情報入手・コミュニケーションで困ることとして、「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」が 23.5%と最も回答が多く、「話をうまく組み立てられない」が 21.7%と続く。また、「特に困ることはない」が 42.8%を占める。

「特に困ることはない」以外の回答について手帳の種類でみると、精神障がい、持っていないでは、「話をうまく組み立てられない・質問できない」が第1位となっている。

図表 A10-3-1 情報入手・コミュニケーションで困ること（全体／複数回答）



図表 A10-3-2 情報入手・コミュニケーションで困ること
 (全体・性別・年齢・手帳の種類/複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい 23.5	話をうまく組み立てられない・質問できない 21.7	複雑な文章表現がわかりにくい 17.7
性別	男性	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい 22.0	話をうまく組み立てられない・質問できない 20.1	複雑な文章表現がわかりにくい 17.1
	女性	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい 25.1	話をうまく組み立てられない・質問できない 22.7	複雑な文章表現がわかりにくい 18.0
年齢	10・20代	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい 35.9	話をうまく組み立てられない・質問できない 33.6	複雑な文章表現がわかりにくい 29.0
	30代	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい 27.3	話をうまく組み立てられない・質問できない 24.2	複雑な文章表現がわかりにくい 20.3
	40代	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい 23.3	話をうまく組み立てられない・質問できない 18.9	複雑な文章表現がわかりにくい 15.6
	50代	話をうまく組み立てられない・質問できない 21.0	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい 18.7	複雑な文章表現がわかりにくい 16.0
	60代	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい 15.6	案内表示がわかりにくい 13.1	話をうまく組み立てられない・質問できない 11.5
手帳の種類	身体障がい	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい 16.2	案内表示がわかりにくい 10.7	話をうまく組み立てられない・質問できない 10.0
	知的障がい	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい 45.6	話をうまく組み立てられない・質問できない 44.2	複雑な文章表現がわかりにくい 31.3
	精神障がい	話をうまく組み立てられない・質問できない 25.4	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい 25.4	複雑な文章表現がわかりにくい 21.1
	難病	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい 13.6	話をうまく組み立てられない・質問できない 10.6	複雑な文章表現がわかりにくい 10.6
	持っていない	話をうまく組み立てられない・質問できない 16.0	案内表示がわかりにくい 8.0	公共施設に要約筆記者がいない/相手が介助者と話してしまう/複雑な文章表現がわかりにくい/難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい 4.0

11 災害時対策、緊急時の対応などについて

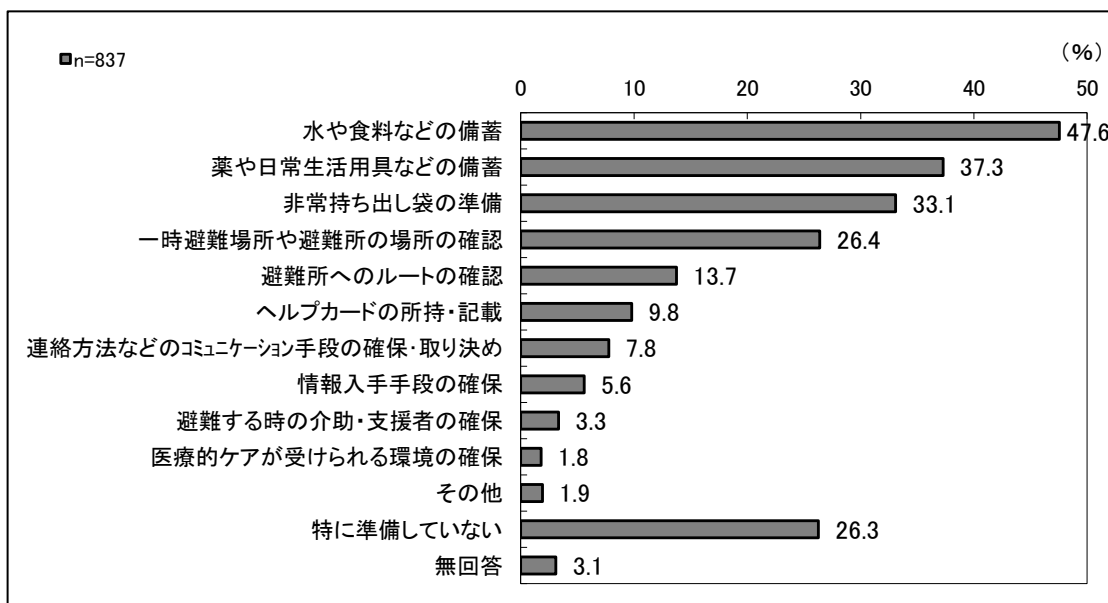
(1) 災害時の備え

問 27 災害に備えて、準備をしていることは何ですか。【複数回答】

- 災害時の備えとして「水や食料などの備蓄」が 47.6%と最も回答が多く、「薬や日常生活用具などの備蓄」が 37.3%と続く。

「特に準備していない」以外の回答についていずれの属性でも「水や食料などの備蓄」が第1位となっている。

図表 A11-1-1 災害時の備え（全体／複数回答）



I 調査結果 11 災害時対策、緊急時の対応などについて

図表 A11-1-2 災害時の備え（全体・年齢・性別・手帳の種類／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		水や食料などの備蓄 47.6	薬や日常生活用具などの備蓄 37.3	非常持ち出し袋の準備 33.1
性別	男性	水や食料などの備蓄 43.2	薬や日常生活用具などの備蓄 33.4	非常持ち出し袋の準備 30.6
	女性	水や食料などの備蓄 53.5	薬や日常生活用具などの備蓄 42.0	非常持ち出し袋の準備 36.3
年齢	10・20代	水や食料などの備蓄 42.0	薬や日常生活用具などの備蓄 34.4	非常持ち出し袋の準備 30.5
	30代	水や食料などの備蓄 50.0	薬や日常生活用具などの備蓄 37.5	非常持ち出し袋の準備 36.7
	40代	水や食料などの備蓄 50.6	薬や日常生活用具などの備蓄 41.1	非常持ち出し袋の準備 34.4
	50代	水や食料などの備蓄 46.6	薬や日常生活用具などの備蓄 36.6	非常持ち出し袋の準備 31.3
	60代	水や食料などの備蓄 50.0	薬や日常生活用具などの備蓄 36.9	非常持ち出し袋の準備 35.2
手帳の種類	身体障がい	水や食料などの備蓄 51.7	薬や日常生活用具などの備蓄 41.3	非常持ち出し袋の準備 33.9
	知的障がい	水や食料などの備蓄 42.9	薬や日常生活用具などの備蓄 37.4	ヘルプカードの所持・記載 29.9
	精神障がい	水や食料などの備蓄 43.0	薬や日常生活用具などの備蓄 33.6	非常持ち出し袋の準備 32.6
	難病	水や食料などの備蓄 65.2	薬や日常生活用具などの備蓄 51.5	非常持ち出し袋の準備 48.5
	持っていない	水や食料などの備蓄 48.0	薬や日常生活用具などの備蓄 40.0	非常持ち出し袋の準備 32.0

A 障がい者調査

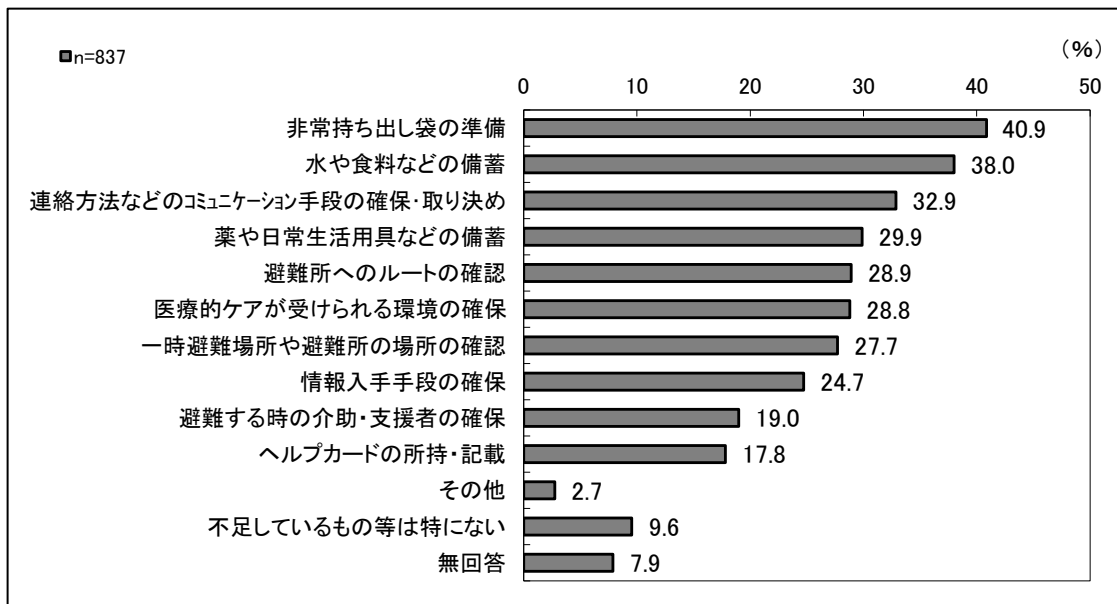
(2) 災害時の備えで不足していること

問 28 災害時の備えとして足りていないこと、できていないことは何ですか。【複数回答】

- 災害時の備えで不足していることとして「非常持ち出し袋の準備」が 40.9%と最も回答が多く、「水や食料などの備蓄」が 38.0%と続く。

「不足しているもの等はない」以外の回答について性別でみると、男性では「水や食料などの備蓄」が第1位となっている。また、年齢でみると、30代では「連絡方法などのコミュニケーション手段の確保・取り決め」、60代では「水や食料などの備蓄」が第1位となっている。

図表 A11-2-1 災害時の備えで不足していること（全体／複数回答）



I 調査結果 11 災害時対策、緊急時の対応などについて

図表 A11-2-2 災害時の備えで不足していること

(全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		非常持ち出し袋の準備 40.9	水や食料などの備蓄 38.0	連絡方法などのコミュニケーション手段の確保・取り決め 32.9
性別	男性	水や食料などの備蓄 39.5	非常持ち出し袋の準備 38.1	連絡方法などのコミュニケーション手段の確保・取り決め 27.3
	女性	非常持ち出し袋の準備 43.9	連絡方法などのコミュニケーション手段の確保・取り決め 39.2	水や食料などの備蓄 35.8
年齢	10・20代	非常持ち出し袋の準備 42.7	水や食料などの備蓄 37.4	避難所へのルートの確認 35.9
	30代	連絡方法などのコミュニケーション手段の確保・取り決め 42.2	非常持ち出し袋の準備 38.3	水や食料などの備蓄 32.8
	40代	非常持ち出し袋の準備 44.4	水や食料などの備蓄 39.4	連絡方法などのコミュニケーション手段の確保・取り決め 37.8
	50代	非常持ち出し袋の準備 41.2	水や食料などの備蓄 40.5	連絡方法などのコミュニケーション手段の確保・取り決め／医療的ケアが受けられる環境の確保 29.0
	60代	水や食料などの備蓄 37.7	非常持ち出し袋の準備 36.9	薬や日常生活用具などの備蓄 35.2
手帳の種類	身体障がい	非常持ち出し袋の準備 38.0	水や食料などの備蓄 34.3	医療的ケアが受けられる環境の確保 30.6
	知的障がい	非常持ち出し袋の準備 38.1	連絡方法などのコミュニケーション手段の確保・取り決め 36.1	一時避難場所や避難所の場所の確認／避難する時の介助・支援者の確保 33.3
	精神障がい	非常持ち出し袋の準備 46.3	水や食料などの備蓄 45.0	連絡方法などのコミュニケーション手段の確保・取り決め 40.2
	難病	医療的ケアが受けられる環境の確保 40.9	水や食料などの備蓄 37.9	非常持ち出し袋の準備 33.3
	持っていない	非常持ち出し袋の準備 40.0	水や食料などの備蓄 36.0	一時避難場所や避難所の場所の確認 32.0

A 障がい者調査

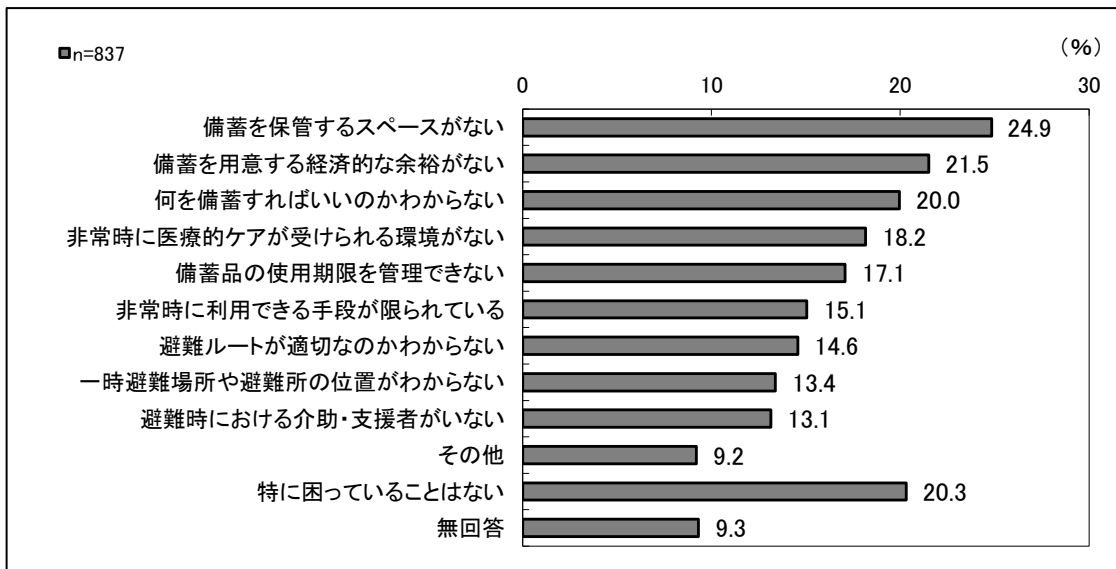
(3) 災害時の備えで困ること

問 29 災害時の準備をする上で、困っていることは何ですか。【複数回答】

- 災害時の備えで困ることとして、「備蓄を保管するスペースがない」が 24.9%と最も回答が多く、「備蓄を用意する経済的な余裕がない」が 21.5%と続く。また、「特に困っていることはない」が 20.3%を占める。

「特に困っていることはない」以外の回答について、年齢で見ると、60代では「非常時に医療的ケアを受けられるスペースがない」が第1位となっている。

図表 A11-3-1 災害時の備えで困ること（全体／複数回答）



I 調査結果 11 災害時対策、緊急時の対応などについて

図表 A11-3-2 災害時の備えで困ること（全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		備蓄を保管するスペースがない 24.9	備蓄を用意する経済的な余裕がない 21.5	何を備蓄すればいいのかわからない 20.0
性別	男性	備蓄を保管するスペースがない 22.9	備蓄を用意する経済的な余裕がない 20.1	何を備蓄すればいいのかわからない 18.2
	女性	備蓄を保管するスペースがない 26.6	非常時に医療的ケアが受けられる環境がない 21.9	備蓄を用意する経済的な余裕がない 21.4
年齢	10・20代	備蓄を保管するスペースがない 19.1	備蓄品の使用期限を管理できない 18.3	備蓄を用意する経済的な余裕がない／避難時における介助・支援者がいない 15.3
	30代	備蓄を保管するスペースがない 25.8	何を備蓄すればいいのかわからない 24.2	備蓄を用意する経済的な余裕がない 21.9
	40代	備蓄を保管するスペースがない 30.6	何を備蓄すればいいのかわからない 24.4	備蓄を用意する経済的な余裕がない 24.4
	50代	備蓄を保管するスペースがない 25.6	備蓄を用意する経済的な余裕がない 23.7	何を備蓄すればいいのかわからない 20.6
	60代	非常時に医療的ケアが受けられる環境がない 23.0	備蓄を保管するスペースがない 20.5	避難ルートが適切なかわからない 19.7
手帳の種類	身体障がい	備蓄を保管するスペースがない 22.1	避難時における介助・支援者がいない 18.5	非常時に医療的ケアが受けられる環境がない 17.7
	知的障がい	避難時における介助・支援者がいない 26.5	何を備蓄すればいいのかわからない 21.8	避難ルートが適切なかわからない 21.1
	精神障がい	備蓄を保管するスペースがない 31.6	備蓄を用意する経済的な余裕がない 30.0	何を備蓄すればいいのかわからない 26.2
	難病	非常時に医療的ケアが受けられる環境がない 22.7	何を備蓄すればいいのかわからない／備蓄を保管するスペースがない／備蓄品の使用期限を管理できない 19.7	
	持っていない	備蓄を保管するスペースがない 16.0	何を備蓄すればいいのかわからない／備蓄を用意する経済的な余裕がない 12.0	

A 障がい者調査

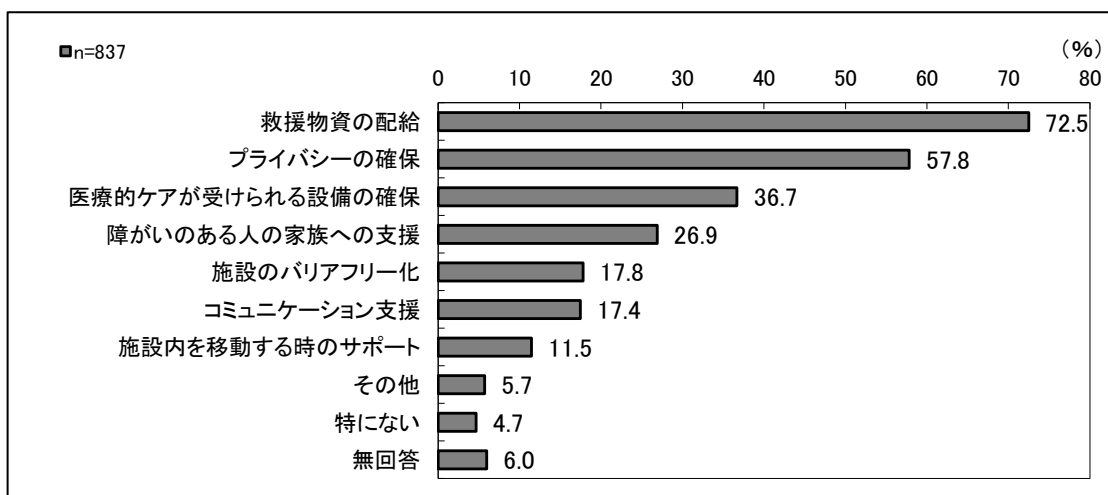
(4) 避難所生活に必要な支援

問 30 避難所での生活に必要な支援は何ですか。【複数回答】

- 避難所生活に必要な支援として、「救援物資の配給」が 72.5%と最も回答が多く、「プライバシーの確保」が 57.8%と続く。

「特にない」以外の回答についていずれの属性でも「救援物資の配給」が第1位となっている。

図表 A11-4-1 避難所生活に必要な支援（全体／複数回答）



I 調査結果 11 災害時対策、緊急時の対応などについて

図表 A11-4-2 避難所生活で必要な支援（全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		救援物資の配給 72.5	プライバシーの確保 57.8	医療的ケアが受けられる設備の確保 36.7
性別	男性	救援物資の配給 70.8	プライバシーの確保 50.2	医療的ケアが受けられる設備の確保 33.2
	女性	救援物資の配給 74.4	プライバシーの確保 66.1	医療的ケアが受けられる設備の確保 40.7
年齢	10・20代	救援物資の配給 75.6	プライバシーの確保 61.1	障がいのある人の家族への支援 39.7
	30代	救援物資の配給 68.8	プライバシーの確保 62.5	障がいのある人の家族への支援 36.7
	40代	救援物資の配給 75.6	プライバシーの確保 59.4	医療的ケアが受けられる設備の確保 38.3
	50代	救援物資の配給 72.1	プライバシーの確保 54.6	医療的ケアが受けられる設備の確保 41.2
	60代	救援物資の配給 71.3	プライバシーの確保 55.7	医療的ケアが受けられる設備の確保 40.2
手帳の種類	身体障がい	救援物資の配給 64.2	プライバシーの確保 52.4	医療的ケアが受けられる設備の確保 39.9
	知的障がい	救援物資の配給 73.5	障がいのある人の家族への支援 56.5	プライバシーの確保 51.0
	精神障がい	救援物資の配給 79.1	プライバシーの確保 63.6	医療的ケアが受けられる設備の確保 37.2
	難病	救援物資の配給 71.2	プライバシーの確保 57.6	医療的ケアが受けられる設備の確保 48.5
	持っていない	救援物資の配給 72.0	プライバシーの確保 48.0	医療的ケアが受けられる設備の確保 20.0

12 差別や権利擁護のことについて

(1) 過去1年間に差別や嫌な思いをしたこと

問 31 障がいがあることで、この1年（令和3年10月～令和4年9月）の間に、差別を感じたり、嫌な思いをしたことがありましたか。

- 過去1年間に差別や嫌な思いをしたことは、「少しあった」（21.5%）と「よくあった」（10.8%）を合わせた“あった”は32.3%となっている。「特になかった」が59.4%となっている。

年齢で見ると、40代以下では50代以上と比べて“あった”が高く、3割以上を占めている。手帳の種類で見ると、知的障がい、精神障がいでは“あった”の割合がやや高くなっている。

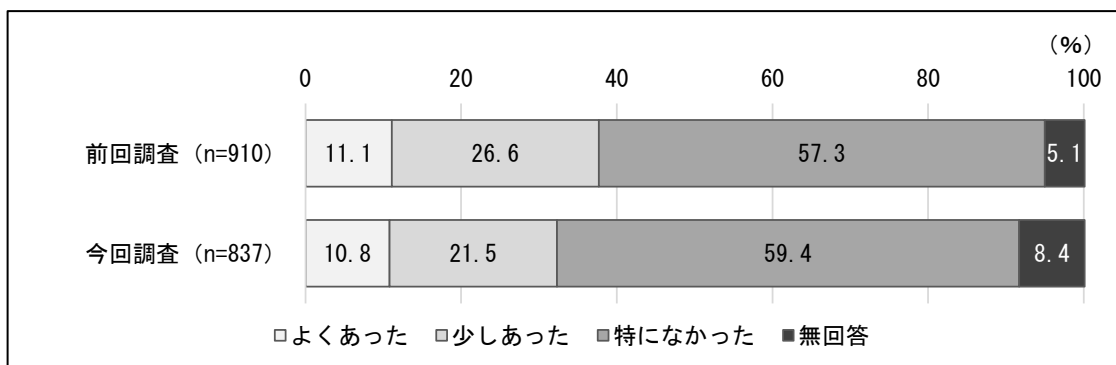
図表 A12-1-1 過去1年間に差別や嫌な思いをしたこと
(全体・性別・年齢・手帳の種類)

		(%)				n
		よくあった	少しあった	特になかった	無回答	
	全体	10.8	21.5	59.4	8.4	837
性別	男性	10.5	18.2	63.3	7.9	428
	女性	10.2	25.8	55.6	8.4	383
年齢	10・20代	12.2	22.9	58.8	6.1	131
	30代	9.4	22.7	60.9	7.0	128
	40代	13.3	26.7	52.8	7.2	180
	50代	11.5	16.8	62.6	9.2	262
	60代	4.9	23.0	62.3	9.8	122
手帳の種類	身体障がい	7.7	21.4	63.1	7.7	271
	知的障がい	10.9	25.2	54.4	9.5	147
	精神障がい	14.0	24.2	55.2	6.6	393
	難病	6.1	10.6	78.8	4.5	66
	持っていない	4.0	8.0	72.0	16.0	25

◆前回調査（令和元年度実施）との比較

前回調査（令和元年度実施）では、「よくあった」が11.1%、「少しはあった」が26.6%となっており、これらを合わせた“あった”が37.7%となっている。本調査での“あった”は32.3%であり、前回よりも低下している。

図表 A12-1-2 前回調査との比較



(2) 差別を感じた場面・気遣いや思いやりを感じた場面

問32 この1年(令和3年10月～令和4年9月)の間に体験した「差別を感じる対応」と、「気遣いや思いやりを感じる対応」についてお聞かせください。(自由記入)

① 差別を感じた対応

1 言葉、態度

- 言葉から、障がいや格差を感じる。(40代・精神)
- きんじょのわるくち、そうおん。(40代・無回答)
- 福祉サービスを利用する事に対し、地元(地方)にいる親族に相談した所、「恥さらし」と言われた。(30代・精神)
- 家で休んでいると、友人に、何そっぽを向いているんだ。(50代・精神)
- そもそも、周りに打ちあけられない。(20代・精神)
- 聴覚障害のために聞こえないと思われるので、中途障害者への差別と感じる。(50代・身体,精神)
- 近所の人たちからの嫌がらせ(出くわすとドアを音を立てて閉められる、等)。(60代・精神)
- 周りからの視線。(50代・身体)
- 日常生活において家族から精神障害を理解してもらうことが難しい。日常生活において人から裏切られるとかだまされたりすることが多い。(50代・精神)
- うるさがられる(周囲の人から)。(20代・知的,精神)
- しょうたいめんのひとから、キショイ、ウザイ、死ぬも小音でいわれた。となりのじゅうにんに、ストーカー、スマホののっとりなどされてる。8～9年前から。(50代・精神)
- ジロジロ見られる(外出時)。(40代・身体,知的)
- 買った商品を首からさげたバックに入れてもらう時、バックの中になげられた。3回とも女性だった。(60代・身体)
- 私はオストメイトなので、外見は元気にみえるので、障害者用のトイレを使って出る時、ベビーカーの若いお母さんにジロジロ見られた。(60代・身体)
- 引っ越しの時、初めて家に来た友人がその後音信不通となった。あまりに部屋が汚く物を捨てられないことに驚いたり、私がつ夜で疲れていて荷作りをほとんど友人がやったことをおこっている様子。(50代・精神)
- トイレを一般人の利用していた事です。(50代・身体)
- 他の人より白い目で見るとある。(60代・精神)
- ろう者から、「難聴者だから頭がかたい、がんこ。」と言われた。(30代・身体)
- SNSやインターネット上。(40代・精神)
- おとなしくバス待ちをしていたのに、ヘルプマークを執拗に見てくる人がいる。列やイスに座って待っている時、異常なまでに間隔を空け、露骨に避けてくる人がい

る。本人よりも一緒に居た姉がすごく傷つきました。高齢者、学生、その他多数。

(20代・知的, 精神)

- スーパーとかで車イスでいると、じろじろ見られていやな思いをした(しょっちゅう!!)。(50代・身体)
- 無知の偏見的発言。人前で大声で病気のことを話される。(40代・精神)
- スマホを買ったと自まんされた。(30代・知的)
- 吃音があるので、場面によっては相手をイライラさせてしまう。イヤな顔をされる。(40代・精神)
- ネットの書き込み、じゃま者という空気感。(30代・精神)
- あいさつを無視される。(無回答・精神)
- 話しをさいごまできいてくれない。(50代・身体)
- 話のペースが過剰に遅かったり、理解ができていない内容に対して丁寧な説明を受けると、相手の事を考えると気遣い頂いているように感じますが、逆に話の不要さを考えることが多々あります。(30代・精神)
- コロナ禍、大声を出し知らない人から怒られ、避けられた。(30代・知的)
- 障害者に対する差別的な発言は、自分に向けられたものでなくても傷ついてしまいます。日常的に色々な場所で言動が気になります。(30代・精神)
- 買い物に行った時、「じゃま」だと言われた。(40代・知的)
- コンビニやスーパーの中で声を出したりした時、病院の看護師に「お母さん、この子は何で声を出すの?」と障害を理解してもらえず辛かった。(30代・知的)
- 馬鹿にされたようなことば遣い、無視。(40代・知的)
- じろじろ見られた。(20歳未満・知的)
- 高次脳機能障害と心療内科に通ってる事により、「頭がおかしい」「異常者」「クルクルパーの精神病人」と言われた。(50代・精神)
- 店舗や通行人から差別的な対応を受ける。(40代・持っていない)
- 障害の事を話すと遠退かれる(50代・精神)
- SNSでの他者からの発言(20代・精神)
- 些細な日常的なものは慢性的にあるようにも思う(20代・精神)
- 義手により障害者と解り難い為、買い物などで相手が分かった時に腫れ物を触るような行動を受けることがある。(50代・身体)
- 福祉課に自立支援と手帳の申請をしに行ったら職員から冷たい対応で嫌な思いをした。(50代・精神)
- 引越時から近所の家から嫌がらせをされてます。(60代・身体)
- 近隣の商店で、声を発したことが怖かったと言われた事(20代・知的)
- コロナワクチンの事で障がい者支援課の人に聞いたら「そんなことも知らないのですか?」的な対応をされた(40代・身体)
- ふとした時にすれ違う赤の他人(40代・身体)
- 不特定多数(40代・精神)

A 障がい者調査

- 差別を感じる対応は、いかなる場面でも、誰からでもある。”この一年の間”に体験した「差別を感じる対応」。なぜ”この一年の間”に区切るのだろうか？1、生活保護といったらアパートを借りるのが非常に困難だ。2、精神的病状を明かせばアパートを借りるのが非常に困難だ。3、精神的病状の状況や現状や、私自身に会って面談して審査をして欲しいといっても取り合ってもらえない。4、もう一度記します。アパートを借りるのが非常に困難だ。なので、嘘は言っていないが、その状態を伏せて、うまく言い繕って、ようやくアパートの契約ができた。5、就労に関して、病状を伏せるか公開するかの、オープン or クローズの就労面接。まさにこの用語と一連のプロセスは差別がありますよ。差別されるので隠しますか？と差別肯定のシステムだ。6、生活保護と伝えたと、人の反応は冷やかだ。それは別に構わない。仕事や収入で人はその人のヒエラルキーを判断して対応を決めるからだ。無意識下で生活保護者は取るに足らない存在だ、と言う内容の多種、刷り込みの報道に差別を感じられる。(悪い行いの生活保護者を盛大に報道する)生活保護に対する理解や議論も行われて以前より当事者の情報量も増えた。差別を感じる対応は、いかなる場面でも、誰からでもある。なぜなら、会う人に仕事を尋ねられるのに抵抗がある。なので人付き合いに抵抗がある。生活保護と答えた時の反応が、どうなるのか？嘘ついてごまかす？正直に言う？すると、うつ症状があつて等々、、、？なんで私は、こんなにも生活保護に付随する様々な情報に振り回されて、一人思い込み、たった10人20人の反応で、一人勝手に妄想をしているのだろうか？(40代・精神)
- 自立支援制度活用により、ひどく重度の精神病(彼の言葉を借りればキ○ガイ。)と知人に誤解されることがあった。(40代・精神)
- 三鷹市役所の職員の方に精神障害の方ですか？と言われたこと(20代・身体)

2 交通機関

- バスに乗車した時、運転手さんが障がい者手帳を見せると、いやな顔をされたことがある。(60代・精神)
- 差別ではないと思いますが、電車で立っているのは片マヒがあるため辛いですが、見て見ぬふりをされ席をずっとゆずってもらえず、自分からも言いづらい。(60代・身体)
- バス利用で、障害者手帳を提示した時、運転手の割引のための対応が嫌そうになった。(50代・精神)
- バスに乗る際、手帳を見せると嫌な顔をされる運転手がいた。(50代・身体)
- 車内、近りん住民。(60代・知的)
- 道路を歩いていて「もたもたするな」「どけ」「バカ」など言われた。障害者に対して思いやりなどない。(20代・知的, 精神)
- バス乗車時運転手から手帳を開いてみせろと強くいわれる。手が不自由でなかなか開けず、大変なのと、時間がかかってしまい、他の人に迷惑になったり、不快が

られる。愛の手帳のサイズが大きすぎて持ち歩きが大変不便なのに、中を開けと言われ怒られる。大変な思いをしている。(30代・身体, 知的)

- バスの中。(無回答・知的)
- バスの降車時、いつも運転士の方が停留所近くの歩道近くに停めてくれない。(60代・身体)
- バスの運転手さんに「愛の手帳」を見せた時に嫌な顔をされた。(30代・知的)
- 病院への通院で電車・バスを利用時に乗客から混んでる時は乗って来るな…と言われた。バスの運転士さんにとってもイヤな顔をされ、運転も荒かった。(60代・身体)
- 電車の優先席に座って、感覚過敏があるのでイヤホンをつけて周囲の音を遮断していると、かなりの確率でイヤホンをひっぱられたり文句を言われたりする。「何の障害があるんだ!？」と聞かれたこともあるし、先日は肩をおもいきりたたかれた。目立つように肩にヘルプマークをつけているのに分かってもらえず、つらい思いをしています。(20代・精神)
- 羽田空港のキャビンアテンダントは自分の目を見て話すのに、熊本空港に降りたとたん、介助者に話し出すのが面白かった。自分に向かって話をして欲しい。(40代・身体)
- 精神障害の場合、JR や首都高での優先割引がないのは差別。私は外見からは、ハンディキャップがあるとは判りにくい。健常者の本音がきこえたり、又、障害者であることをアピールする(必要以上に) 障害者もいる。(50代・精神, 難病)
- 道路を歩いている時に、どけどどなられた。(30代・知的)
- 換気のために電車の窓をいつもがらがん開けていたが、視覚に問題のある方々にとっては、雑音がひどく、車内アナウンスが聞きとれないなど困っている事が多いと知って、申し訳ないと思った。(60代・持っていない)
- 年をとった男性から、見ため元気な人がヘルプマークなんかつけている。こんな病人見たことない。うそをつけてつけていると言われた。電車でヘルプマークに気づいた男性から、しらじらしいと言われた事がある。色々な場面でヘルプマークを付けていて、へんげんな目で見られる事が多いから、付けて歩くのやめようか悩んでいる。娘からは心配だからつける様にいわれている。(50代・精神)
- バス等優先席に座っていると、見た目は普通なので「どいて」と言われ、説明しても理解が得られない。(40代・精神)
- 駅、施設内表示が見えにくいからたずねているのに嫌な顔をされる。雑な道案内をされる。(40代・身体)
- 電車内など。対人関係の時。(40代・精神)
- バスで乗車する時、障害者手帳を出すと嫌な印象を運転手から感じる。ヘルプマークをつけている時も席を全くゆずってもらえない。(ヘルプマークはずしました。)生徒が、知的障害を見て「クルクルパー」とバスの中で指で表現したのを目撃したとき。(40代・精神)

A 障がい者調査

- 電車で出勤してる時に、優先席にすわってたら、高れい男性に「席をゆずれ」と言われ隣の車両に移動しました。自分は障害があるのに、気をつかわない。(30代・精神)
- 移動手段(バスや電車)で、一定の人からジロジロ見られる。(30代・身体,知的)
- バスで席をゆずられる事。(60代・精神)
- 電車等で咳をするとあからさまに避けられる。(50代・難病)
- 三鷹駅南口のバス乗り場へと降りるエスカレーターに歩かずに乗っていると、バスに乗るために急いでエスカレーターを降りようとする後ろから来る人に、追い立てられることがあるので非常に危険。(以前、「早く歩け。」と言われたこともあった。)後ろの人は当然、障害があることには気づいていない。(40代・身体)
- バスに乗せてくれない。(50代・身体)
- ヘルプカードをつけて電車やバスにのっても気づいてもらえない事。他人からの差別、会社の職人、利用者からの差別がすごい。(50代・身体,精神)
- バスで手帳を出すと、面どうそうな対応をされる。(40代・精神)
- 公共の乗り物を利用した時、ジロジロ見られた。(40代・知的,精神)
- バスで障害者手帳を毎回見てる際、うしろに長く列を作っている時にたまにみられてる。早く進んでほしいと圧がかかっているように感じる。(20歳未満・精神)
- 歩行中の周りの人に配慮がなく、危険な目にあっている(特に歩道を走る自動車。)(50代・身体)
- 手帳を見せた時のバスでの運転手さんの対応。習い事で障がい者であることを伝えるとやめさせられた事。(20代・知的,精神)
- バスに乗るときに、障害者手帳を提示しますが、バスの運転手に嫌な顔された(20代・知的)
- 交通時、障害者手帳を出すと対応者が嫌そうな顔をする事(40代・精神)
- バスで手帳を出した時に、付き添いがいないと冷たい。(40代・知的)
- 見た目ではわからないのでタクシー等嫌な顔をされる。(60代・身体)
- バスに乗った際、障害者手帳を見せても一度無視され、お願いしますと言うと、面倒臭そうに障害者割引を適応してくれました。(20代・精神)
- タクシーを障がい者手帳の割り引き額で使うともう迎車で頼んでも来てくれないように思えて通常料金で通院している。(40代・精神)
- バスで障害者手帳を見せたら面倒くさそうに運転手さんに操作された。(40代・精神)
- バスで手帳を使用する時、ほとんどの運転手が嫌な顔や面倒くさい等の対応をする(60代・精神)
- タクシーを夜12時頃利用した際に、障害者手帳を出したが、タクシーの運転手から「こんな夜遅くに何をやっているんだ、大人しくしてろ」と言われた。(20代・身体)

3 学校

- 学校（なぜ、突然笑うの。やばいよ）。学校（障がい者には、あまり役職をさせてくれない）。仕事（障がい者雇用は、給与上がりにくい）。(20歳未満・知的, 精神)
- 学校で障害や生活保護を受けていると仲間はずれ。(40代・精神)
- 通常級の教師。支援級の教師。トラブルが起きると必ず支援級のせいにする。障がい者として実習に行った先で何でこんなことも出来ないの？私がしたことに対していちいちイチャモンをつけてくる。(20代・知的)

4 就労・職場

- 仕事中にバカにされた様に笑われた。(50代・精神)
- 拒食症でやせてる為、仕事場で「使えない」と言われる。外食の際、食べられる物を決めるのに時間がかかる為、店員にせかさされ舌うちされた。内科に受診した際、看護師さんに「この子精神障がいだから話聞いてもムダ！」と言われた。(20代・精神)
- 職場内で通院への理解が得にくい。(60代・身体)
- 作業所で職員から、作業所に通っている利用者の立場であることを思い知らされた。(40代・精神)
- 就職面接などで病名や病状が出ると企業側はほぼ対応が悪化する。10や20ではすまない。区別的対応、役所福祉窓口にて障がい者就業で『手帳が対象からはずれたケース』を相談したが、前例がない（後日職安にて同様のケースを相談し、悪いケースを確認）など相談してもほぼ意味がなく『障がい者はもらう為に窓口に来ている』と見ているのが感じられる。回復、復帰を願っている身としてこの区別・差別は各制度が使えない根源といわざるをえない。(40代・精神)
- 就労移行支援事業所におけるプログラム中、また普通の職員の言動。(50代・精神)
- つめたい目で見られるときがある（仕事面で）。(60代・身体)
- 給与が健常者に比べて少ない（会社から）。(50代・身体)
- 病気の関係でトイレに行く回数が多いのを職場の同僚から仕事をサボっているとやゆされた。(50代・難病)
- フルタイムの勤務が難しいため、退職をせまられた。(40代・精神)
- 職場で女性同りょうから怒られた時があったり、さけられるような事があった。(50代・精神)
- 職場で仕事を教えてもらえなかった。(40代・精神)
- 仕事の場面。(30代・知的)
- 家業の客から急に、外で働いたこともないのにあやまれ。などの大声を出されたこと。(20代・精神)
- 工作中、社長から。(40代・精神)
- 仕事の面で考える仕事が多く、提案出しても受入れてもらえない（職場全員）。電話対応が多いが、情報伝わってこない。(50代・身体)

A 障がい者調査

- 会社で自分だけ情報を得られない。(50代・知的,精神)
- 障がいのある人が「そんなに忙しい訳ないよね。」みたいな発言や空気を感じた。
(50代・身体)
- 福祉作業所で他人の名前を出して悪口を言う利用者がいて、その利用者が私の名前も出してきたから、私はいやな思いをした。その同じ福祉作業所の利用者が、いきなり私の悪口を言ってきたから、私は頭にきて福祉の作業所の作業所の部屋の中で私はイライラしてて、気持ちが落ちつけなかったです。(30代・知的)
- 話しかけられない。仕事を任せてもらえない。(40代・精神)
- 職場でひそひそ言われている。(40代・身体)
- 障害を「悪ふざけ」と取られた。会社で。障害で上手く出来ないと、言ばのぼう力をうける。(30代・精神)
- 職場で上司から。(50代・難病)
- 気をつかって、おてつだいをしていたのに、あなたにたのんでいないといわれたことがある。(50代・知的)
- 自身ではないが、職場で仕事がうまくいっていない人に対して、発達障害だとまわりの人が言っていた。だから自身の事は、秘密にしています。(50代・精神)
- スーパーの工作中にお客様からわりこまれた。(30代・精神)
- 職場、たくさんインプット仕事やらされて、ずっとがんばっても評価上がらない。
(50代・身体)
- 職場で「障害があるから再就職は難しいでしょう。」とのことを言われた。(50代・身体)
- 足が痛いため医師の診断書を会社に提出したが対応してもらえない。(50代・身体)
- 本人しか感じる事の出来ない体調不良だからこそ職場の人の理解が得られませんでした。2つとも前の職場(市外の公共施設)の話です精神的な体調不良で当日に休みがちでした。病気のことは部長にしか言っていなかったもので、特に部下から責められることが多く精神的にも悪循環に陥りました。睡眠薬の副作用で午前中の勤務の記憶がほとんどない程度にひどい状態でした。自分がやったことが思い出せないことが多々ありました。その事を同僚に相談したら「そんなの言い訳だ」と言われ、もう相談できないなと感じました。(20代・精神)
- 一般企業にて長年、無期契約社員として障がい者雇用で働いているが、どんなに仕事で成果を出しても正当な評価を頂けず、昇給や正社員登用をしていただけないでいる。(40代・精神)
- 職場の先輩に『こんなこともまだ出来ないの』と言われることがある(20代・知的)
- 職場以外では手帳を使うことがないため、あまり感じなかった。(30代・精神)
- 職場の上司(30代・精神)
- 仕事で色付き眼鏡を使用する事で、上司や同僚から目を付けられやすい(30代・精神)

- 職場において、発達障害を告知していない為、アンガーマネジメント、短期記憶が出来ない等について、やる気がない等の評価を受け、結果、勤務評価が低い状態が続いている（40代・難病）
- 転職エージェントに障がいのことを話したら、求人の紹介がなくなった。障がいがある理由かはわからないが。（30代・精神）
- 職場の上司からパワハラで（20歳未満・知的）
- 職場の後輩（50代・身体）
- 就職が出来ない。良く理解してくれない（30代・精神）
- 職場で浮いているなど感じる場面が多々ある。（40代・精神）
- 会社で在職中に障害を発症し、その障害を理由に解雇された。（30代・精神）

5 医療機関

- 病院。（50代・精神）
- ワクチン接種で近所の医者にご相談したら、「そういう人達のための接種会場がある」と教えてくれたが、反面そこでの接種を断られたと受けとめた。難しい対応とはわかっているが、障害（知的）対応の勉強をしてほしい。（40代・身体, 知的, 難病）
- 入院時に看護師から「全盲かよ。全介助かよ。かんべんしてくれよ。」と言われた。ガイドヘルパーが自分の指示に従わない私に、その場を離れて放置し、いじめられた。（50代・身体）
- 内視鏡の検査で不必要なほど長時間で苦痛を与えられた。（大学病院）。（60代・精神）
- 歯医者でバリアフリーがなく、受付の人から。（60代・精神）
- 内科の院長不在の時の若い医師から、全てうつ病のせいにして、心不全の心音もきいてもらえず、粗末に扱われたこと。（60代・精神）
- 本人の父から、治療を否定された（30代・精神）
- 保険証がなく生活保護の医療券対応によるトラブル。17時15分過ぎに病院で初診を希望したら、市役所の生活福祉課に電話で本人確認できないとのことで当時は診察を断られ後日対応となった。（40代・身体, 精神）
- 診察の際に主治医である精神科の医師から。／支援を依頼したり受けたりした際に三鷹市障がい者支援課全体から。／障害年金に関する手続を行なった際に日本年金機構と厚生労働省から。／相談の依頼をした際に社会保険労務士から。（40代・精神）

6 福祉施設

- 書道の講師、お年寄りでも耳不自由な方がパワハラ、ば声、叱りまくり、叱る、セクハラ、肩をたたいた、をした。長年勤めているからといって、既得権ではない。別の人を派遣してほしい。絵手紙の先生は温和で、皆の作品をほめて下さる。又、ア

A 障がい者調査

ドバイスして下さる。草工芸や絵の先生なども素晴らしい。精神病院に適当な先生方だ。(40代・精神)

- かつて在籍していた虐待を受けた法人に電話をかけたところ、電話に出なかった。今でもトラウマに苦しんでおり、病院でカウンセリングを定期的に受けている。私を執ように虐待したのは、事業所の施設長、逆セクハラを受け続け、私は精神障害者というものが、こんなにも差別されるのかと苦しみ続けている。(40代・精神)
- グループホームの利用者(20代・知的)

7 その他

- 何か予約、問い合わせをしたいのに、電話しか表示されていないこと。筆談してくれない時。(20代・身体)
- 何をやっていいか1人で困っている時。(40代・精神)
- 兄の事で対応してくれた役所だが、結局自分達の困り事が済んだら2ヶ月以上、何の連絡もない。実家の事、兄の事が全くどうなってるのか分からないまま。毎度のことだけど。(50代・精神)
- 人により説明しない。(50代・精神)
- 会話(話の組み立て、伝え方)が上手くできず、市役所の職員から冷たい対応を取られた。(無回答・精神)
- 引越し直後の時期のため、そういう場面があまりありませんでした(令和3年11月末引越)。(50代・精神)
- 場面:病院窓口やお店など。誰:担当の方。話せる=聞こえると思われがちなので、こちらが筆談をしてほしいとお願いしたら、筆談してほしいな…とおもっています。★差別ではないです。(30代・身体)
- 緑の手帳。(50代・精神)
- 障害者年金時の対応。(20代・精神)
- 実の姉から。私が19才で病気になったころから。(50代・精神)
- 隣接自治体の公共図書館で、政府が図書館内マスク着用は必要ないと報じられたのに、マスク着用をお願いする声掛けをされた。警備員から。(30代・精神)
- 市役所障害支援課職員から、ガイドの時間増をがまんするように言われた。(40代・身体)
- 職務質問をよくうける。けいさつから。(50代・精神)
- 市役所の人。(30代・精神)
- 公共プールでのちかん行為。(50代・精神)
- トイレが長いため、他の方に早く出るとどなられた。(30代・精神)
- 思い出したくありません。(50代・精神)
- アパートの住人で生活保護バッシングの論者が居る。(40代・精神)
- 光熱費の件で身内から標的。差別ではないがやり過ぎ行為。医師が身内と上記の件でいさかっている時、患者を救わなかった。(50代・知的)

- 人混みでおろおろしていて、変な目でみられた。(50代・精神)
- まわりの人たちに言っていないので、特にありません。(40代・精神)
- 脳性マヒ。(40代・身体, 知的)
- 差別を感じることはあまりありませんでしたが、皮膚に症状が強く現れるために周りの人が移る病気だと誤解されないように手袋やアームカバーをしたり気を使わなければならないことがすこし悲しかったです。自分の考えすぎもありますが。(20代・難病)
- 特にない。障害がわからないようにしている。(50代・精神)
- このアンケート。長い上に回答期限が短く、障害者の肉体的精神的負担をなめている。Webでの回答方法も限られている。(30代・精神)
- みんな(50代・身体)
- 通行人(30代・身体, 精神)
- 近所の人(50代・精神)
- インターネットでの申し込みが多く、スマホのQRがだせず一人で行きたい所に行けなかった(30代・知的)
- 本人は感じていません。(20代・知的)

- 特にない(5件)

A 障がい者調査

② 気遣いや思いやりを感じた場面

1 言葉・言動

- 固まった時に助けてくれたりした事。(50代・精神)
- 近所を散歩している時に声をかけられたこと。(50代・身体, 難病)
- 電話以外にメール・チャット等の方法で受け入れてくれるところ。知らない人でも手話、筆談で話してくれること。(20代・身体)
- 外出時、歩行で立ち止まっている。声をかけてもらった。(60代・身体)
- 困っている時に声をかけられた時。(40代・精神)
- パニックになり警察を呼ぶことになった時、おまわりさんが良く話を聞いてくれた。(20代・精神)
- 兄の事で地元の役所から電話あり、やっと話を聞いて動いてくれた。(50代・精神)
- 家族に相談を聞いてもらえること。生活を助けてもらえること。職場で体調などを気にしてもらえること。(20代・精神)
- 人により細かく説明してくれる。(50代・精神)
- 健常の時と全く変わらない態度。(50代・精神)
- 自分の障害のこと(大きな声で話す、筆記してくれるなど)。(50代・身体, 精神)
- さりげなく車椅子を用意してくれる。(50代・身体)
- 近所の人か、困っている時(道でころんでしまったなど)助けてくれたり、声をかけてくれる。(30代・身体, 知的)
- 吉祥寺の銀行に家賃を振り込んでいましたが、コロナの為1階の大家さんに直接持っていったら、大家さんからお菓子やカップラーメンを頂きました。(50代・精神)
- メモを取りながら、話を整理して聞いてくれた。(無回答・精神)
- 大家さんが理解があり、気にする必要ないし、同じ障害者が隣に転居、又理解ある入居者を選んで同じアパートに入居させている。(20代・知的, 精神)
- 元々バリアの多い飲食店がリニューアルをきっかけに、スロープが設置できたり、バリアフリーになったこと。飲食店の店員が同行者ではなく、私に配慮の方法を全て聞いてくれること。(40代・身体)
- 気遣いかは疑問だが、厄介バライのような態度、インギン無礼な態度が多い。(50代・精神, 難病)
- 外を歩いていたりお店に入った時、知らない人や店員さんが声をかけてくれる。(60代・身体)
- 美容室で予約しているが、当日大雨のありそうな予報の時、本人の足元の危さを知っている美容室の方から、日程変更できると伝えてくれた。(40代・身体, 知的, 難病)
- 市のコロナ接種で、いろいろ配慮していただき、助かりました。グループホームで近所の方が手伝いに入っていただいていること。(50代・知的)

- ヘルプマーク。(50代・精神)
- 別の友人と食事して、お互いに励まし合ったりしたこと。(50代・精神)
- 他の人と同じようにあつってくれる人もいる。(60代・精神)
- 井の頭公園のコーヒーやさんで、聞き取れなかったときに、実物を見せてくれたりジェスチャーをしてくれた。(30代・身体)
- 近所の人が会うと「おかえり」とよく声をかけてくれます。(20代・知的)
- 「体調面もあるだろうし、いつでもいいよ。」と期限を気遣ってくれたこと。友人。(40代・精神)
- 知人から、よく頑張ってるね。大きくなってうれしい等。(20代・精神)
- 今の状況を親に話したら、黙って聞いてくれた。(60代・精神)
- 声が出て落ち着かない時、ヘルプマークを見て「お仕事がんばり過ぎちゃったのかな！ちゃんと並んで偉いよ。少しくらい声が出ちゃったっていいじゃない。」と笑顔で言ってくれた方がいました。(高齢の女性)。(20代・知的, 精神)
- 気が重いときの別室移動を許可してくださった。(20代・精神)
- 通りすがりの人から「何かお手伝いする事はありますか。」と声をかけられることが多くなった。(50代・身体)
- 必ず、あいさつしてくれる人がいる。(無回答・精神)
- 友人からの手紙。(50代・精神)
- 公共のスタッフの笑顔。(50代・精神)
- 母からの声かけが増えた。(30代・身体)
- 意識なく、普通に接してもらえる方がコミュニケーションが取りやすいです。(30代・精神)
- コンビニで店員さんの対応がとてもよかった。(40代・身体)
- 家族が気遣ってくれます。いつもです。(30代・精神)
- さいきんになってりかいがふえてきた。(30代・精神)
- 買い物に向かう途中、転んでしまった時、だまって起こしてくれた人がいて安心できた。(40代・精神)
- コンビニの店員さんから、手をかしてもらったり、やさしい声かけがあった。(40代・知的)
- 保育園のえんじから、いってらっしゃいとあいさつがあったことがうれしかった。(50代・知的)
- 本人や家族に傷害がある人に悩みを相談したら、いつもの確な解決方法をサラッとドライに答えてくれた。こちらも気軽に話せる感じで心が軽くなった。(50代・精神)
- 光熱費や日頃の気づかい、身内。(50代・知的)
- コンビニで代金を払うとき、サイフから出してもらおう。(40代・知的)
- 両手がふさがっている時にドアを開けて頂けた。(50代・身体)
- マスクで聞きとりづらいと言うと、メモ書きをしてくれる。(無回答・身体)

A 障がい者調査

- 愛知県の知り合いが、アドバイスくれたり背中を押してくれて、相談に乗ってくれてる（50代・精神）
- 食品スーパーやドラッグストアで知らない人から手伝いの声掛けがあったこと（50代・身体）
- はっきり話してくれる（20歳未満・身体）
- 警察署での申請書記入時に女性警察官の方が代筆を申し出てくれた。また受取り書類を席まで持ってきてくれた。（40代・身体）
- NPOのスタッフさんなどは能力に合わせて無理がないように配慮してくれる（20代・精神）
- 荷物持ち時や自転車など、困っている際、助けて頂けた。これは障害と関係なく高齢者や健常者でも同様です。（50代・身体）
- この一年の間では無いのですが、身体障害者になってから24年間で外で転んだ事が4回あり、自力で起き上がれないところを、その場にいた方に、起き上がらせてもらいました。本当に有り難かったです。（50代・身体）
- スーパーなどの買い物時の袋詰めの際、手助けして下さるお客さんが時々居ます。（60代・身体）
- 地域の人から、挨拶されたり声をかけてもらった事（20代・知的）
- 苦しそうにしている時荷物を運んでくれた。とても助かりました。（60代・身体）
- 私の障害は（視力）他人の方からはよくわからないので特に支援や気遣いを感じたことはありませんが出掛けるときに同行してくれる家族や友人が足元に気遣ってくれたり見えづらい物を代わりに読んでくれたりします。（50代・身体）
- 日常的に関わる人（40代・身体）
- 障がい者支援課、病院で聴覚障害であることを事前に伝えておくと、筆談とか身振りとかしてくれて気遣いがあった（40代・身体, 難病）
- 都営住宅自治会の用事で会話をした際に同じ都営住宅の住人から。／相談をし対応してもらった際に市議会議員と都議会議員から。／仕事を依頼した際に社会保険労務士から。（40代・精神）
- 近所の方、通行人（30代・身体, 精神）
- 厳しいことをあまり言われない。（40代・精神）
- 家族が体調不良に理解を示してくれる。（40代・精神）
- 説明を受ける際に、優しい表情でゆっくりと間を取って、声かけてくれました。（20代・知的）

2 交通機関

- シルバーシートをゆずってくれる。街中でまよっていたら、声をかけてくれる。（40代・身体, 難病）
- バス停でころんだ時小さなお子さんを連れた方が立てるまで側に居て下さった。（60代・身体）

- 電車で席をゆずってもらった。(20代・精神)
- バス料金半額。(50代・精神)
- 席をゆずられる。乗客から。(60代・身体, 難病)
- バスの中で座席を空けて下さった方。夜具合が悪くなっている時に、父だけでは面倒見切れず、当直の相談に乗って下さる夜警、看護 etc. 作業所のお便りに、川柳を掲載して下さったり、ひまわりの折り紙に pray for Ukraine をコミセン、協働センターなどに展示してもらえた。(40代・精神)
- バスに乗った時、行き先の確にんをした所、ヘルプマークに気づき、ていねいに教えて下さり、到着の際もおしえて頂きありがたかった。(50代・精神)
- 障害者用のヘルプマーク(赤い)をリュックにぶらさげていたら、若いお兄さんがどうぞお先にのって下さい!とバスに先にのせてくれた。とてもうれしかったです。(60代・身体)
- 移動手段(バスや電車)で席をゆずってもらえた。(30代・身体, 知的)
- バスや電車で席をゆずってもらったこと。(40代・精神)
- バスに半額で乗れる。植物園に優先的に入れた。(50代・精神)
- バスのせきをゆずってくれます。(60代・精神)
- 杖を持っていると、電車で席をかわってくれたり、車が少し外に行ってくれたりした。(50代・身体)
- タクシーに乗って「手帳」あります、と手帳を出そうとすると、運転手さんによっては「見せなくても大丈夫ですよ。」と申告だけで済ませていただける場合があり、気づかいを感じた。(40代・身体)
- 電車などで座席をゆずられた。(30代・身体)
- 電車でヘルプマークをつけて優先席付近にいた。→座っていた女性から譲ってもらえた。障害者割引で施設料金が安くなる。(20歳未満・精神)
- タクシーを見つけたい時、タクシーに乗り込もうとしている時、手伝いましょうか? 道路脇に腰かけている時、大丈夫ですか? ※知らない人から。(若い人、中年の人、高齢の人で女性が多いです。)(60代・身体)
- 専用スペース(駐車場等。)(40代・身体)
- 電車でヘルプマークに気付いた人が優先席をゆずってくれたことがあった。(50代・身体)
- 数年前より、バスの運転手さんが「緑の手帳」割引を知っている率が増え、定着した。(50代・精神)
- バス乗車の際、酸素吸入の管に気づいた小学生が、席をゆずってくれた。(60代・身体, 難病)
- 乗り物などの時、席を譲っていただいたこと。(60代・身体)
- バスで席を譲っていただいた。(20代・身体)
- 公共交通機関で席を譲ってもらえた事(40代・難病)
- 駅などで声をかけていただき、誘導していただいた。(50代・身体)

A 障がい者調査

- 路線バス車内にて、高齢者ほど座席を譲る申し出をしてくれる（50代・身体）
- 薬が重いので2階自宅まで上げてくれるタクシーに当たった時（40代・精神）
- バス乗降時の席の提供（60代・身体）
- 席を譲ってもらえた（40代・身体）
- 公共のスペースとかバスの優先席での年上の方（特に女性の方が多い）の気遣い。また年下の友人でも近親者にやはり障がい者がいて、サポートに慣れていて親身になってもらったりしてます。（60代・身体）
- 席を譲ってくれる優しい人がたまにいて、嬉しく感じる（60代・精神）

3 学校

- 学校（突然わらったら「大丈夫」という声掛け）。受付（何言っているのか、シートもあり分かりにくいから、スタッフが私のそばに来てくれた）。（20歳未満・知的, 精神）
- 子供の学校で、先生、生徒が飛んできて、エレベーター等手配してくれる。（50代・身体）
- 幼稚園のママたちや先生とお話する時、向こうからマスクを外して話してくれた。（30代・身体）

4 就労・職場

- ハローワークで求職活動をしている際に職員から感じた。市の担当者の方からも感じる。（50代・精神）
- 同じ職場の女性が、話しかけてくださった（給湯室での軽い会話）。（50代・精神）
- 職場、同僚、上司。（60代・身体）
- 会社の上司の仕事の与え方がよかった。（押し付けなく、よく相談してから与えられた）。（50代・精神）
- 仕事を手伝ってくれた。（30代・知的）
- 職場で重量物を運ぶ際に、同僚が手助けしてくれた。（50代・身体）
- 職場で、多少の事はやさしく見てくれる人もいる。（40代・精神）
- 同僚などから声かけをしてもらう。（40代・身体, 難病）
- 仕事上自分の状況を理解してくれる対応。（40代・精神）
- 職場のコーチにいつも気にかけてもらい話を聞いてくれたり話しかけてもらえる。コロナ禍なのに職場訪問してもらえて、面談してもらえた。ガイドヘルパーさんをお願い出来て、一緒にお出かけ出来た。（20代・知的）
- 上司が良く声をかけてくれる。（50代・身体）
- バイトの人。変顔で一緒にやってくれる人。（20代・知的）
- 職場の上司から、特に気配りを受ける。（50代・身体, 知的）
- 前の職場部長が私の体調不良に気付いたようでした。雑談という名目で職場で感じる事、体調や通院の状況を1時間程度話す機会を月1回設けてくれました。他

の人には話せませんでした。現場のトップが知っていてくれることで安心感がありました。当時、何とか出勤できたのも部長の対応のおかげだと思っています。今の職場 IT 関係の仕事で、在宅勤務です。特に病気の事は話していませんが、突然の体調不良に理解ある上司が多く、前よりも罪悪感が無くなり精神面でも働きやすいです。体調が良くない時の仕事との向き合い方などのアドバイスなどもありました。(20代・精神)

- わからないことやできないところを職場の先輩が手助けやアドバイスをしてくれること (20代・知的)
- 相談をするのが苦手なので、職場では、相談の機会を毎週定期的に設けてもらった。(30代・精神)
- 記憶の悪い私ですが今保育園で毎日同じ流れのお掃除のお仕事させてもらっています。出来るのはお掃除とかだけです。毎日先生方や子どもたちからの”ありがとう”を言ってもらえることがすごく嬉しいです。(20代・精神)
- 上司が障害者に対する合理的配慮に欠けると感じた時に、会社の人事サポートが相談に乗ってくれて改善に動いてくれた (50代・精神)
- 家族と職場のサポート体制の充実 (40代・精神)
- 職場で上司から最近の体調を聞かれ、気にかけてくれていることに安心した。(20代・精神)
- 作業所を休んでいる時に、コロナに感染していないか、なにか困っていることはないか、確認の電話連絡があった。(40代・精神)
- 職場で雇用の契約をする際に、会社側の人事担当者が、自分の障害を理解し働きやすい待遇で契約を交わしてくれた。(30代・精神)
- 今の職場で無理しないようにと常々声掛けをしてもらっています。(20代・精神)
- リワーク施設のスタッフや、他の参加者の皆さん (40代・精神)
- うまくコミュニケーションが取れないことを理解した上で、配慮ある接し方を上司がしてくれること。(20代・精神)

5 医療機関

- 初めていったクリニック(耳鼻科、整形外科2ヶ所)でも、丁寧に対応してくれた。(20歳未満・知的)
- 先生から、つかれたんだ、休みなさい。(50代・精神)
- 病院や市役所の方々は、体調や精神面を考えて行動を考えてくれた。(20代・精神)
- 虐待が起こってから、かかりつけの病院の主治医が相談役として紹介されてカウンセリングにあたってくれた。病院スタッフには感謝している。(40代・精神)
- 病院(内科で)血圧計のスイッチを押しづらかったら、他人だけど男の方が押し下さった。(50代・精神)
- 病院スタッフ。友人。親からは常に。(40代・精神)

A 障がい者調査

- 私が落ちこんでた時、福祉作業所の利用者が「クヨクヨしないで楽しいことを考えよう。」って言うてくれたことです。私は今の所は特に何も病気はしてないが、福祉作業所の利用者が「私は病気があっても前向きに頑張ってるよ。」って言うて、私もその言葉は今でもずっと忘れられないです。これからも「健康でいる自分でいよう。」と思いました。(30代・知的)
- 作業所のみんな。(30代・精神)
- 体調の悪い時に仕事を休ませてもらえる事。仕事場。スタッフ。(40代・精神)
- デイケア通所の人から。(50代・身体,精神)
- デイケアスタッフのやさしさ。(50代・精神)
- デイ・ケアや病院訪問介護事業所の人たちが、いい人だということです。(50代・精神)
- 病院のデイケア言ってますが、スタッフが声をかけてくれて話をしてくれるのが嬉しい。(50代・精神)
- お世話になっている多くの方々に「無理しないでください。ゆっくりでいいですよ。焦らず行きましょう。」と暖かい声をかけてもらうことが頻繁にあり支えられ助けられてます。(40代・身体,精神)
- デイケア室のスタッフ、職員。どのような場面で、ただ居ます。何かあったら相談してください。他の職員もいますから、の声かけ。ほんの些細なことだけど、個人的にメンタルの回復や安定にこんなに影響するのか、、、と振り返ってみて、ありがたく思っています。(40代・精神)

6 福祉施設

- 通・施で体調不良の時など細かくスタッフに気づかいをしてもらった。(30代・知的)
- 市役所でのご対応。かけはし(就労支援センター)さんからのご対応。病院での先生からのご対応。(20代・精神)
- 困った時や分からない時に訪問看護師から。(60代・精神)
- 通所施設で、スタッフからやさしく対応してもらっている。やさしく話しかける等。(30代・知的)
- やさしい声かけ。通所時スタッフから。通所施設ではやさしく対応していただいています。(20代・知的)
- グループホームの職員(20代・知的)
- できる範囲でのご支援、お気遣いを頂けていると思います。以前、12年以上前に障がい者雇用での就労をしたくご支援を受けたいと思い訪れた時、門前払いをされたことがありましたが、その頃と比べるとご対応に大きな変化があったかなと思います。(40代・精神)
- 卒業した事業所の職員さんが色々と相談に乗っていただき助かっています。(50代・身体,精神)

- 訪問看護師が親身になって相談に乗ってくれた（30代・精神）
- ぽっぴ（相談支援センター）で親身になっていつでも悩みを聞いてくれること（30代・知的）
- 家でものすごくいらした時に、両親が、親身になってくれてアドバイスをしてくれた。先生も、相談を聞いてくださった時に、その時の悩みを障害の特性だと教えてくださった。（20代・知的, 精神）

7 その他

- 市の職員の方に相談（左記も含め）した所、サービス利用は権利だと親身に相談に乗って頂いた。（30代・精神）
- ありがとう。（30代・知的）
- お店で商品を落とした時、やさしく「大丈夫ですか。」と聞きながらひろってくれた事。（50代・身体）
- 家族、親戚から。（40代・精神）
- 色々な場所で窓口等に向かおうとすると、受け付けの方等が駆け寄ってきて用事を聞いて下さったり助けて下さいます。（50代・身体）
- 市役所の方が、こちらのペースに合わせて対応して下さる。市役所の方は何を聞いても親切に答えてくれる。（30代・精神）
- 道路を歩いていて、立ち止まってしまった時に助けてもらった。（50代・精神）
- 若者の子育て世代ママへの自転車移動の代行。（50代・身体）
- 私に病気があろうとなかろうと市役所の人や病院の方々はとても親切にしてくださっているので大変ありがたいです。（20代・難病）
- 特にない。障害がわからないようにしている。（50代・精神）
- よく分からないあったと思うがすぐに思い出せない（30代・知的）
- 三鷹市役所の補装具担当の方が親身に話を聞いて対応してくれたこと（20代・身体）

- 特にない（15件）

A 障がい者調査

(3) 成年後見制度の認知状況

問 33 成年後見制度について知っていますか。

- 成年後見制度の認知状況は、「制度の名前も内容も知っていた」が 38.0%、「聞いたことはあるが内容は知らなかった」が 25.6%、「まったく知らなかった」が 30.5%となっている。

手帳の種類でみると、身体障がい、知的障がい、難病では「制度の名前も内容も知っていた」が4割以上を占めている。

図表 A12-3-1 成年後見制度の認知状況（全体・性別・年齢・手帳の種類）

		制度の名前も 内容も知って いた	聞いたことは あるが内容は 知らなかった	まったく知ら なかった	無回答	n
全体 (%)		38.0	25.6	30.5	6.0	837
性別	男性	35.3	26.2	33.6	4.9	428
	女性	41.0	25.6	26.9	6.5	383
年齢	10・20代	36.6	19.1	42.0	2.3	131
	30代	33.6	22.7	40.6	3.1	128
	40代	35.0	31.7	29.4	3.9	180
	50代	40.1	26.7	26.3	6.9	262
	60代	44.3	24.6	19.7	11.5	122
手帳の種類	身体障がい	45.4	23.6	23.6	7.4	271
	知的障がい	42.9	19.7	33.3	4.1	147
	精神障がい	33.3	27.7	35.1	3.8	393
	難病	43.9	28.8	19.7	7.6	66
	持っていない	32.0	36.0	20.0	12.0	25

(4) 成年後見制度の利用意向

問 34 成年後見制度を活用したいと思いますか。

- 成年後見制度の利用意向は、「将来必要になったら活用したい」が 38.9%、「活用したいとは思わない」が 18.2%と続く。

年齢で見ると、10・20代では「将来必要になったら活用したい」が 48.9%と、他の年齢層と比べて高くなっている。

図表 A12-4-1 成年後見制度の利用意向（全体・性別・年齢・手帳の種類）

		既に活用している	将来必要になったら活用したい	活用したいとは思わない	わからない	無回答	n
全体 (%)		38.9	18.2	33.3	8.1		837
性別	男性	41.4	16.8	33.6	6.5		428
	女性	37.3	19.8	32.4	9.1		383
年齢	10・20代	48.9	11.5	34.4			131
	30代	35.9	19.5	38.3			128
	40代	33.3	25.6	33.9			180
	50代	39.7	16.0	32.1			262
	60代	40.2	16.4	31.1			122
手帳の種類	身体障がい	38.4	20.7	31.0			271
	知的障がい	42.9	9.5	38.1			147
	精神障がい	38.2	20.1	33.8			393
	難病	37.9	21.2	31.8			66
	持っていない	40.0	12.0	32.0			25

A 障がい者調査

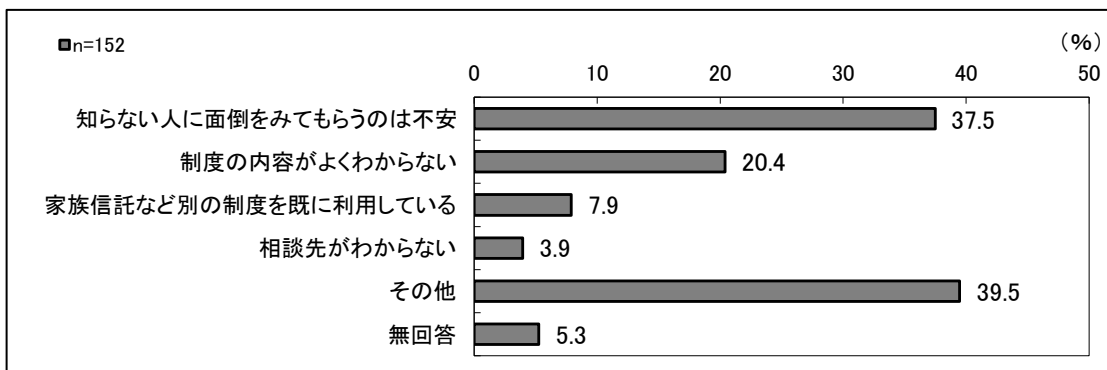
(5) 成年後見制度を利用したくない理由

※問 34 で「活用したいとは思わない」と回答した方にお聞きます。
問 34-1 活用したいと思わない理由は何ですか。【複数回答】

- 成年後見制度を利用したくない理由として、「知らない人に面倒をみてもらうのは不安」が 37.5%となっている。

「その他」以外の回答について、手帳の種類でみると、難病では「制度の内容がよくわからない」が第1位となっている。

図表 A12-5-1 成年後見制度を利用したくない理由（全体／複数回答）



「その他」自由記載欄の回答は次のとおりとなっている。

- マイナス面のウワサ、情報が多い、そもそも制度悪用に対するブレーキがない。
- 現時点ではどの類型にも概当せず、また治療がおちつけば利用する必要がないと思うため。
- 十分に自力でなんでもできるから。
- 自身の症状としては必要性がないから（この制度自体は、自身が使うかどうかは別であり、必要あるものと思います）。
- そこまで障害が重度ではないから。
- 成年後見人が勝手に家を処分した、事件があったから、他人は、信用できない。
- 今の生活にこまっていない為。
- 現行制度が障害者（被後見人）のために制度設計されていないから司法資格者の横領が絶えないのは現実。成年後見制度が当事者のためでなく、辞めた方々のためだから。家庭裁判所からもらった資料でわかりました。自分が依頼したい弁護士を選んでもらえないケースが多く、解任したいと言っても聞いてもらえない制度。
- 親や元夫がお金の使い方について注意をしてくれる。
- 悪用のニュースを耳にするのでチェック機能の強化が望まれる。

- 今は利用の対象ではない。
- 家族がいるので必要性を感じない。
- 今はまだ自分でできる。
- 実家の家族がいるから。
- 今の制度に未だ不備があると感じている（財産をみるのをやさしいが身上監護をできる人がいるのだろうか）。
- 後見人に支払う毎月の料金が変すぎると思います。裁判所が指名するため全く面識のない人が後見人になり、心のこもった仕事ができず、困っている人が多い。親族後見人を優先すべきである。現在は圧倒的に関係のない司法書士などが指名されている（商売化している）。有期の後見人制度を作るべき、不適當な後見人は、変えることができるよう。安心して利用できる後見人制度の再検討されますように。
- なってもらうに適した人がいない。
- 自分のことは自分で決めたいから。
- 必要になる前に死んでいたい。
- 活用したいが費用が高い。
- 利用してやる。
- 後見人をつけなければ良かったという人の記事を読んだので。
- 特に活用する理由がないため。
- 自分で判断できるから。
- 自分に必要と感じない為。
- 自分で出来る。
- 後見人に多大な負担をかけるから。
- 親族がいるから。
- 教員免許が失効するから。
- お金の管理を他人に任せられない。
- 自分で管理できるから
- 財産がない
- 私には不要だから
- 家族がいるから（2件）
- まだ大丈夫と感じている
- 弁護士さん等をお願いした場合、少なくとも月に 20,000 円程のお支払いがあるとの事。1年で 24 万円、10年で 240 万円、30年で 600 万円…そんなに支払えるほど資産はありません。障害のある子どもに蓄えを残したい考えはありますが、制度を利用した場合の目減りは私が利用するに値しない物だと思っています。
- 自分の障害の程度では必要がないと思うから
- 今は自分で判断できるため
- 必要ではない（20件）

A 障がい者調査

図表 A12-5-2 成年後見制度を利用したくない理由

(全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		知らない人に面倒をみてもらうのは不安 37.5	制度の内容及くよくわからない 20.4	家族信託など別の制度を既に利用している 7.9
性別	男性	知らない人に面倒をみてもらうのは不安 41.7	制度の内容及くよくわからない 22.2	相談先がわからない 5.6
	女性	知らない人に面倒をみてもらうのは不安 34.2	制度の内容及くよくわからない 19.7	家族信託など別の制度を既に利用している 11.8
年齢	10・20代	知らない人に面倒をみてもらうのは不安 33.3	制度の内容及くよくわからない 20.0	相談先がわからない 6.7
	30代	知らない人に面倒をみてもらうのは不安 44.0	制度の内容及くよくわからない 12.0	家族信託など別の制度を既に利用している 4.0
	40代	知らない人に面倒をみてもらうのは不安 30.4	制度の内容及くよくわからない 19.6	家族信託など別の制度を既に利用している 8.7
	50代	知らない人に面倒をみてもらうのは不安 45.2	制度の内容及くよくわからない 26.2	家族信託など別の制度を既に利用している 11.9
	60代	知らない人に面倒をみてもらうのは不安 35.0	制度の内容及くよくわからない 20.0	家族信託など別の制度を既に利用している 10.0
手帳の種類	身体障がい	知らない人に面倒をみてもらうのは不安 42.9	制度の内容及くよくわからない 16.1	家族信託など別の制度を既に利用している 7.1
	知的障がい	知らない人に面倒をみてもらうのは不安 57.1	制度の内容及くよくわからない 14.3	家族信託など別の制度を既に利用している 7.1
	精神障がい	知らない人に面倒をみてもらうのは不安 36.7	制度の内容及くよくわからない 20.3	家族信託など別の制度を既に利用している 8.9
	難病	制度の内容及くよくわからない 21.4	知らない人に面倒をみてもらうのは不安／家族信託など別の制度を既に利用している	14.3
	持っていない	制度の内容及くよくわからない／相談先がわからない／知らない人に面倒をみてもらうのは不安		33.3

13 将来の希望などについて

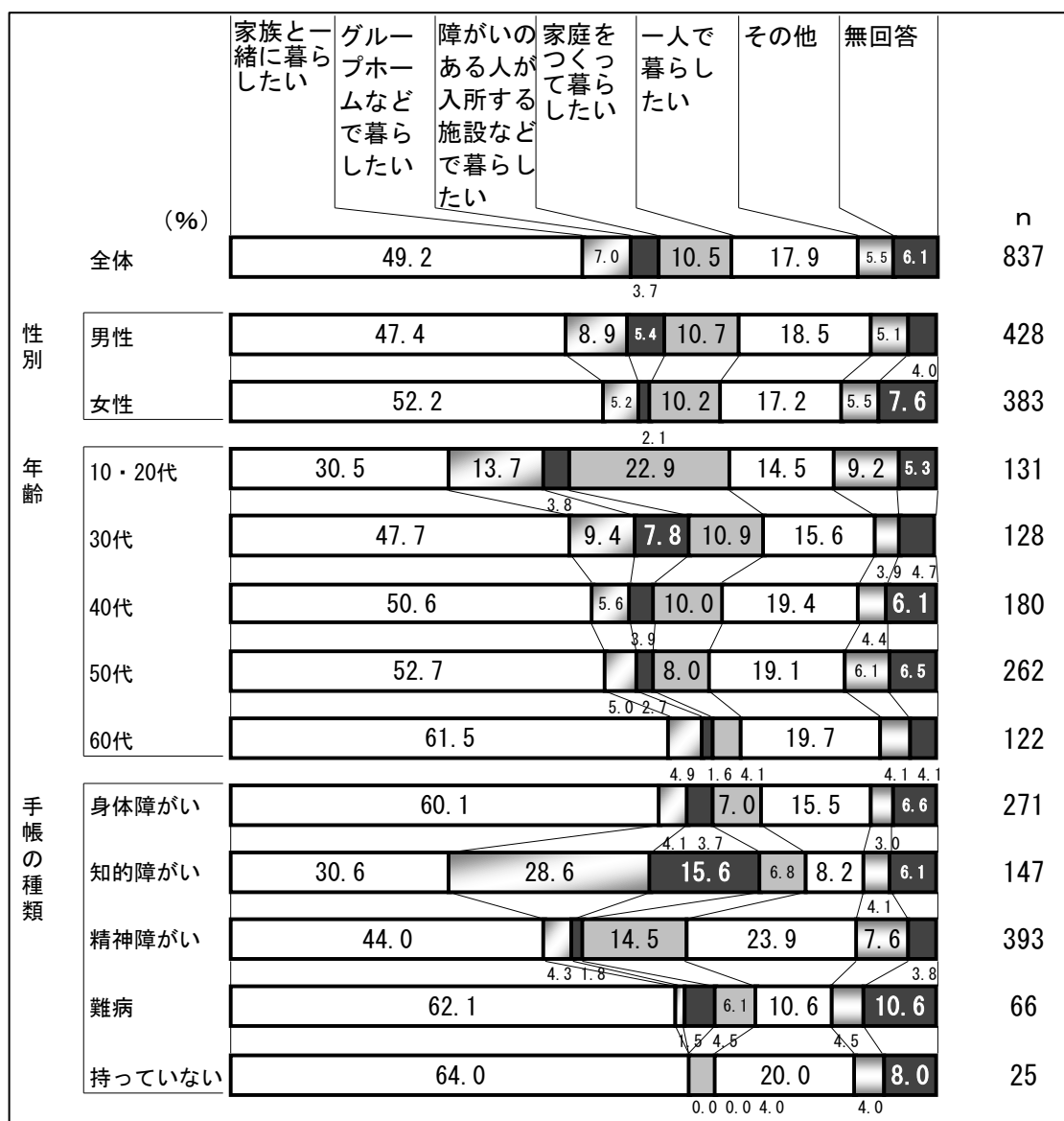
(1) 希望する暮らし方

問 35 今後、どのような暮らしをしたいですか。

- 希望する暮らし方は、「家族と一緒に暮らしたい」が 49.2%、「一人で暮らしたい」が 17.9%と続く。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「家族と一緒に暮らしたい」の割合が高くなっており、60代では 61.5%となっている。手帳の種類で見ると、知的障がいでは「グループホームなどで暮らしたい」が 28.6%と他と比べて高い割合を占めている。精神障がいでは「一人で暮らしたい」の割合が高く、23.9%となっている。

図表 A13-1-1 希望する暮らし方（全体・性別・年齢・手帳の種類）



A 障がい者調査

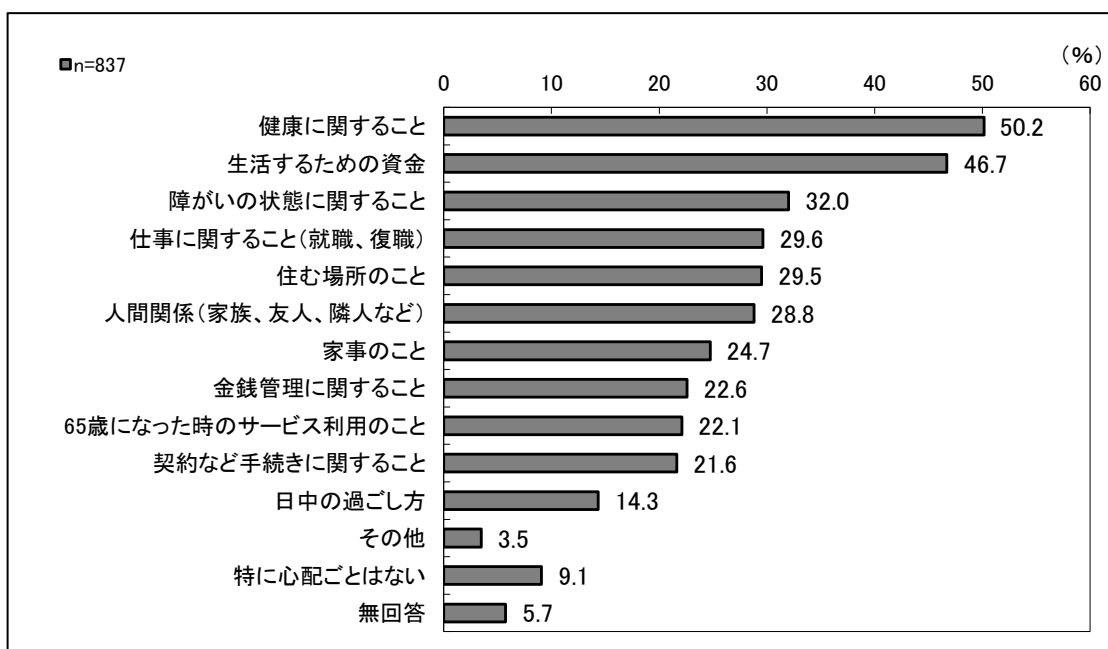
(2) 希望する暮らし方をする上での心配

問 36 問 35 のような暮らしをする上で心配なことは何ですか。【複数回答】

- 希望する暮らし方をする上での心配として、「健康に関すること」が 50.2% と最も回答が多く、「生活するための資金」が 46.7% と続く。

「特に心配事はない」の回答について年齢で見ると、30 代以下では「生活するための資金」が第 1 位となっている。手帳の種類で見ると、精神障がいと持っていないグループで「生活するための資金」が第 1 位となっている。

図表 A13-2-1 希望する暮らし方をする上での心配（全体／複数回答）



図表 A13-2-2 希望する暮らし方をする上での心配

(全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		健康に関すること 50.2	生活するための資金 46.7	障がいの状態に関すること 32.0
性別	男性	健康に関すること 50.5	生活するための資金 47.4	障がいの状態に関すること 30.1
	女性	健康に関すること 50.9	生活するための資金 45.7	障がいの状態に関すること 32.9
年齢	10・20代	生活するための資金 48.1	健康に関すること 39.7	契約など手続きに関すること／人間関係 37.4
	30代	生活するための資金 53.9	健康に関すること 50.8	金銭管理に関すること 37.5
	40代	健康に関すること 58.3	生活するための資金 45.0	障がいの状態に関すること 36.7
	50代	健康に関すること 48.9	生活するための資金 46.9	仕事に関すること（就職、復職） 30.2
	60代	健康に関すること 54.1	生活するための資金 41.8	障がいの状態に関すること 26.2
手帳の種類	身体障がい	健康に関すること 50.9	障がいの状態に関すること／生活するための資金 36.2	
	知的障がい	健康に関すること 43.5	金銭管理に関すること 37.4	生活するための資金 36.1
	精神障がい	生活するための資金 57.0	健康に関すること 52.4	人間関係（家族、友人、隣人など） 39.9
	難病	健康に関すること 60.6	生活するための資金 39.4	障がいの状態に関すること 34.8
	持っていない	生活するための資金 52.0	健康に関すること 32.0	人間関係（家族、友人、隣人など） 24.0

A 障がい者調査

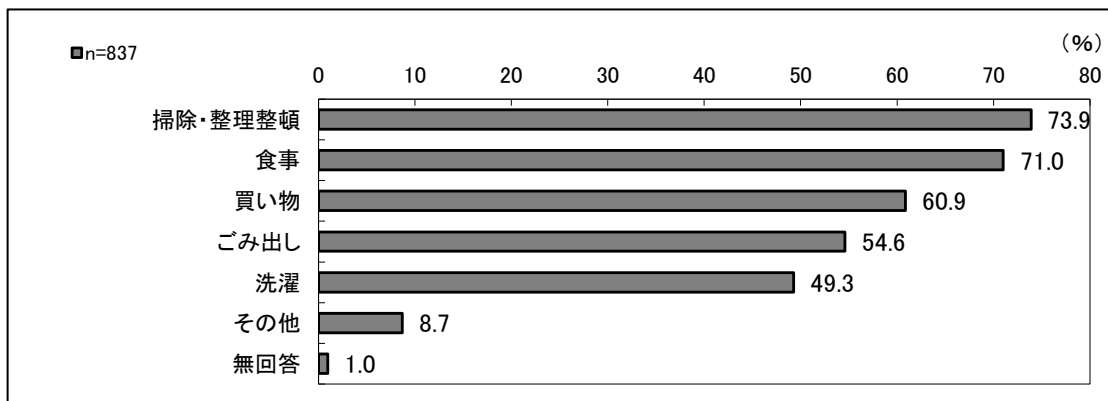
(3) 心配な家事

※問 36 で「家事のこと」と回答した方にお聞きします。
問 36-1 心配な家事は何ですか。【複数回答】

- 心配な家事として、「掃除・整理整頓」が 73.9%と最も回答が多く、「食事」が 71.0%と続く。

年齢で見ると、40 代以下では「食事」が第 1 位となっている。手帳の種類で見ると、知的障がい、精神障がいでは「食事」が第 1 位となっている。

図表 A13-3-1 心配な家事（全体／複数回答）



図表 A13-3-2 心配な家事（全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		掃除・整理整頓 73.9	食事 71.0	買い物 60.9
性別	男性	掃除・整理整頓 73.8	食事 68.8	ごみ出し 57.5
	女性	掃除・整理整頓 73.8	食事 72.1	買い物 66.4
年齢	10・20代	食事 73.8	掃除・整理整頓 69.0	買い物 66.7
	30代	食事 78.6	掃除・整理整頓 71.4	ごみ出し 60.7
	40代	食事／掃除・整理整頓 70.2		買い物 59.6
	50代	掃除・整理整頓 81.0	食事 75.9	買い物 63.8
	60代	掃除・整理整頓 73.3	買い物／ごみ出し 53.3	
手帳の種類	身体障がい	掃除・整理整頓 76.9	食事 67.3	ごみ出し 67.3
	知的障がい	食事 70.7	買い物 65.9	掃除・整理整頓 65.9
	精神障がい	食事／掃除・整理整頓 74.6		買い物 60.5
	難病	掃除・整理整頓 80.0	買い物 60.0	食事／洗濯／ごみ出し 40.0
	持っていない	食事 100.0	買い物／洗濯／掃除・整理整頓／ごみ出し 50.0	

A 障がい者調査

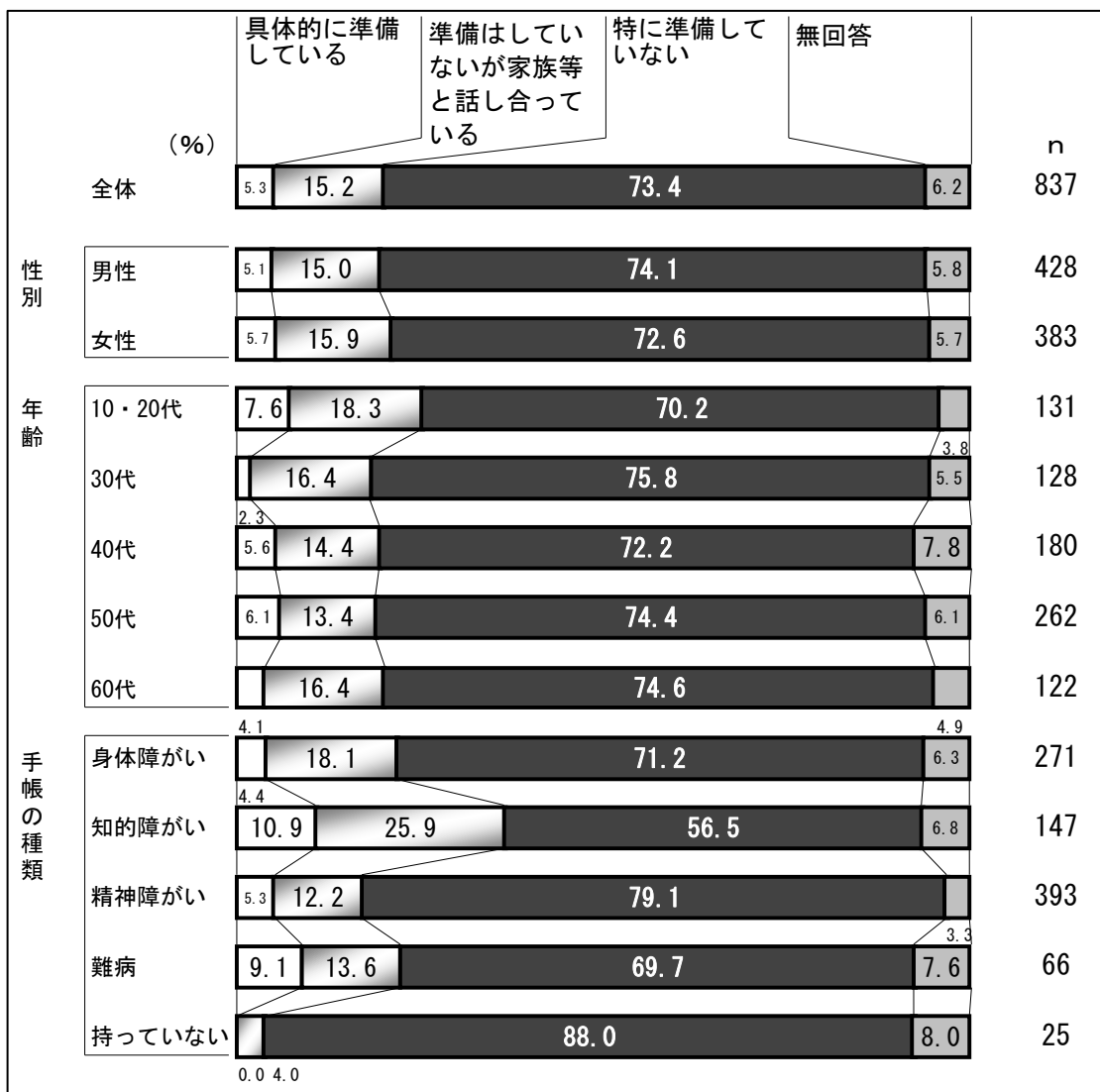
(4) 親亡き後を見据えた準備をしているか

問 37 将来、主に介助・援助している人（家族など）が先に亡くなったり、高齢になって介助が難しくなったりした時に備えて、何か準備をしていますか。

- 親亡き後を見据えた準備をしているかは、「特に準備していない」が73.4%、「準備はしていないが家族等と話し合っている」が15.2%となっている。

手帳の種類でみると、知的障がいでは、「準備はしていないが家族等と話し合っている」が25.9%、「具体的に準備している」が10.9%と、他と比べて高い割合を占めている。

図表 A13-4-1 親亡き後を見据えた準備をしているか（全体・性別・年齢・手帳の種類）

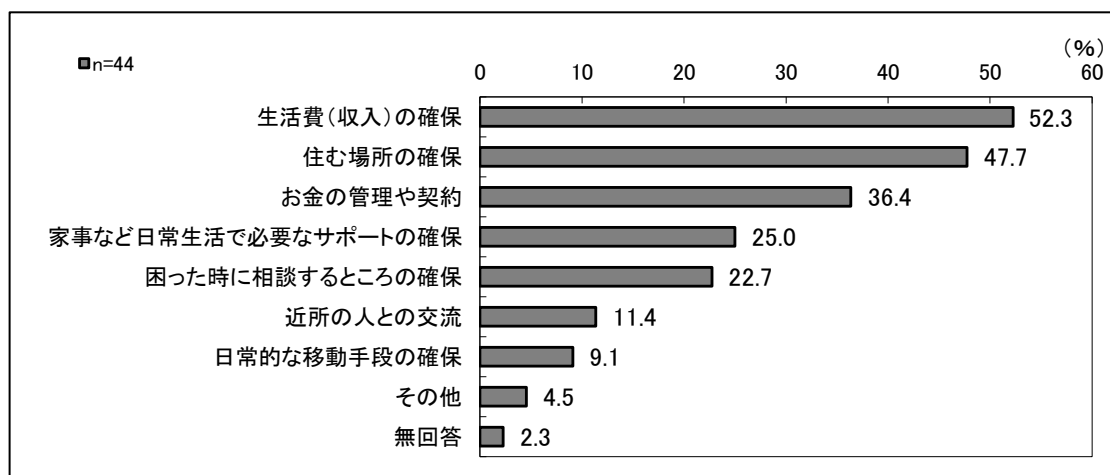


(5) 具体的にしている準備

※問 37 で「具体的に準備している」と回答した方にお聞きします。
 問 37-1 準備していることは何ですか。【複数回答】

- 具体的にしている準備として、「生活費（収入）の確保」が 52.3%と最も回答が多く、「住む場所の確保」が 47.7%と続く。

図表 A13-5-1 具体的にしている準備（全体／複数回答）



A 障がい者調査

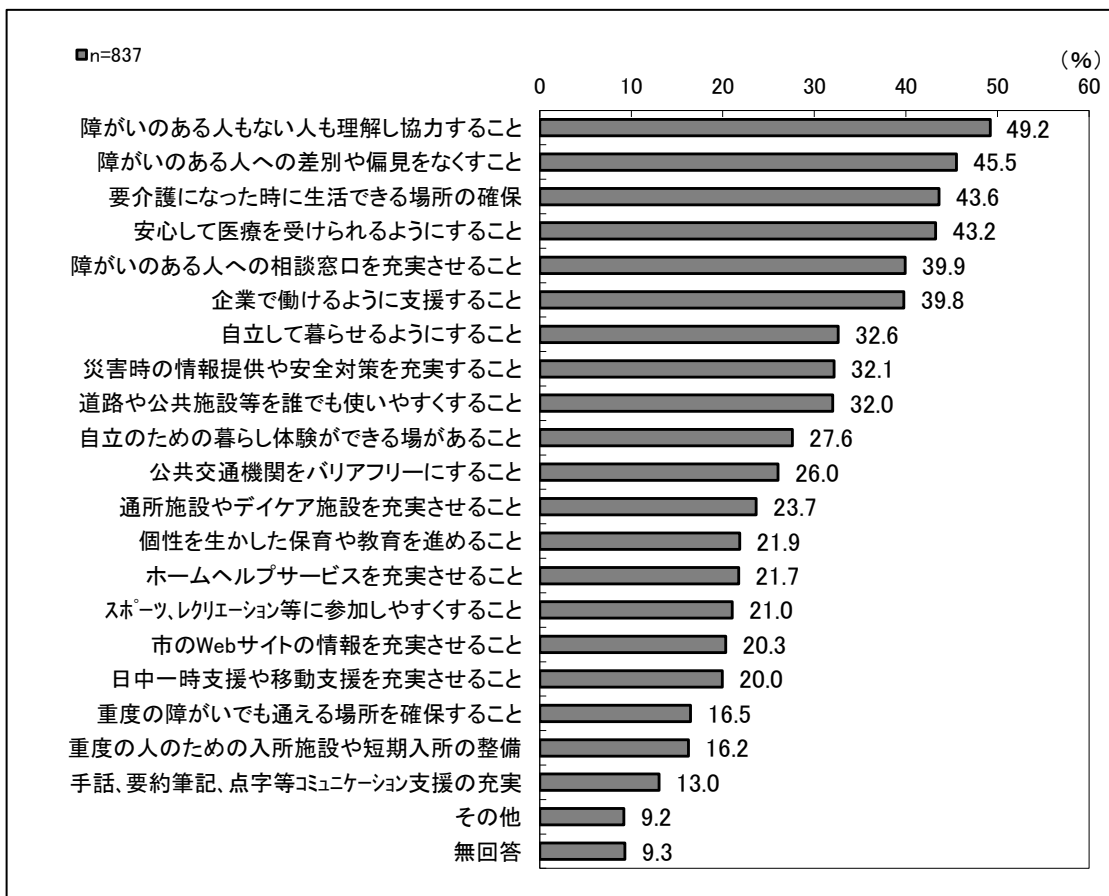
(6) 三鷹市が今後重視すべき取り組み

問 38 障がいのある方への取り組みとして、今後、三鷹市に重点的に進めてほしいことは何ですか。【複数回答】

- 三鷹市が今後重視すべき取り組みとして、「障がいのある人もない人も理解し協力すること」が49.2%と最も回答が多く、「障がいのある人への差別や偏見をなくすこと」が45.5%と続く。

年齢で見ると、30代では「企業で働けるように支援すること」、60代では「要介護になった時に生活できる場所の確保」が第1位となっている。手帳の種類で見ると、知的障がいでは「要介護になった時に生活できる場所の確保」、難病では「安心して医療を受けられるようにすること」が第1位となっている。

図表 A13-6-1 三鷹市が今後重視すべき取り組み（全体／複数回答）



図表 A13-6-2 三鷹市が今後重視すべき取り組み（全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答）
（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		障がいのある人もない人も理解し協力すること 49.2	障がいのある人への差別や偏見をなくすこと 45.5	要介護になった時に生活できる場所の確保 43.6
性別	男性	障がいのある人もない人も理解し協力すること 47.4	要介護になった時に生活できる場所の確保 42.8	障がいのある人への差別や偏見をなくすこと 42.8
	女性	障がいのある人もない人も理解し協力すること 50.7	障がいのある人への差別や偏見をなくすこと 48.0	安心して医療を受けられるようにすること 46.7
年齢	10・20代	障がいのある人もない人も理解し協力すること／障がいのある人への差別や偏見をなくすこと 54.2		要介護になった時に生活できる場所の確保 46.6
	30代	企業で働けるように支援すること 52.3	安心して医療を受けられるようにすること 47.7	障がいのある人もない人も理解し協力すること／障がいのある人への相談窓口を充実させること 46.1
	40代	障がいのある人もない人も理解し協力すること 52.8	障がいのある人への差別や偏見をなくすこと 47.8	要介護になった時に生活できる場所の確保 42.8
	50代	障がいのある人もない人も理解し協力すること 49.6	障がいのある人への差別や偏見をなくすこと 43.5	要介護になった時に生活できる場所の確保／安心して医療を受けられるようにすること 41.6
	60代	要介護になった時に生活できる場所の確保 46.7	安心して医療を受けられるようにすること 45.1	道路や公共施設等を誰でも使いやすくすること／障がいのある人もない人も理解し協力すること 41.8
手帳の種類	身体障がい	障がいのある人もない人も理解し協力すること 46.1	安心して医療を受けられるようにすること 43.9	要介護になった時に生活できる場所の確保 43.5
	知的障がい	要介護になった時に生活できる場所の確保 70.1	障がいのある人もない人も理解し協力すること 57.8	障がいのある人への差別や偏見をなくすこと 55.1
	精神障がい	障がいのある人もない人も理解し協力すること 53.9	障がいのある人への差別や偏見をなくすこと 53.7	企業で働けるように支援すること 45.8
	難病	安心して医療を受けられるようにすること 47.0	要介護になった時に生活できる場所の確保 39.4	障がいのある人への差別や偏見をなくすこと 36.4
	持っていない	障がいのある人もない人も理解し協力すること／自立のための暮らし体験ができる場があること 32.0		通所施設やデイケア施設を充実させること 28.0

14 自由意見

(1) 自由意見

掲載にあたっては個人を特定できるもの等を除き、できる限り原文に近い表記で掲載している。

① 情報提供に関するもの

- ホームページについては、デザインより「わかりやすさ」にこだわってほしいと思う。(50代・身体)
- 未だに、手話通訳希望する時の申請が分かりません。申請する時はメールで出来ますか？出来るなら助かります。(30代・身体)
- 私はある程度の情報収集は出来る方だと思いますが、体調が悪い時は、分かっても動くエネルギーがなかったり、少しのことで疲れてしまったりと出来ることが限られていた時期もありました。市の窓口の方が、事情や心情を汲みとりながら、情報提供や支援をして下さったことで、体調も少しずつ安定し、生活課題はありながらも少しずつ前へ進めているように感じます。地元に行ったら世間体や親族間の無理解などから、サービスを利用すること自体もできなかったと思います。ありがとうございます。コロナ禍、まだまだ潜在的に支援につながらず、苦しんでいる人が沢山いるのではないかと心配です。(30代・精神)
- ルビが多すぎる！(50代・精神)
- こうした取り組みがあること、素晴らしいです！私自身は日常生活で困りごとはなく、特段要望まではありません。しかし、何か訴えたい方は、なかなか様々な理由で難しいことが多いと思うので、こういったアウトリーチ型はとてもいいと思います。誰もが住みやすい街になりますように…。改善された点などは、ぜひ積極的に発信していただきたいです！！ありがとうございました。(30代・身体)
- 障害者による親の介護で情報がほしいのと、介護をしている障害者の方々と話しをする場があればいいなと思う。私は精神障害なので怖かったり段取りが上手くなかったりと不安を感じている。介護で戸惑う事が多い。母のケアマネさんに助けられてるが、障害者同志で介護について話しをしたいし伺いたい。(50代・精神)
- 生活環境の改善等をお願いすることができる窓口があるとありがたいです(民法上のトラブルや隣家との音問題トラブル等)。生活というより病状悪化にもつながり死活問題に発展中。引越しも視野に入れたり、弁護士をお願いすることも検討中。成年後見制度に頼る前に、自己判断的に解決したいと考えています。市にそういう相談窓口があるかも、現在分かりません。WEBを見ている程度で申し訳ないのですが、少々情報に行きつかず困っています。(50代・精神)
- 障がい者手帳を持つ事で、病院関係以外で今までメリットは感じませんでした。今回介護保険で要介護の認定を受けました。その時ケアマネさんや、民生委員、市役

所の方、訪問看護ステーションの方等に大変お世話になり、相談に応じてくれました。認定を受ける以前でこの様な対応は感じませんでした。障がい者への情報が少なく何をして良いのか分かりませんでした。もっと相談できるシステムを作ってください。情報をおしえて下さい。直接知らせて下さい。(50代・身体)

- 今までは、市は相談を受けた時のみしっかりと対応すればそれで良かったと思うが、これからは、市の方から発信したり働きかける等、「受け身」ではなく能動的に関わってほしい。市の事情もあると思うが、障害者にとって本当に良い接し方（サポート）はどうすれば良いのかを真剣に考えて行動につなげてほしいです。情報も、自分から取りに行けず困っている障害者、その家族も少なくない。障害者も明るく希望を持って過ごせるよう、寄り添ってほしい。三鷹市なら必ずできると信じている。(50代・無回答)
- 都区内と比べると、三鷹市の障害者支援は充実しているとは言い難いと思います。情報もどのように集めればいいのか分かりません。(40代・精神)
- 障害者専用のコロナ対策窓口を作してほしいです。感染した時に全て自分で情報収集からしなくてはならず、大変でした。(50代・身体)
- 視覚障がいのため、何が送られてきたか分からない。その連絡が欲しい。(50代・身体)
- 障がい者のためのしおりを障害別に作してほしい。盲人用信号機（音響式）を増やしてほしい。(40代・身体)
- 自立支援制度のあることを知りませんでした。通院先で教えてもらいました。広報に配されていたのかもしれませんが。気付く、伝わるような情報掲示、提示をお願いします。市役所支所でも手続きできると有難いです。井の頭の市役所の交通の便が悪く、又今後コミュニティバスも市役所まで（三鷹台から）行かないとのことで困っています。(50代・精神)
- 「みたかバリアフリーガイド～おでかけ情報」十数年経ちますが、未だに他課への浸透が薄い気がします。また、一般の方の認知度も低いようです。我々障がい者が利用できる情報源のひとつなので、より充実させて頂く様よろしくをお願いします。(40代・身体)
- 市のホームページを分かりやすく書いて欲しい。(20代・知的)

② 就労の促進に関するもの

- 一般人の精神障がい者のお金の不安しかない。家を追い出される可能性がある。仕事が少ない。金にならない。探すの大変。働く場所が全くないと言いたいくらい。年取ったら誰も面倒見てくれない。世間の態度きつい。(40代・無回答)
- 年金が下がって物価が上がり就職も難しいとなると生活ができません。おまけにコロナにも感染して入院となり就職活動も厳しくなりました。私は福祉サービスを利用すると多額の利用料がかかり全額の工賃を持っていかれ働いている意味が

A 障がい者調査

分かりません。就労支援センターに行っても、通っている人の大半が無料なのに多額の利用料がかかるため通所は断念せざるを得ませんでした。本人の年収で通所料を考慮していただけないでしょうか。(50代・精神)

- 国、都、市がもっと、障害者枠の雇用を増やすべきだと思う。こういうアンケートを作っている時間があるのなら、就職を助け、障害者にお金を渡し、自立した生活が送れるようにすればいいのと思う。”働きたいけど働けない”という障害者は沢山いると思う。一般企業には、障害者を一定数、雇えとっておいて、国、都、市の雇用人数が少ないのはおかしい。もっと本腰を入れて、活動すべきだと思う。(40代・精神)
- 障害者の賃金を、引き上げてほしい。(50代・精神)
- 良い精神科や心療内科を増やしてください。資格がなくても働ける場所を作ってください。(40代・精神)
- 有給休暇もなく週5日休まず作業所で働いても工賃は安く、書類上は「無職」と書かれてしまうことがとても悲しいです。コロナ禍で余暇活動の場もなく、ストレス発散できずイライラすることが増えました。障がい者施設への入所は優先順位があると聞き、将来的に(何歳になったら)入所させてもらえるのか?とても不安です。(20代・知的, 精神)
- 就労移行の利用期間を2年上限から伸ばしてほしい。年金の支給要件で、精神障害3級だと厚生年金のみなのを、国民年金もありにしてほしい。3級だからといって仕事ができるとは限らない。(生活ができるのかの判定でしかない)ので。現状収入は年金を除くと月7,000円しかない。(30代・精神)
- いわゆる就職氷河期世代で、かつ正規雇用で働くことのできない障がい者への就労支援が全国的に非常に手薄いと感じています。また非正規雇用であったとしても、生活に心配を持たずに日常を暮らしていけるだけの収入が確保することができれば良いのですが、常にそのような心配と隣り合わせで生きていかなければならないのは非常に負担が大きいです。税についても、障害者控除があるとは言え、元々の所得が少ないところから更に徴収され、そこにここ最近のウクライナ侵攻に端を発するインフレーションによる生活支出の増加が生活に更なる圧迫をかけているので、低所得の非正規雇用の障がい者に対するあらゆる税の軽減を求めます。(40代・精神)
- 重度訪問介護制度を働くときも使えるようにすること。(50代・精神)
- 知人が現在、作業所勤務で時給が少なく困っています。障害持ちですが能力やコミュニケーションに問題の無い方です。色々理由はあると思いますが作業所の給料水準を上げてもらえるとやりがいがあると思います。(50代・身体, 精神)
- 働いても給料が上らず、物価は値上げ可処分所得が追い詰められている。障害の為、給料があがる仕事が出来ない。住民税非課税世帯や障害者年金のハードルを下げるべき。(50代・精神)

③ 地域移行に関するもの

- 重度の人でも地域（自宅）で暮らせるようなシステムを整えて欲しい。現状精神の手帳だけでは使いたいサービスがない。ショートステイ、病院のデイケアさえも断られ、親の負担が大きすぎる。自閉症の人はグループホームなど他の人がいるところでは、なじまないことが多く、自宅で親亡き後も、いろいろなサービスを受けながら安心して過ごせるような環境を整えてあげたい。（20代・精神）
- 三鷹市障がい者支援課の職員（あるいは三鷹市の職員すべて）に人権意識に欠けるところがあるように感じるので、職員に対する人権教育を充実させて欲しい。「働いていない」と回答した方にお聞きします。仕事に就くことを希望していますか。」という質問があったが、障がいが高くてもそもそも就労などまったく不可能であり、就労を希望しているのか希望していないのかを考えることすらできないような状態の者が、自分の思いを表すに足る選択肢がなく、便宜上「就労は希望していない」を選んだが、釈然としない気持ちが残っている。9年前の調査の際に指摘・問題提起したことについて、十分に反映・改善されていない。「今後、どのような暮らしをしたいですか。」という設問があり、9年前のほとんどの回答は「家族と一緒に暮らしたい」であったが、「一緒に暮らす」ことを望まれている家族の側は、当該障がい者と「一緒に暮らす」ことを望んでいるのか、当該障がい者と「一緒に暮らす」ことで負担が生じていないのか、まで調べなくては意味がない。当該障がい者と「一緒に暮らす」ことで負担が生じるとして、その負担を家族が引き受けることは適切でない。さらに、当該障がい者から「一緒に暮らす」ことを望まれている家族の側も「一緒に暮らす」ことを望んでいたとしても、果たして、極端に言ってしまうと当該障がい者が死ぬ時まで、その「一緒に暮らす」ことは持続可能であるのかも把握する必要がある。特に、「一緒に暮らす」ことを望まれている「家族」が「親」である場合は、ほぼ確実に当該障がい者より先に衰え死んでいく訳であり、障がい者本人が望んでいるのをいいことに「家族と一緒に暮らす」状態を放置し、「家族」の病気や怪我、死などによって突然に「家族と一緒に暮らす」ことができなくなってから対処するのでは混乱が生じるので、障がい者本人の希望の必ずしも沿わなかったとしても、あらかじめ持続可能な生活に障がい者を移行させていくよう支援を行うべきである。（40代・精神）

④ 障がい児支援に関するもの

- 三鷹市内市立中学校での教員、生徒からのいじめが原因となり発症しました。いじめの報告は何度もしています。なかったことにせず、過ぎたことにせず、しっかりと向き合って下さい。（20代・精神）
- 個人的な事で、小・中学校などで通常学級と特別支援学級との交流をやってほしい。もう1つ、何年か前にいろいろ相談に行った時、市役所の人への対応が悪かった。す

A 障がい者調査

ごくショックだった。このような事は、無くしてほしい。福祉課の人だった。(50代・無回答)

- スポーツクラブについてのクレームとなります。子どもが私立小学校に通っているという理由で入団を断られました。スポーツクラブは「地域の健全育成活動」を標榜されていらっしゃると思いますが、対象が学校児童のみが対象であるのは私立学校に通う児童との分断を助長するものであり、非常に排他的であると言えます。ましてや同クラブは三鷹市の施設(小学校)を優遇を受けて使用しているかと思えますので、そういった側面からも三鷹市民全員に開かれたクラブとなる事を期待いたします。運営が学校に通う児童の父母によって行われている事は理解しておりますが、娘が加入した際には当然できる活動(運営)をする意向でしたので、そういう意味でも三鷹市在住の公立学校通学者の父母と私立学校通学者の父母の交流を絶つものであり、地域社会の活動としてあるべき姿から乖離しているのではとの疑念があります。是非、市の立場としてご指導いただ来ますことを強く願います。(50代・身体)

⑤ 地域での生活のしやすさに関するもの

- 自分達が卒業したころは、作業所を選べる状況にありましたが、現在後は話をきいていると、市内で行かれる作業所が少ないとのこと。特に生活介護を希望する方々が多く、もう少し施設を増やして下さるとありがたいです。学童期よりも、その先の方がずっと長いです。ご苦労とは思いますが、よろしく願いいたします。(30代・知的)
- 高校卒後の、余暇活動の場やサービスが欲しいです。現在は放課後等デイサービスで、日中活動後や休日の余暇活動を楽しんでいますが、18歳以降そのような場が無くなります。日中一時支援などの作業所以外で息抜きできる場を望みます。(20歳未満・知的)
- 三鷹市は福祉が良いと思ってたが良くないと思う。もっと色々な面で福祉を良くしてほしい。本当に生きるのに困っている。(50代・身体)
- 夫婦2人世帯で障害者年金と年金繰上げ受給を受け生活しており、生活苦の理由で繰上げ受給したのに非課税世帯から外され余計生活が悪化し、都営住宅を希望し相談に行ったこともありましたが、持家(都外に所有、リフォームなしでは住めない、するお金もない)がある為に対象外でした。年金のほとんどが家賃に消え引越するにも礼金、敷金のお金もない、生活保護も受けられない、妻も持病があり働けない、市営でも都営でもこういう人に提供できる住宅はないのでしょうか？生活保護の方が恵まれている様に思えますが…？(60代・身体)
- 家族がいないと一人暮らしが難しいこと。(40代・精神)
- 物価上昇を考慮して、賃金や生活費の援助をお願いいたします。給付金など。貸し付けなど。お金がないと、行動したくても動けません。家電製品の故障修理代金

など急な出費で、すぐ生活費がなくなります。テレビも故障したまま、2年間修理買換えできず見ていません。移動手段の自転車も購入できません。食費も月末は不足します。振込手数料の増加など。ゆうちょ銀行、引き出しや預け入れ手数料の増加。(50代・精神)

- 障害者に考慮し、公共機関などでのハード面での進化を感じています。ありがとうございます。重度の知的障害者である娘が、近頃、身体的にも不安を抱え、通院が増えています。医師会館や保健所などでも障害者の歯科や相談窓口などあればいいなとも思います。親が高齢になっても、介助して通える通院先が増えてほしいと思います。(30代・身体, 知的)
- 道が狭く危険な箇所がよく見られます。三鷹市民は自転車もよく使うので(どこでもそうですが)道路の改善をお願いしたいです。(30代・精神)
- 精神障害になってもうすぐ1年半です。傷病手当がもうすぐ切れます。すると生活できません。長時間働くこともできないため、どうすればいいか分かりません。家族に養ってもらわず自立したいのですが難しいです。どうすればいいのでしょうか…?(無回答・精神)
- もっと、生活保護費を多くしてほしい。(50代・精神)
- 日々、三鷹市民が安心して暮らせる環境を作って下さりありがとうございます。より良い生活ができる様にバスの本数を増やす等、改善していただけたら幸いです。宜しく願いいたします。(30代・精神)
- ケアホームは他市にあり、平日預かってもらっている。金曜日の夕方に迎えに行き、日曜日に送っている。ケアホームは三鷹市役所の紹介だが、遠いので、送り迎えが大変。私も若くないので。なぜ地元で照会していただけないのか。(60代・知的)
- 三鷹市民が利用できるスポーツジムがあるといいです。三鷹産業プラザ内に出来ると嬉しいです。(50代・精神)
- 富裕層のみ重点におく対策ではなく、真の意味で、人にやさしい街を。福祉対策、社会保障を。自公与党ばかり忖度しないで、人民の生活の実態を見よ。(50代・身体, 精神)
- 精神障害者への福祉サービスの充実をお願いします。(60代・精神)
- 20代の知的、精神障害の子供の母です。学校を卒業し(就労B型)でお世話になっています。平日は作業所にて働いていますが、土、日、祝日の過ごし方で持て余しています。障害者の方の余暇活動の場があると助かります。学校の部活動のようなもの、体を動かしたり、ダンス、物づくり、パソコン、太鼓などできる場所をぜひ作ってほしいです。(20代・知的, 精神)
- 愛の手帳が大きすぎて、バス乗車時の障害者割引を受ける際に扱いにくい。中の写真のところを見せるよう要求されるが、それがとても大変なので、もっと簡単にできるように配慮してほしい。エスカレーターで左側一列に並ぶ習慣が、こわい。右手しか使えないので、右側につかまって立っていると、後ろから押されたり、どけと言われたりして、本当にあぶないので、もっと、しっかりと、右側に立っても

A 障がい者調査

良いと一般に知らせてほしい。歩くのもゆっくりなのに、自転車にいらいらされたりあぶないことがよくある。歩道の安全を確保してほしい。三鷹市は障害者の施設が、市のはずれにあたり、数が少なかったり、多様性があまりなく、自分にあつたものがないなどと感じる。障害の多様性をきちんと理解して、それぞれにあつた支援をしてほしい。こういう決まりなので、などと言われても、本人にあつた支援をしていない言い訳にしか聞こえず、温かみを感じられない。→どうせだめかなとあきらめてしまうことが多い。1人ひとりきちんとみて対応してほしいし、また支援が分かりにくい。アンケートは、どれくらい福祉に反映されるのか、形だけのアンケートで終わらないようにしていただきたい。(30代・身体,知的)

- 金銭的支援を、もっと充実してほしい。今、厚生年金だが、この原因になった時は、国民年金だったから、少ない額しか、もらえない。(無回答・身体,難病)
- 社会人まで、一定の期間や、条件で通級に通所出来るシステムを作って欲しいです。公費で発音の練習を社会人まで出来るように拡大して欲しいです(構音、吃音があるので)。アレルギーの人も、医療費助成(社会人まで)を作って頂きたいです(私は、咳、気管支、鼻、粘膜、皮膚のアレルギーなので)。障がい者年金は、16歳(高1~)が良いです。(20歳未満・知的,精神)
- 電車 JR が、100km 以上でないと、一人乗車が、半額にならない!昔の法を、変えて欲しい。(無回答・無回答)
- 夫婦ともに高齢者になり、今のところ、不安は少ないが、やはり先の事は色々不安は出て来ると思う。(60代・身体)
- ありがちなじめをなくしてほしい。(50代・精神)
- いつもありがとうございます。障害者の福祉施設や病院が西武線沿線に集中していて通院や緊急引き取りの時は大変です。また、グループホームにも常駐看護師を配置してほしいです(園への請願でしょうけど)。病気になると親が呼び出されて、およその病名の検討をつけて、どの病院の何科に連れて行くか判断せねばなりません。水分量、食事摂取量、服薬の種類と服薬時間、睡眠時間を毎日記録して、月ごとのサマリーを作り、医師に見せて相談しています。言語を獲得できなかった障害者の親にもアンケートして聞いて下さい。(20代・知的,精神)
- 他市の様に、市のグループホームに入れる様にしたいです。三鷹市では、一時金が高額だと聞いています。誰でもが入れるような仕組みにしたいと思います。(20代・身体,知的)
- 道路が狭い。(40代・身体,難病)
- 三鷹市の元気創造プラザに障害者用のプールの更衣室がない為入れず困っています。障害者用更衣室の設置を要望します。又は(男性用更衣室で)介護していただける方がいれば安心なのですが。(30代・身体,知的)
- 知的障害者のため、理解できる質問があまりありません。家族の意見になってしまいました。家族がいなくなった時、どう暮らしていけばよいのでしょうか。本人から申し出ることはできないでしょう。それが心配です。(30代・知的)

- 怒りのコントロールがうまく出来ず、理性的になれない時も、察して欲しいです。
(40代・精神)
- 生活が苦しい。(50代・身体)
- 三鷹市の障がい者支援課のサービスは素晴らしいと思います。いつもお世話になっております。三鷹市役所でもヘルプマーク(都が出しているもの)を配ったらいいと思います。以前ヘルプカード(三鷹市の出しているもの)を身に付けていたら、人が何のカードか分からないみたいでした。(無回答・精神)
- 普段他の障がいを持つ人と接する場がないので、自分も障がいを持つまではその存在(特に精神、知的)に気づくことがなかった。そうした人々が透明化されないような、社会の一員であると気づけるような機会について考えてほしい。(20代・精神)
- 山中通りなど、交通量が多い道路にも関わらず、歩道がない道があります(道路の南側)。井口八幡入口のバス停で降りた後、歩くのに大変苦労します。新しい家が建築される場合、歩道を確保した上で、建ててほしいです。(60代・身体)
- 生活保護を受けています。冬の暖房のお金は出るのに夏の冷房のお金が、出ません。冷房のお金も出してほしいです。(30代・精神)
- 自立支援医療証の申請についてWeb、郵送で完結できるようにしてほしい。できれば紙でなくカードタイプになると持ち運びが楽になる。紙で金額の管理をするやり方も変えてほしい。窓口から見る限り、福祉部門の方々のスペースが密なので、勤務環境を改善してほしい。彼等の働きやすさも大事だと思う。いつもありがとうございます。(30代・精神)
- 三鷹市は緑が少ないと思うので、緑の多い環境作りと障がい者も行ける公園を作ってほしいです。(60代・身体)
- 中・重度の知的障がいのある人が利用できるグループホーム増設のために、市有地提供を検討していただきたい。又、これらの人は障がい年金が主な収入であるため、グループホームの家賃助成についても是非検討をお願い致します。(40代・身体、知的)
- 障害者、健常者といっても、All or Nothingではない。一つ一つの個性があり時に、どちらの方が正せる事もあると思う。又、先天性の方は、後付障害者、障害者という認識を刷り込ませている。そんな事がない、一つ一つの個性が充実した三鷹市にしてほしい。(50代・精神、難病)
- 私は耳が聞こえませんがマークの小さいシールが欲しいです。病院に許可を取った上で、診察券に貼りたいです。(30代・身体)
- 年金だけで暮らしていける様にして下さい。(60代・精神)
- 病院等の付添いをヘルパーさんができるようにしてほしい。現在は高額な費用がかかるため(9/19現在、1時間3,800円)。(60代・身体)
- 体調により外出できない時の日用品・食料品の買い物に困った時がありました(家族が不在やコロナ待機で)。ネットでの買い物が出来ればと思いました。スーパー

A 障がい者調査

のネット販売は登録があったり、申込み時間があったりで利用できず、困りました。スーパーやコンビニ、ドラッグストアなどをもっと気軽に利用できる制度があれば良いのにと考えた事がありました。(60代・難病)

- 羽沢小の移転案に大反対です。老朽化や野川の氾濫が理由ならば、現在の場所にさまざまな水害に対応でき、水害に強い構造の校舎に造り変えれば良いと思います。コストの問題なら、天文台の北側に移転した場合も費用は莫大なものになるとの事なので、それだけの費用があるのなら、水害に強い校舎にすれば良いだけの話だと思います。学校が残れば、羽沢小の学区に住んでいる小学生は慣れ親しんだ通学路を通して学校に安全に通う事ができます。そして私たちも羽沢小を避難所として使う事も可能になります。羽沢小が移転したら私たちはいったいどこに避難すれば良いのですか？そもそも大沢に住んで30年近くになりますが、野川が氾濫したのを見た事はありません。そうならないために長谷川病院の前に調整池を造ったのではないのですか？だからと言ってこの先野川がそうならないとは限りませんが、だからこそ、その時のために強い校舎を造ってください。又移転先になっている天文台北側の草木は保存しなくて良いのですか？今どんどん緑が失われていく中、せめて三鷹の天文台だけは緑を失って欲しくありません。お隣の調布市が調布駅南口の地下にラグビーワールドカップのために駐輪場を建設する理由で、子ども達が遊んでいた公園と周りにたくさんあって木陰を作ってくれていた木々を、市民の反対を押し切って伐採した後、結局駐輪場の建設はできず、公園と周りの木々は無駄死になくなった経緯がありました。こういう間違いを三鷹市には絶対にして欲しくありません。どうか私たちの血税を市民が納得し、笑顔になれるように使ってください。宜しくお願いします。(60代・手帳を所持していない)
- 施設を増やしてほしい。(30代・知的)
- 歩道がせまい。自転車は車道を通してほしい。(60代・身体)
- 人の許可なく書面の裏を見た。親友が急いでいた時にさっと貸した紙で、見られなくなかった。許可なく見た。そして、一笑に付した。そして、施設長に言うからなという職員室に逃げていき、ドアをぴしゃりと閉めた。第三者委員会があったらお願いしたい。パートの代わりなんかいくらでもいる。滞在型でアパート型のグループホームをもう少し増やしてほしい。では如何でしょうか？もう少し投資してほしい。PS1、生保の方々に適してないと思われる人が周りだけでも何人かいる。福祉のケースワーカーの方々に個々の生活をチェック今一度お願いしたい。その浮いたお金を、グループホームに注いでほしい。送別、受入れの問題。(40代・精神)
- 前のページの続きになりますが、課税対象であっても、ずっと病院で薬を飲んでいかなければいけなく、薬もなるべく安いのにしてもらっていても、自立支援での限度額が高いと、3箇月に1度病院に行くだけで、薬や受診代で20,000円は必要となり負担が大きいです。医療費についての負担をもう少し減らしてほしいです。体を動かしたいのですが、体力がすぐなくなり、他の人との交流しながらやりたくても、

迷惑をかけてしまいそうで踏み出せません。そういうのができるところがあるかもよく分からないので、三鷹の広報紙にもっと分かりやすく載せてほしいです。また、カルチャーとか行きたいのですが、仕事で行けない日時が多い為、もっと日時を増やしてほしいと思います。(30代・身体)

- 私は去年がんになり、緊急入院、緊急手術になりその間、認知症の父親(88歳)を預かってくれる特養もショートステイもありませんでした。せめて緊急の時だけでも、父親をあずかってくれる場所があるとありがたいのですが…。どうしたらよいのでしょうか？私は病院での検査などで、すぐに働くことが出来ません！！本当に困っている家族…他にも沢山いらっしやると思います。息子2人働いて家もある母親が、特養に入れたり、何年もずっと入っている！ご主人の年金が沢山あるのに、家を売ってお金があるのに特養に入っているおばあさん！！不公平だと思えます！！(60代・身体)
- 現在は障害により、日常生活に困難を来たすことなく暮らしていますが、自身家族共に高齢者となる日が近づいてきて、いつ、どんな新たな障害を持つか分からないという不安は常にあります。それを想定して要望を選ばせて頂きました。障害を持ち、また介助介護が必要となった時、家族親族のみで負担することは時代錯誤とさえ思えます。公的支援サービス、時には民間との連携を充実させて”外注福祉”により、本人家族共に心身健康であってほしいと思います。(60代・精神)
- 私が通わせてもらっているB型就労支援の作業所は、とても良いところなのですが、こういった作業所も格差があって、他の作業所はそこまで良くないとききます。他の作業所も良い作業所であればなあと望みます！(50代・精神)
- 本人は50歳すぎ、私は80代、将来のことが心配です。今法人の重度のグループホームに入り、将来に備えています。親亡き後本人が60歳以上になってからどうなるのか、どう備えればいいのか心配です。今現在は福祉に関わる人手不足で施設も厳しい努力をされています。安定して福祉の現場で働く人のバンクを作っていただきたいです。障害者の為の歯科医院がほしいです。(理解、協力していただける都からの指定医院)。現在我が家では都のセンターに、飯田橋まで、80を過ぎた親が車で通院しています。三鷹にも指定医をお願いします。(50代・知的)
- 三鷹市に住んでいます。私は、発達障害と睡眠障害があります。身体障害に比べて障害が目に見えにくく、軽く思われがちですが、私が所属している患者会では、すでに2名の自殺者が出ています。平成30年度の障害者雇用実態調査(厚生労働省)にある通り、身体障害者の平均賃金21万5千円に対して、精神障害者12万5千円。発達障害者12万7千円。精神・発達障害者への支援が遅れています。早急に対応していただきたいと思えます。全く働けないわけではないので、生活保護を受けるまでではないと思っています。できれば、「居宅介護」で家事を手伝っていただければ食費などの削減ができますし、その分の時間を自営業の仕事時間に充てることができます(仕事量を増やすことができます)。また、「グループホーム」に入居させてもらえると、家賃の支出が減るので、大変助かります。身体の障害はな

A 障がい者調査

く、具体的にできない日常動作はありませんが、食事の支度や掃除、洗濯にすごく時間がかかりすごく疲れます。事実上、食事はコンビニ弁当やおそうざい、宅配、掃除はしない、洗濯はコインランドリーの利用となっています。日常動作ができるかできないかの基準では測定できないので、身体障害者の基準ではなく、精神・発達障害者の抱える困難さを考慮に入れてサービスを利用できるようにしていただきたいと思います。(50代・精神)

- 家賃が高い。精神障害者にとってタバコは命綱だ。(40代・精神)
- 訪問看護の方に大変お世話になっているので、今後市としても、そうしたサービスの拡充に努めてほしい。(40代・精神)
- 大規模な施設を建てるよりも、人やソフトにお金を掛ける方が全体の活性化になると思う。(50代・精神)
- 三鷹市は、今まで暮らしていた地域に比べて、かなり手厚く支援してくれていると思います。障害者が暮らしやすいと思います。ありがとうございます。(30代・精神)
- 三鷹病院付近の道路がせまく、歩道の拡張を希望します。自転車、車いすが道路を通らなくてはならない状況です。(30代・精神)
- 両親と精神障害者(34歳)との暮らしです。2人とも70代前半、後半なのでもし万が一同時に両親が一度に他界するようなことになったら、瞬間から何をどうしたらよいか分からず、途方にくれると思います。その為の準備は個人でも勿論やらなければと思いますが、1つの窓口を訪ねれば相談でき、具体的に援助してくれる所があればと常日頃思っています。普通の人でも大変な手続きを障害者には無理です。是非安心できる仕組みをお考え頂きたいと思います。(30代・精神)
- バリアフリーの喫煙所を、1つでも多く作っていただきたいです。立川まんがぱーくのような施設を作っていただきたいです。(50代・身体)
- 障害者施設、どこも古くて薄暗くダサい。ファッションアートが好きなので、余計に気になる。利用したくないなと思ってしまう。住み、市中心部からは遠く、周りに施設も専門の病院もない。疎外されてるなあとと思う。結局通院は市外、市へ頼る気にもならない。市の心理士についてもらっていたが、私が良い状態であると判断したため、1年以上連絡をよこさない。こういうところも頼る気が失せるポイント。(40代・精神)
- 私が三鷹で受けた障害者差別、施設内虐待について初めてお伝えしました。今でもトラウマに苦しんでおり、しかしながら施設長による虐待のあったは、私の家の近所で、もうずっと恐怖で近くを歩けません。どうして一市民である私が、ある法人を恐れてビクビクしながら過ごさなければいけないのでしょうか。市から私への連絡を頂ける場合、下記書面にてよろしくお願ひします。(40代・精神)
- 姉と2人の生活で、姉は自分で気がつかず病院も行かないが、障害があるのに認めないで、私をわりとイビッてばかりいる。姉が体調をくずし会社を辞めたころ、30歳前、私が作業所に通っており、会社の同僚が私を見て「●●さんの妹さんが障害

者の作業所で働いている。」と言われるらしく、何かあるたびに最近は何所の人にも聞こえるぐらいの声で、私を精神障害者の妹！と叫んだり、姉が暴れたりする。時に暴力的になる。(50代・精神)

- 近隣の練馬区、武蔵野市、小金井市、府中市に比べ、地域の自然環境と生物の調査・保全・普及啓発が行われていないことは、転入してとても惜しく感じていることです。耕作地が比較的良く残っているので、これ以上集合住宅に土地利用を転換されないよう行政施策をとってほしいです。公園（児童公園のような小規模のものこそ特に）の植栽環境デザインに市民参加をできるようにしたほうがよいと思います。(30代・精神)
- 知的障害、こだわりが強い自閉症など障がいがある人が気がるに行ける診療所みたいな所を作ってほしい。(20代・知的)
- 北野ハピネスセンターにおいて、医ケアを受けている障害者も含めたショートステイ、緊急一時預りのサービス希望します。災害時の避難場所について、障害者が利用出来る施設を確保してほしいです。(40代・身体, 知的)
- 双極性障害なのですが、おなかの調子が悪く、精神科は受給者証で安く受診できていますが、胃腸科の方は負担が多く辛いです。うまく組み合わせた受給者証ができると良いと思います。(40代・精神)
- 国民年金が安いから上げてほしい！(60代・精神)
- 障害者に対する行事を調布市、府中市並みに増やして欲しい。(30代・知的)
- 障がいのある方のライフステージに合った支援が必要であると感じてきました。親が高齢になってくると、自分の事だけで精一杯になってきてしまうので、それまでに自分の障害ある子の行く末をちゃんと決めるなり、道筋をつけておかないと大変な事になると感じています。行政のお力を借りながら、当事者もその家族も問題提起して行きながら、解決策を見つけ出して、未来につなげて行ける事を願います。(30代・身体, 知的)
- 精神科以外の医療費に負担が多いので、なんとか医療費が安くないかと思えます。(40代・精神)
- 目も片目が見えなく、足も片足指先がなく、車イスで透析に行き、もう少し金銭的に支えが欲しいです。(50代・身体)
- 障害者への偏見差別を無くして欲しい。(20歳未満・精神)
- 心療内科の往診。自宅以外では生活出来ない状態なので、将来に向けて不安。(50代・精神)
- ITの活用が、障害者にとっての新たな障壁にならないよう、留意しながら施策を進めていっていただきたい。(50代・身体)
- 電話できないため、メールやりとり等多いため1日の電気代が高いです。せめて一部負担にしていただけると幸いです。(50代・身体)
- 最近、足が痛くてお医者さんに行ったら、レントゲンを撮られて6,000円ぐらい掛かりました。半額を母に負担してもらおう事になってしまいました。自分のお給料か

A 障がい者調査

ら全額を負担するのは難しかったです。医療費の負担割合を下げてください。

(20代・知的)

- 私は難病から両下肢に軽度の障害が残り、今は職場の仲間に助けいただき仕事を続けております。退職した後のことを考えると、三鷹市は東京都の他所と比べて特定疾患手当が少なすぎると思います。1/2もしくは1/3ほどです。収入がなくなったら治療を続け、暮らしていくには不安な金額です。(50代・身体)
- 自分の健康状態が心配でしかたがありません。医療費がかかりすぎて困っています。1人でいると不安になり、どうしていいのかわからなくなります。誰かサポートしてくれる人がいると助かります。もっとサービスを充実してほしいです。(40代・精神)
- 三鷹市は元気創造プラザがあっていいと思います。障害者の方も利用して体力アップできるといいですね。(50代・精神)
- お願いします。私は苦しくて明日のことを考えるのに必死です。どうか金銭的、医療的にも若い人のことを考えて下さい。少子高齢化が進むのは、若い人達の金銭的余裕がなく、このご時世子どもを産み、育てるのが出来ないのです。この先のことを考えるのであれば、子育て支援などをもっと手厚くし、若い人達に”大丈夫”と思わせることと、私は考えます。この市民の”一市民”の声をなかったことにされない事を願います。(20代・手帳を所持していない)
- 障害とは関係ない事項かもしれませんが、三鷹駅から自宅にかけての歩道が狭く、バスの通り道でもある為、危ないように感じます。可能であれば、公共の道路や施設も含め、見直しを頂けないでしょうか。よろしく申し上げます。(30代・精神)
- 重度障がい者の将来の受け皿(グループホーム)をしっかり作ってほしい。(30代・知的)
- 重度の障害があると、在宅介護は周りの人の負担が多いので、三鷹に高額のところではなくて受入れてくれる施設があると安心できます。(50代・身体)
- 病院に入院した時に、ヘルパーさんが夜間に必要だと思った。(40代・身体)
- 障害者手当を復活させて欲しい。(50代・精神)
- 都で配布されているヘルプマークを、三鷹市の障がい者支援課で配布して下さい。三鷹市でできることではないとは思いますが、担当ナース、看護師とかがいて、気軽に相談できるといいなと思います。治験をやっていてコーディネーターさんがついていて、医師以外にも病状を知ってアドバイスをもらえると非常に助かりました。(50代・難病)
- 障害がありながら子を出産したが、子を持つ障害者に対する特別な支援が全くない。保育所に預けたくても優遇措置がないため、自宅近隣の許可保育園に子どもを預けることが出来なかった(R3年度)。そもそも国や都としてそういった支援が設けられていないことがあると思うが、三鷹市におかれては、当方のようなニーズを汲み取って、制度化や国や都への要望活動に努めていただきたい。(40代・身体)
- 親が高齢のため、グループホームに入所希望しています。(60代・知的)

- 駐車禁止除外標章は、自転車専用通路の増加に伴い、駐車できる道が減っている。下肢障害のドライバーにはもう少し使用できる範囲を広くしてほしい。(優先的に駐車可としてほしい。) 障害者手帳該当かどうかすぐに確認出来る所が必要。障害者手帳受領時もう少し詳細に相談してほしい。特に福祉サービスはよく分からない。(60代・身体)
- 精神障害者の使える福祉サービスは少ないです。充実させてください。経済的に生きていくのは困難を抱えます。将来が不安です。私は年金ももらえていません。初診日が認められないのです。そういった方への金銭的なケアがほしいです。気軽に頼れる場所ありません。(30代・精神)
- 自閉症の28歳の息子と暮らしています。1人で外出はできず、週末は一緒に外出しています。移動支援を利用していますが、3箇月～6箇月に1度しか利用できません。トイレ等同性介助を希望していますが、男性ヘルパーが少ないと思います。私自身、訪問介護の事業所で働いていますが、ヘルパーの安定した収入が何より大事だと思います。(20代・知的)
- 安心して生活ができるよう、カウンセリングを増やしたり助成金を出して下さるとありがたいです。(20代・精神)
- 車イスで歩道から横断歩道に移動するとき、まだまだ段差のある交差点が多く、動きにくい。車イスで歩道を通行しているとき、自転車が猛スピードで走ってきて、危険で恐怖を感じる事がよくある。(吉祥寺通りが多い。)(50代・身体)
- 高飛車な医者が多いので、患者と対等に向き合ってくれる先生を教育してほしい。(60代・精神)
- 交通機関を使う歳、障害者だとないがしろにされる。(席を譲ってくれない、追い出されるなど)。障害者だと周りが信じてくれない。(手帳やヘルプカードを二セモノ扱いされる)。(30代・精神)
- 福祉用具の給付金が不十分の場合がある(他の自治体より低い)。ショートステイ、デイサービスなど65歳以上介護保険では多く利用できるのに、障がい者は利用できるサービスが大変少ない。(60代・身体)
- 市ではなく、企業?の方へ。障害があると外出する機会が減ります。ちょっと用足しにも出来なくなります。なのでちっちゃな事ですが、配達エリア等決めないで拡大して欲しいです。何丁目はOKで、何丁目はダメとか、道路1本違うが為に、配達エリア外で食事が取れない事があります。ちっちゃな事ですがお願いします。(50代・身体)
- 黄色のヘルプガードを使用していますが、三鷹市発行のヘルプカードは、バスや電車(井の頭、山手線、JR)には使用できません。首からぶらさげるのではなくて、赤色の<図>が付けているほうがいいです。このカードはもらえる人ともらえない人がいますがなぜですか。(50代・身体)

A 障がい者調査

- 緊急一時預かり支援が使いづらい。行事やレスパイトで利用されている方は、先に予約を取る事ができるが、急な緊急事態が発生した時にお願いしても、定員いっぱいだから預かってもらえない。(20代・身体, 知的)
- 匿名で福祉施設が利用できるようにしてほしい。医療分野ではプライバシーは守られているが、福祉分野においては、それがなされていないので、地元での制度利用ができない。本人の実情に合った通所パターンを認めてほしい。地元作業所を利用してなくても、作品の販売ができるようにしてほしい(住所が三鷹にあればOKとか。) 親亡き後の住居、日常相談支援付きでプライベートスペースのあるグループホーム、福祉住宅の整備をお願いしたい。(40代・精神)
- まだ両親ともに元気なので(子供は20代後半)一緒に暮らしたいが、あと10年後くらいにグループホームに入れればと思っている。親の元気なうちに見通しが持てた方が安心して過ごせるのではと思っている。漠然と思っているだけなのだが、体験談など伺う機会があれば参考にしたい。(20代・知的, 精神)
- 物価が上がっているのに、年金は減るし、生活保護で年末の一括企業年金44,700円を12ヶ月割で返済させられていますが、やめて欲しいです。生活が厳しすぎます。何とか返済免除して下さい。年金額も3回に分けて減額されて、生活が大変です。考慮下さいませ。(60代・精神)
- 環境整備(道路等)。(40代・知的)
- 三鷹台駅のバス停の傾斜に苦勞していますが、工事予定だと聞いて安心しました。三鷹台という土地柄、坂道が多いのは仕方がないのですが、平坦な道がガタガタだったり、左右の端に勾配があったりして苦勞しています。舗装されると助かります。管轄が違うかも知れないのですが、京王井の頭公園駅の吉祥寺行きホームと電車の間がととも広く開いていて、乗り降りに苦勞しています。以前、小学校低学年の子が駅に降りる際に目の前で落ちました。リュックを背負っていたので、間一髪助かりましたが、アゴを打って血が出ていました。とても恐いです。(50代・身体)
- 歩道が非常に狭い。人がすれちがうにもやっとなので、広く改善していただきたい。自転車利用者のマナーも良いとはいえず、度々の事故につながりそうな場面もあるので、交通整備を要望します。(30代・身体)
- 自転車のルールを明確化、実行して欲しい。(60代・身体)
- 障がい者ステッカーをください。車イスでないと、車を駐車しにくいです。酸素ボンベが残量が無くなると死んでしまうので。(60代・難病)
- 市営住宅がとんでもなく少ないのはひどいと思います。市民は資産家と勤労者ばかりで構成されてる訳じゃないでしょう。障害者が自力で住宅確保となるとハードルは高いのが現状で私もその1人です。未だに20世紀製造の給湯器を使っています。危ないです。(40代・精神)
- 精神の障害有。これを理由に家族を失う(離婚)。資力も底をつき生活保護になり、5年余り、住居は家族と暮らしていた不動産から10分と離れてなく、近隣の住民の冷ややかな視線に耐えながら日々を送っている。色々なアクションをしてきた

けれど、歳を重ねる毎に士気の低下、将来に希望が持たなくなってきた。物理的な事だけではなく、もっと個々の内面のソフト面に寄り添って欲しい。三鷹市の取り組みはそこが一番足りてない。生きていく希望を手助けしてほしい。自立して独りでもう一度人生を輝かせたいと思えど、力になってもらえるものがなければ人は朽ちていく。コロナ禍で熱が出たり、病院へ1人で行けない、買い物へ行けない時、誰にも助けてもらえない。反対に支援なさっている方も、今の状況では対応したくても様々な縛りから出来ないやりきれなさを感じる。このアンケートも精神疾患者は回答しても意味があると思えない。そもそも偏見から無くさねば福祉サービスの充実は難しい。(50代・精神)

- 今回のアンケート内容が誰を対象としてるのか不明で答えにくい。私は障害者ではないので、本当の事は分からない。市が障害者の困り事に対応したいと思っているか疑問に思う。例えばバス。障害の方が利用しても、運転手は配慮が悪いし乱暴な運転を平気です。→市は対応しないのか。例えば、東八道路のファーストフード店の前の歩道。混雑時歩道いっぱい自転車放置されても、市、都、警察、もちろん店も何も対応しない。車イス、自転車、歩行者も通れない。→誰が改善させるのか。例えば認定証の更新。→何で市役所まで大変な思いをして行く必要があるのか。市はホームページを見ろと言うが、なら更新もホームページで行える様にすれば良い。例えば、医師会館。とってもありがたいが、薬をもらう場所は何であんなに不便なところになるのか。どうやって行くのか考えた事あるか。バスも通っていない。歩きは20分位掛かる。なぜ会館のとなりに作らない。雨の日、子供をだっこして行く事を想像してほしい。→古い体制のまま。例えば大沢には何も無い。スーパーもない。大きな病院もない。障害者は不便で遠いところまで行かなくてはならない。バスも少ない。その他にも数多く障害者に対して市は何を行っているのだろうか不明。疑問。不親切に感じる。窓口のご担当者も説明が不親切で、私が2通の管理票を持たされている。都から書類を送って来ると説明されたが、一向に送って来ない。毎日同じ説明で大変かもしれないが、私達は初めて窓口に行くので知らない事が多いので、もっとこっち側の立場で説明して欲しいし、1回で終わる対応にして欲しい。平日に何度も市役所に行けない(休めない。)良い障害対応になっている市になればいい。市への意見が言える場所ってあるのか。議員に言っても何も対応しないしどうなったか返事もない。(50代・精神)
- 重度ではない為、なんとか家族とともに自立した生活を今はできているが、障がい軽度であると普通と一緒になっていまい、努力をし続けないと今の生活を維持がとても難しい。軽度の人でも自立できる生活が、維持し続けられる支援も継続してほしい。重度になり本当に生活全部を支援してもらわない必要にならない為にも。(40代・精神, 難病)
- 三鷹市には、三鷹市民(健常者・障害者)が、幸福に生活できる政策をしてほしいと思います。自分は三鷹市のイベントに参加させてもらっているので、いろんなイベントをやってもらいたいと思います。(50代・精神)

A 障がい者調査

- 重度の娘を持つ親です。日頃より三鷹市、都、国より皆さまの税金から過分な支援を賜わりありがとうございます。私の周りに気がつきましたら何人もの高齢の難聴者がいらっしゃいます。皆様必ず補聴器を購入していらっしゃるのですが、(2ツも3ツも買っている。)上手に使用出来ず聴こえてないのに不自由をしておられる現実に驚きました。使い方、実際に生活の中での使用方法、音の合わせ方等々。公共の場(講習会?)での支援をしていただければよいのではないかと考えてみました。(勿論業者さんにも参加していただいでの事です。) よろしくお願い致します。(50代・身体, 知的)
- 補聴器の補助金。穴あけ補聴器がほしい。補助金では安い。今の補聴器どこも高くなってる。合わせてない。もう少し補助金上げてほしい(コロナでマスクつけるようになってきてメガネ+マスクのひも+耳かけ補聴器からむのでストレス大。耳穴補聴器がほしい。補助対応して頂きたい)。(50代・身体)
- 経済的な支援がほしい。(20代・身体)
- コロナの前は、移動支援サービスを使い、いろいろな場所に連れて行っていただきましたが、この頃は身体が弱く感染が心配で利用出来ていません。又、猛暑や悪天候、少し体調が悪い時なども外出しなければならないのは厳しいです。今はグループホームにいますので、ヘルパーさんと施設で過ごす事も許してほしいと思います。大雪や大雨の中、車椅子にカッパ姿で出掛けたり、猛暑でつらそうに歩いている障がい者をよく見かけます。(40代・身体, 知的)
- 都内でも先駆的な地方自治体の上位に入ってほしい。住みやすさのお手本になってほしい。高い理想を持ってほしい。期待しています！I LOVE 三鷹市！お蔭様で、幸せに暮しております。いつもありがとうございます。(50代・精神)
- シティバス三鷹台～調布飛行場ルートが、三鷹台～杏林大学病院に短縮されようとしている。障害者、高齢者である私は、何かと市役所に行く用事があるので、短縮は非常に困る。市役所方面へは乗り換えてと言うが、動くのが難しく経済的困難もある中、料金が2倍かかるし、外出時には酸素吸入(ボンベ持参)しなければならないので、乗り換えの時間的ロスも厳しい。せめて元気創造プラザまでの短縮にしてほしい。同プラザはコロナ予防接種の会場にもなっており、接種者の継続や同プラザを利用し、市民が「元気創造」できるためにも、直接アクセスできるルートを消してしまうのはやめてほしい。本当は、市役所までとってもらいたいが、市役所ではバスの回転が難しく、待機場所もないと思われるので、同プラザまでと要望する。同プラザなら、市役所にも近いので、大変助かる。どうかよろしくお願いしたい。(60代・身体, 難病)
- 清掃を依頼したい時に割引制度があると助かります。ダスキンなどの清掃業者にお風呂の掃除を頼みたかったのですが、高いと感じました。よろしくお願い致します(統合失調症です)。ホームヘルパーさんでも良いです。割引制度をお願いします。(無回答・無回答)

- 障害者に対しての認定が厳し過ぎて、サービスが受けられず毎日過ごすのが辛く死にたくなる時がある。(50代・精神)
- 武蔵野市で暮らしている精神障害の知人から話を聞いていると、あちらの方が障害者が利用できる公共サービス等が充実しているように見え、移住が可能であれば引越しを検討している次第です。(20代・精神)
- 給付金制度をもっと充実させてほしいと思っています。(20代・精神)
- 他県や他地区に比べて経済的な支援が少ない。市政窓口で障害支援の対応もしてほしい。市役所遠い。課の雰囲気悪い。言っても誰も対応しない。(30代・精神)
- ADHDだけでなく性的マイノリティなどもあるのでそういった場合の対応や理解も少しずつでも進むと幸いです。(20代・精神)
- 引き続き障害者に限らず住みやすい魅力的な街作りをお願いいたします。(50代・身体)
- 移動支援を頼みたくてもヘルパーさんが足りないと言われる。もう少し頼めるようにしてほしい。(40代・知的)
- 障害を持った人が地域で受け入れてもらえるために、違った人を認め合える教育が必要である。また、障害を持った子どもの兄弟児を支援する体制を兄弟が小さいうちから進めて欲しい。成年後見制度について、相談窓口が欲しい。障害者本人が幸せに暮らせて、将来の介護を家族だけが背負い込まないモデルの確立を期待したい。(20代・知的)
- 歩道での自転車の通行制限。歩道の傾斜(自動車の出入りのため?)が杖使用者には危険→歩道は健常者目線で作られている。連雀通りの歩道が狭い。路線バス車内にて、高齢者や障がい者が着席する前に発車される(「遅延してるから」は理由になるのですか?)。(50代・身体)
- 介護3の人にもオムツの支給。特養(大部屋)を増やす。自宅で介護している人へ手当のようなもの。(50代・身体)
- 毎月の医療費助成だけでなく、武蔵野市のように通院時の交通費負担もしていただきたいです。(30代・難病)
- 図書館など文化施設の充実。(40代・精神)
- 歩道が狭く、交差点なども危ない箇所がまだ整備されていないと感じています。牟礼団地入口交差点など、日頃から事故を見かけることも多々あり、危険を感じるが多すぎて不安です。早く整備を進めてほしいです。(40代・精神)
- 作業所をもっと増やしてほしいです。(40代・精神)
- 三鷹市に引っ越して数箇月になりますが、障がい者の私には過ごしやすい地域です。これからも障がいへの理解、サービスが増えますことを願います。(40代・身体、難病)
- 現在、住宅に関して本当に困っていて、バリアフリーではない住宅で住むことに限界を感じています。親も年を取り、私1人でなんでもできる環境住宅に住みたいで

A 障がい者調査

す。親のいるうちに自分で自分の事ができるように自由に自分らしく生活を送りたいです。そういった相談ができる窓口があると助かります。(30代・身体)

- 医療費免除、年金支払い免除、補助金給付などの経済的なサポート。就職のサポート。(30代・精神)
- 三鷹市役所一階多目的トイレの開け閉めが難しい。(30代・身体, 精神)
- 不安障害を持っているのですが、自立支援以外に利用できる制度があるのもっと利用できる制度の幅を広げて欲しいです。(50代・精神)
- 市へのご意見は、とてもよくしていただけています。市役所職員の方の仕事振りも今の所、難ありトラブルもなく、素晴らしいです。ただ一点あります。この差別に関して記した内容の重複になりますが、アパートの契約がしづらいです(出来ない?)。以前、三鷹でアパートを探した際、生活保護は、まともに不動産会社に取り合ってもらえませんでした。なので、伏せました。通院していたなんて知られたら、その情報だけで居住不可でした。会って面談さえ却下でした。なので、差別に直面するとはどう言うことなのかと学びました。(40代・精神)
- お世話になり有難うございます。クリニックでは提供があるものの、昨今の感染症対策で減少し、且つ1回あたりの費用が大きな同じ病気の人との交流の場を市の施設を使い且つ安価で(可能であれば無料で)実施してもらえると有難いです。(40代・精神)

⑥ 相談支援に関するもの

- コロナ禍でマスク着用が続いているため、どうしても口の形を読み取れないことが一番困っていますが、フェイスシールドを使う窓口をたまに見かけています。コロナ禍が落ち着いて終息後、コロナ前の状況に戻れるのが一番ですが、相手の顔を見て相談できる環境を作ってほしいです。(20代・身体)
- 何年も前に精神科に入院している時に暴力を受けた。当時の福祉に相談しても対応してもらえなかった。今の福祉に相談しても対応してもらえてない。暴力は重大な問題だ。相談したら対応して欲しい。(40代・精神)
- 愛着障がい、双極性障がい、パニック障がい、パーソナリティー障がい、摂食障がい、自閉、ADHD、そしてお金が使えない。他にも多数の障がいがあり買い物も食事も1人でできない中パニックを起こし暴れ、暴言を言う日々。家族もみんなうつ病になりつづれる寸前。数十件病院あっても受け入れられず、現在他市の病院に入院、今後一緒に住む事はもう不可能と考える中、どの様な手段があるのかどこに相談すれば良いのか、気力も残ってません。誰かに助けて欲しい気持ちで府中の保健センターに通っても話を聞いてくれるだけ…。どこのだれに相談すれば良いですか。目に見えない精神疾患は理解し、診てくれる病院はありません(母代筆)。(20代・精神)

- 発達障害に関して情報を取得できる場、相談できる人がほぼないと感じています。一見、コミュニケーションができていると思っても、本人は困ったことが上手く伝えられなかったり、何を相談したいのか自分で整理できていなかったりします。絵や表を使ったり、目に見える形でのコミュニケーションの支援が広がっていくことを望んでいます。(無回答・精神)
- 三鷹市は手続き対応もコロナ下でも迅速でした。平日のみカウンセリングの受付というところを不安を抱えて誰に相談したらいいか困ったので、受付だけでもしていただけると幸いです。HP からでもカウンセリング予約が出来るとなお助かります。(50代・精神)
- 支援サービス窓口に行くとなんとなく職員さんが出てきてくれるのがありがたいです。ただ色々と質問されたり、早口で話されると何を云われているのか理解できなくて申し訳ないです。いつもありがとうございます。(50代・精神)
- 困った時に相談したところ、自身で解決して下さいと言われたので、相談する所がないので一緒に考えてくださる所があると助かります。(50代・精神)
- 相談の窓口になって下さい。(30代・知的)
- 一人暮らしです。5年前まで生活保護を受けていました。現在、給与で生計を立てていますが、今年の9月で65歳になりました。民生委員の人とか、終活についての相談等したいのですが、どこに話を持っていったらいいのか(三鷹市役所)分かりません。以前地域生活相談の人にとっても頼りになっていたのですが、その方が退職してしまい、困っています。ちなみに天涯孤独です。(50代・精神)
- 私は精神障害を持っているのですが、ヘルプマークを持っていることで言われなくて良い事を言われる事も多くあります。ヘルプマークを付けている理由を周りの人が理解してもらえる様な働きかけをしてもらえるとありがたいです。今現在は発症した当初に比べて、今の自分の状況が、頭や心で整理できる様になってきてはいますが、ハツとした時パニック障害を起こしてしまう時もあり、いつになったら心も体も安心して暮せる様になるのか不安の中にいます。幸い子供が3人いて、私の病気の事にも理解してくれていて、通院にも付き添いをしてくれていたり助かっていますが、生活保護での生活の為、生活もぎりぎりの生活でもあり、仕事をしたくても続けられるのかも不安もありますが、保護の関係もあり、月に1万円程度しか働けないようです。この先の生活の事がただただ不安でいる毎日です。不安ようそをなくす為にも、もっと相談できる場所をつくって頂けるとありがたいと思います。どうか助けて下さい…。(50代・精神)
- いつもという支援機関様をご利用させて頂いています。丁寧にご対応させて頂いているので、助かっています。三鷹市はいい街だと思うので、これからもよろしくお願い致します。(20代・精神)
- 身内や近隣トラブルの対応先を増やして欲しい。弁護士しか相談先がなく、いついかなる時でも相談を入れられる様取り計らって頂きたい。民生委員は頼りになりません。思う回答が返って来ず、担当地域の方はいつも不在がちです。それと弁護

A 障がい者調査

士相談の特に Tel は平日日中帯の頻度を増やして頂きたい。来所よりも Tel で話す方が話しやすいし自宅にいる頻度が高く、来所は難しい。自分の我儘だがペットも所持しており、それを考えると来所は極力控えたい。電話対応の増加をお願いします。※心の相談ダイヤルも月に二度の対応ではなく頻度を上げ、出来れば平日は日中帯対応を入れて頂きたい。心の悩みでここ数年芸能人でも自殺者増加。家族や医療機関に受入れられず、結果的に生命を絶つ。自分の受診医でも救ってくれませんか。出来ればフリーコールで二十四時間気軽に話を入れられるそういった心の悩みの窓口をつくって頂きたい。医療機関もあてにならない。心の悩みの窓口の受け入れ日（電話対応）が月二日。もっと増やして頂きたい。連絡しても話し中でつながらない事が多く悩んでいます。役場で予約対応ではなく、こころの相談室ダイヤルの利用頻度を早急に上げて頂きたい。相談予約中々思う様にいかない。(50代・知的)

- 障がい者年金制度をもっと利用しやすくしてほしい。障がい者本人にしか分からないことがある。見た目が普通なので、障がい者として見てもらえず、本当に辛いことが伝わらない。障がい者の辛さは見た目が重要なのではないでしょうか？出来るようになるために、どれだけ時間や、お金を使っているかなど全く伝わっていない。歳を取るに従って、障がいもひどくなってきている。なので今の仕事がいつまで出来るかの不安が増している。このような相談をどこで(40代・身体)
- 障がい者が気軽に相談に行ける環境を作ってほしいです。(50代・身体)
- 市役所で相談をした事は無いが、今後相談する時があったら、カウンターではなく、個室で相談出来るようにしてほしい。障がい者枠で働いているので、一般の人より給与が少ない。公的な補助の金額を増やしてほしい。(20代・身体)

⑦ その他

- いつもお世話になり、ありがとうございます。(50代・身体, 難病)
- 三鷹市の福祉は手厚いと思います。これからも一層の充実をお願いしたいと思います。(60代・精神)
- このようなアンケートを実施して、障がい者が安心して生活できる環境を提供しようとする三鷹市で暮らしていることに満足しております。ありがとうございます。(40代・精神)
- 障害というのは社会の構造上発生しているということを(仮説として)信じてほしい。(20代・精神)
- 親が高齢のため、近い時期に法律上安心出来る手続きを行いたいと考えております。(50代・知的)
- 私は医師より、手帳取得がボーダー少し上、制度のゆらぎ次第では手帳は取れないと言われている立場、その為就業活動では不健康体(病気持ち)、ブランク有として非常に厳しい上に障がい者雇用も適用外になった事を考えると使いにくい立場。

基本的に「障がい」は周知されているものの、健常者を自認する者からは「異常者」「壊れ者」であり、そうした対応は社会に接する都度（行政含む）受けているが、同時に、そうして区別しているのに、税や行政活動は健常者・非健常者の判断・理解・対応に区別をつけていない。先日も市よりの不当な電話連絡（1時間半以上の無駄！）に対し苦情を入れ、その時にも身体的・心理的にこうしたことが病気の発症、悪化の元と告げたが理解出来る頭や心があるのなら1時間半以上も不当な電話をするだろうか？私が考える常識ではそもそもそのような時間、行政が通話することがおかしいと思う。思春期の恋人同士じゃないんだぞ？かように理解を私が生きている間に改善するのは障がい（特に精神性）を生み出している側が「救ってやる」「助けてやる」の立場から善人ぶるのはマンガ本レベルの正義ごっこにすぎないと言いたい。明日は我が身、人は年を取り死ぬ。これが前提でそれを「防ぐに？」と思考を転換すべきだ。（40代・精神）

- 市内にある就労移行支援事業所などの施設利用者にアンケートを取ることを望みます。その際、事業所を介さず、直接市に利用者の声が届くようにしてほしいと思います。各利用者には障がいの個別性、特性があり感じていることが違います。それを率直に言ってもらい、事業所（企業）に市行政として伝えて頂けたらと思います。（50代・精神）
- 障がいをお持ちの方へのケアはもちろんのこと、そういった方の手助けをする、介護・看護に携わる方へのサポートが手厚くなるとういなと思います。素晴らしいお仕事をしてくださる方たちが、良い労働環境で安全に仕事ができるよう、制度や支援体制を整えていただきたいと思います。市役所にお勤めの皆さまも、市民生活のため日々ご尽力いただき誠にありがとうございます。（30代・手帳を所持していない）
- 障がい者の意見を訊いてくださるすばらしいアンケートだと思います。ありがとうございます。（50代・身体）
- こういったアンケートを行った結果、是非ともそれを基に、実践して頂きたいと思います。感謝を込めて。（60代・精神）
- 税金。（50代・身体, 精神）
- 窓口に行った時マスクの着脱は自由にさせてほしい。マスクなしで利用したいです。（50代・難病）
- 生活福祉課で若い職員の中には私達を低く見る人がいる。生活保護を受けている人にも、年上の方にはそれ相当の態度で接してもらいたい。又その様に教育してほしい。（50代・精神）
- 病気をいいことに、見えない方法で靈感商法の人とかが私を性の奴隷として幽体離脱とかで体移して男の子使って女をいじめている。私は病気になって長い間、ずっと体を男のために尽くしている。親は分かってくれない。薬飲めとしか…。（40代・精神）

A 障がい者調査

- お世話になっております。感謝です。ありがとうございます。都度、記入はさせて頂きましたが…、知らないこと等が多かったと共に、身体系と精神とは別にした方が良いかと感じました。同じ不自由にしても、身体の方は、大分生活の不自由を感じる、メンタル+ (いい方悪いですが、身体的に) と思うので、その、まず改善をしていただきたいと、これを読んで思いました。もっと身体障害者への気づかいして頂きたいです。自分のことと違い申し訳ありませんが。(40代・精神)
- 特に有りません。何かとご配慮下さり有難うございます。(60代・身体)
- 以前、障がい者手帳の更新と自立支援の更新を一緒にした方がいと言われたので、更新の際お願いし、書類を渡され、病院に持って行って書いてもらって書類を市役所に提出したら、これは一緒に出来ない書類と言われました。市の職員のミスだったのに謝罪の言葉もありませんでした。次回更新の際同じように一緒になる書類をお願いして出してもらい、病院に提出したらスタッフの方に今回も違う書類ですが大丈夫ですか？と教えてもらいました。二度も同じミスをされ、ふたたび市役所に行きました。その時は書類を交換する形だったので謝罪を頂きましたが、同じミスが起きるのは把握してない人が多いのでは？と思いました。お忙しいとは思いますが、仕事なので最低限のことはしていただきたいです。(30代・精神)
- 本人が内容理解できる質問はほとんど無く、家族が回答しました。(30代・知的)
- Nan nen mai, watashi ha, atoma ga yokatta. Mainichi chanto shigoto gambatta. Okane ga atte, shakai ya houritsu mamorimasu. Demo, aru hi karada mo no (atama) ga iro iro na mondai kita. Nihongo mo eigo mo no jitsuryoko ga waruku natta. Konran/mayotta ni natta. Toki-doki, inai hito mita. soretomo furusato no mukashi ni sundetta kuni ni iru to omotta. Higai-moso, panikku, bonyari, nado, Jisatsu misui o shimashita. Watashi no kanai ha tasuteta. Mitaka-shi, byoin, Nihon no seiji ya shakai tasukatta. Watashi ha itsumo kansha shimasu! Makoto ni arigato gozaimasu. Yukuri, yukuri yoku narimasu. Itsuka, nihonjin ya nihon no shakai ni ongaeshi shitai. 7年前、私は頭がよかった。毎日ちゃんと仕事頑張った。お金があつて、社会や法律守る。でも、ある日体(頭)がいろいろな問題が来た。日本語も英語も実力が悪くなった。混乱、迷ったになった。時々いない人見た。被害妄想、パニック、ぼんやりなど、自殺未遂をした。私の家内は助けた。三鷹市、病院、日本の政治や社会助かった。私はいつも感謝する。誠にありがとうございます。ゆっくり、ゆっくりよくなる。いつか、日本人や日本の社会に恩返ししたい。(40代・精神)
- 入所施設を市内に作って下さるようお願いします。グループホームでは重度者が入れても、その人が病気になった時や、病院の付き添いは親がせざるをえません。日常の健康状態を把握する看護師を配置した入所施設が、高齢になった親にとって代われる施設が必要です。重度者のグループホームでないという理念あるなら、入所施設並みの頑丈な施設であり、通院 etc 健康面でもサポートできる入所施設なみの体制にして下さい。(40代・身体, 知的, 難病)

- 通所施設で、施設の都合でバスの乗車に関して、こちらの要望を無視して強引に変更させられました。元の状態に戻して欲しいと言っても、強くできないと断われ、大変不快な思いをしました。息子は通うことが好きなので、自主通所で継続していますが、納得いかない思いがあり、職員（上の方です。）と顔も合わせたくない状況です。体制を見直して下さい。（20代・知的）
- 理解があり、すぐに働いてくれる職員もいますが、理解のない職員もいます。制度が足りないし、対応が遅いです。ドクターも他市ではあるのに、三鷹市にはないから利用させられないといったこともあり、経済的に辛いこともありました。又、本件と少し異なりますが、教育委員会の方に「私は議会で答弁する偉い人だ。教育委員会は生徒を守るためではなく、教師を守るためにいる。」と言われ、東京都教育委員会に相談、東京都教育委員会と法務局から、裁判を勧められたこともあるほどヒドイ対応でした。そのような職員がいる教育委員会に子どもの障がいの対応ができるのでしょうか。又、中学の校長先生より「いじめられますよ。いじめられても学校は対応しません。自殺しても学校のせいではありません。」と教育委員の方がいる前で言われました。このような方が教育者として三鷹市にいるのが信じられません。子どもの人生を壊したのは三鷹市の教育委員会と管理職とっております。（40代・精神）
- 将来の不安があるのは誰も一緒だと思います。スタッフからお聞きした必要最低限の貯蓄や事実婚の妻からのアドバイスを大切にしています。担当スタッフから示唆して戴いた“生きたいように生きればいいんじゃないですか” 幸せな生活を送る為にはどうすれば良いかを考えればおのずと答えは出る“という教唆と共に、亀の歩みで幸せにやっております。作業所にも深く感謝しております。障がいという表記をしてくださる三鷹市にも感謝しております。おかげさまで。（50代・精神）
- Webで回答したかったのですが、PCではQRコードにアクセスできません。スマートフォンでもPCでも使えるようにしてほしいです。（50代・精神）
- アンケートに答えるだけでストレスでした。（50代・精神）
- よろしくお願い致します。（50代・精神）
- 精神科に通院していることを除いて、特に自分を障がい者と思ったことはなかったので、このようなアンケートが届き、かなり当惑しています。ただ、自分が当事者であるか否かにかかわらず、全ての人が安心して等しく快適な生活を享受できる環境であって欲しいとは思っています。より良い三鷹市となりますよう一市民として協力できておりましたら幸いです。（20代・精神）
- 具体策を市民に呈示すること。（40代・知的）
- 調査票が封筒に入らない。入れ方、折り目といったガイドがほしい。（20代・無回答）
- アンケートは障がい別にし、きめ細かく願います。大分類では統計を取るだけになってしまいます。（40代・知的）

A 障がい者調査

- 役立たずでごめんなさい。(50代・精神)
- ありがとうございます。(50代・精神)
- アンケートの集約が実るように、三鷹の安心と安全を願います。安全を見て安心な環境が実現できますように。人の意見を尊重して聞ける人になっていけますように。ご理解とご協力がかないますように。よりよい三鷹環境にしていきましょう。(50代・精神)
- 今後ともよろしく願いいたします。(50代・身体)
- 本人の知的障害で学齢期に比べて体力、理解力 etc 全てにおいて下降気味で、今回のアンケートも全て理解しておりません。通院施設も職員の入退所が頻繁で、中々一人ひとりの事を分かってもらえず、かといって通所施設を変わる勇気もなくダラダラと過ごしています。思うに職員さんが続かないのは、施設の人間関係 etc あると思いますが、一番はやはりお給料が仕事の割には低いのではと感じています。(30代・身体, 知的)
- むらさき商品券の障害者枠を作ってほしい。(40代・身体)
- 市の対応には満足しており、感謝しております。(50代・精神)
- 三鷹市は、生保に手厚いとか良い面をきいて信頼してたけど、そうではなかった。お金がないのに助けてくれない。死ぬと言われていた気分になった。もっと親身になってほしい。あと対応が雑だし、難しい言葉で話されるから分からない。(30代・精神)
- 平成16年(2003)脳出血で手術。その時点で身体障害5の状態となり、5回転院しました。介護付有料ホームに移り、胃ろうと吸引のお世話に。吸引の数が多く、退院出来ないで居ります。退院出来る状態になっても、その施設には戻れません。経済的にも大変で、特養にでもと思って居りますが、夜間の吸引は出来ないとの事です。私どもの子供の状態ではどこにも入れていただく所はございません。今の病院を出なければならなくなった時どうすれば良いのでしょうか。本人は何も理解出来ない状態でも日々頑張っていてくれて居ります。特養が吸引患者を引きうけて下さる事を切に望みます。42歳で倒れ、今年60歳になります。18年間お世話下さった方々には感謝しかございません。(50代・身体)
- 私が自立支援医療費の対象になったので、このアンケートが来たと思いますが、上記制度を利用している事は、家族、一部の友人しか知りません。ですから社会的差別はありません。自分の事は自立して生活しています。私は母(94歳)と同居しています。まだ元気とはいえ、母の介助が必要な事もあります。2人でなんとか元気で生活しています。いろいろご配慮頂きありがとうございました。(60代・精神)
- 知らなかったサービスが色々と知れて心強く思いました。麦僮と将来高齢者になった時の不安はありますが、これからも充実したサービスを期待しております。(50代・精神)
- 三鷹市長になりたい。(60代・身体, 精神)

- コロナワクチン接種の際、送迎タクシーを利用出来た事等、素晴らしいサービスもあり、助かりました。(50代・身体)
- そもそも、このアンケートに答えることの困難な人は、多いのではないのでしょうか？(筆記が出来ない。タブレットが使えない等)。(60代・精神)
- 市の担当者がいますが、個人の状況をつかむことに積極的ではないので。(30代・知的,精神)
- 将来入所できる施設を確保していただければと思います。重度で言葉を話せず身の回りのこともできないので、グループホームに入るのも無理です。通所している施設に入所できれば一番良いのですが、三鷹、調布、府中等で暮せればありがたいです。(30代・知的)
- 私は障がい者ではない。なぜこのようなアンケートがきたか分からない。(50代・手帳を所持していない)
- サポートする側に日本人の若者が増えないと、立ち行かなくなるのではないのでしょうか。お世話される方々以上に「お世話をする」方々が安心して仕事にあたる様希望します。アンケートありがとうございました。(60代・無回答)
- 以前手帳と自立支援受給者証を同時に更新しようとした時、電話で必要な持っていく物を確認した時、自立支援に必要な物だけしか教えてくれず、窓口で手帳更新に必要な物がなく、あわてた事がありました。なぜ教えてくれなかったのか聞いたら、東京都の管轄だからと言われた事がありました。両方の更新と伝えていたのに少し不親切だなと思いました。(50代・精神)
- 日頃大変お世話になり有難うございます。支援課のケースワーカーの皆様は、年間を通してお忙しいと思いますが、下記の希望、今後検討して頂ければと思います。年に1度で良いので地域の「親の会」の会員や通所している親と接する機会を作って頂き、「生」の声を直接聞いて欲しいです。(アンケートは紙上だけの思いしか表現できません)。(40代・身体,知的)
- 1996年の「就職氷河期」にぶちあたり、何十社も面接を受けましたが、全て落とされ、それが元で気分変調症というたちの悪い精神病を患い、気が付けば4半世紀も経ってしまい、その時にコロナがやってきて就職口はおろか、バイト先も面接を受けるものも、これも何十もの会社のアルバイトに落とされ、今年前半から大うつ状態になり、その回復はまだ途上です。今でもバイトは探していますが、猜疑心が先に立ち、バイト先の会社自体も全く信用できないまま、現在に至っています。(50代・精神)
- いつも医療費の支援をいただきありがとうございます。今後もお願いします。(20歳未満・難病)
- おかげ様で福祉施設に入所していて心配は感じていない。(30代・知的,精神)
- アンケートに答える時に、難しい言葉や専門的な言葉が多く、理解をするのが大変で記入出来ない所もありました。障がいの方、大人の方、誰が見ても理解がしやすいアンケート、書類作りを作ってください！！今よりも、もっと障がいの方はもちろ

A 障がい者調査

ん、色々な方が住みやすい社会になっている事を願っています！！お仕事頑張ってください。(20代・知的)

- 重度で言葉を話せず、身の回りのこともできないので、グループホームに入るのも無理だと思います。今生活している地域で入所できたら一番良いと思います。通所している入所希望ですが、定員いっぱいに入れられない場合、なるべく三鷹、調布、府中で入所施設を確保していただければありがたいです。(20代・知的)
- 私の発達障害は軽い方だと思います。重い障害を持たれている方の気持ちや、困っている事は分かりません。この様なアンケートで直接市長様に声が届く、この取り組みは素晴らしい事だと、長年住んでおります三鷹市を誇らしく思いました。頑張って働いて納税致します(他へふるさと納税していません)。(50代・精神)
- 市役所の窓口対応の職員の方を、病気現在治療中や、経験者を起用すると、客観的な対応ができて差別が減る。(30代・精神)
- いつもありがとうございます。よろしく願います。愛をありがとう…。(40代・精神)
- 給付金について。(40代・身体)
- 障がい者と一言でひとくりにしないで、個人、個性を理解し、その人が必要としている物やサポートを受けられる様にしてほしい。(40代・精神)
- アンケートの結果、どう日常生活に反映させるか、一向に分からない、高齢になったとき市の施設はない。このことを市長は、どのくらい分かっているのか。1人になったとき、援助なく、暮らせるとでも思っているのか。市長の声を聞きたい。Webなんていうのを見ることができない人が大部分である。(40代・知的)
- 障がい者への理解が進むような啓蒙活動を充実させて頂きたい。たとえば、小・中学校の授業に取り入れ出来たらいいのでは。(50代・身体)
- 身体ではないので特にお役に立てる回答ができず申し訳ありません。祖母の介護を数年した事もありましたが、三鷹市の事業、個人的にはおおむね満足でした。(40代・精神)
- 教育と経済、福祉との関係を深めてほしい。(50代・精神)
- 取り組みをするには、当事者抜きに決めないでください。(40代・身体、難病)
- ヘルプマークの無力さ、ただの自己アピールでしかない事。難病の手続きで窓口に行くが、毎回、対応が違う。書類に不備があった時があり、それも結構時間が経ってから言われた。その為、資格票の期限が切れ、補助の1割を自己負担。後日、請求出来る事にはなっているが、その1割の為に掛かる時間とお金(診断書取得含む)が、補助の1割を上回る。こんな馬鹿らしい事をやる意味が無いので、諦める。三鷹市の窓口担当の話だと、東京都に言われると何も言えない感じの話しぶりだった。これに対しては物凄く不満。(40代・難病)
- 障害者手帳の更新手続きについて、市政窓口もしくは郵送での書類送付ができるようにしてほしいです。(20代・精神)

- 気にしていただけるのはありがたいが、まだ症状が良くなっておらず就職は厳しく、20代なので老後のこともよく分からない。今のところできることがなく、就職とか地域活動とかは少しハードルが高く感じる。また、何ができるのか分からないのでどの活動が自分に合っているのか分からない。(20代・精神)
- 診断書の期間を伸ばして欲しい(5年に1回とか)。(40代・精神)
- 武蔵野市、小金井市と移り住んできましたが、良い市だと思っています。これからも住み続けたいのですが、来年転出するかもしれないので残念です。(50代・精神)
- 度重なる転居により、様々な地域の役所でお世話になっています。三鷹市役所の皆様にはいつも親切に対応していただいております。いつもありがたく、感謝をしています。その感謝をなかなか伝える事ができずに帰宅しています。(50代・精神)
- 市役所が開いている時間に仕事があつたり体調が悪かつたりして行きづらい時があるので、障がい支援課に簡素なもので良いから夜間・休日窓口を設けてほしい。(30代・精神)
- 去年、他市から移動してきて障害者手帳を申請したとき身体か精神の区分も聞かずに身体障害の申請書類に記入させられ、その後に思い出したように身体か精神を質問され、精神と回答すると「間違えちゃった」笑いながら謝罪してきたのには腹が立った。他市で申請したときは非常に優しい対応していただいた。手続き終了の知らせるハガキを自分で用意しろとは驚いた。三鷹市は貧乏なのか。(50代・精神)
- 三鷹市は他の地域に比べても、遜色ない支援をしてくれています。他方、当事者も福祉施策の立案段階で何らかの参画が出来るようになったら更に良いまちづくりが出来ると思います。(60代・身体)
- 日頃から障がいを持つ私達へのご支援ありがとうございます。(20代・知的, 精神)
- アンケートの内容が充実すればいいと思いました。(20代・知的)

A 障がい者調査